

生涯学習に関するアンケート報告（案）

資料 2

1 生涯学習に関するアンケート調査の概要

（1）調査目的

第2次香芝市生涯学習推進基本計画策定に向けて、香芝市民における生涯学習の取組み実態及び意向を把握することを目的として、一般市民へのアンケート調査、および生涯学習団体に参加して活動している市民へのアンケート調査を実施した。

また、香芝市内に立地する事業所における、従業員の生涯学習活動に対する支援の実態や今後の取組み意向を把握することを目的として、香芝市内事業所へのアンケート調査を実施した。

（2）調査方法

以下の通り、調査対象を抽出し、郵送法により調査を実施した。

	調査対象
一般市民アンケート調査	住民基本台帳より無作為に抽出した、16歳以上の市民1,400名
生涯学習団体アンケート調査	市内の公共施設等で活動されている生涯学習団体の活動参加者500名
事業所アンケート調査	香芝市内に本社がある、従業員10名以上の事業所100社

（3）調査時期

平成26年8月

（4）回収状況

それぞれのアンケート調査の回収状況は次の通りだった。

<回収結果>

	配布数	回収数（回収率）	有効数
一般市民アンケート調査	1,400	613（43.8%）	612
生涯学習団体アンケート調査	500	355（71.0%）	355
事業所アンケート調査	100	55（55.0%）	55

2 一般市民アンケート調査の結果

(1) アンケート対象者の特性

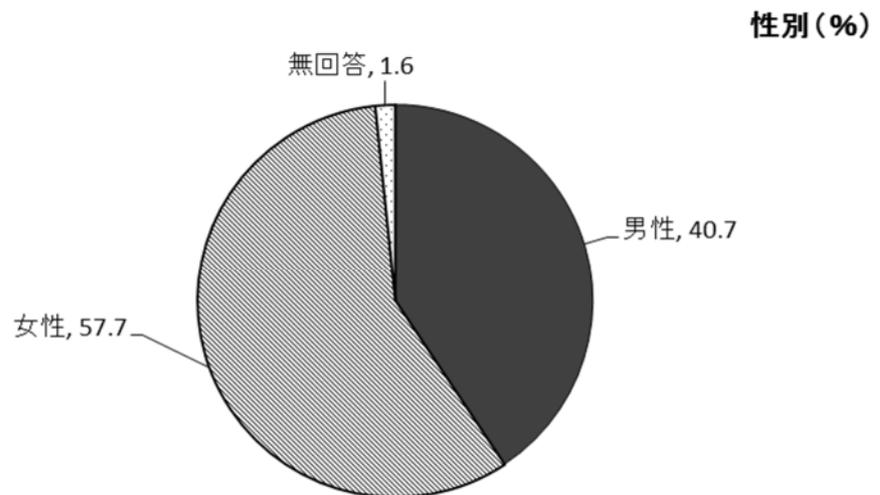
アンケート回答者の性別、年代、居住小学校区は次の通りだった。

1) 性別

回答者の性別は、男性 40.7%、女性 57.7%で女性がやや多かった。

問1 あなたの性別についてお答えください。

問1	回答数	%
男性	249	40.7
女性	353	57.7
無回答	10	1.6
計	612	100.0

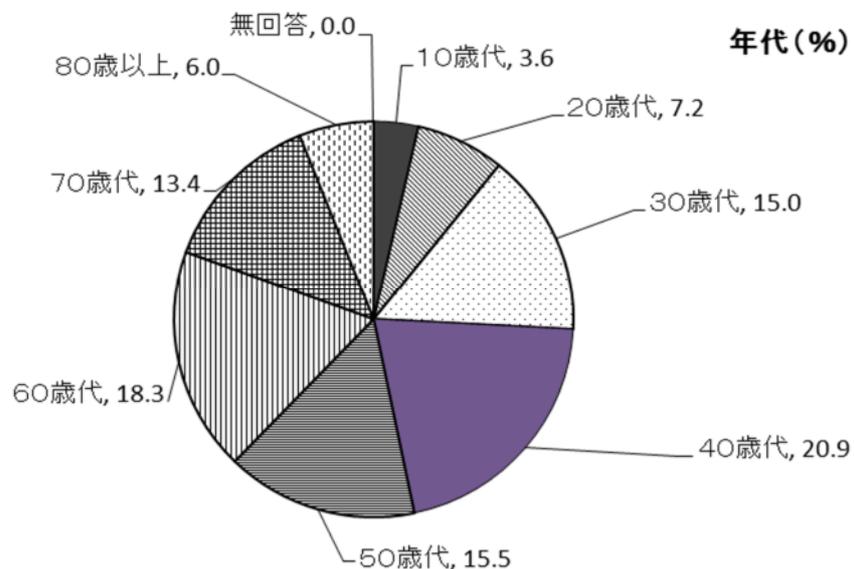


2) 年齢

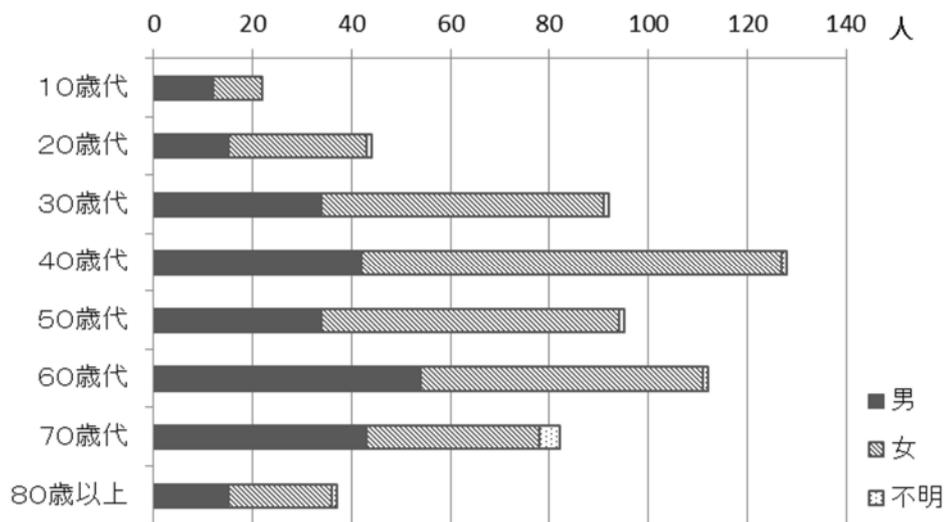
回答者の年齢は、40歳代が20.9%、次いで60歳代が18.3%、50歳代15.5%、30歳代15.0%となった。10歳代、20歳代、80歳以上の回答数が少ないが、他の年代は、概ねまんべんなく回答が得られている。年代別の男女比は、全体の男女比と比べて、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代で女性の比率が大きくなっている。

問2 あなたの年齢についてお答えください。(いずれか1つに○を)

問2	回答数	%
10歳代	22	3.6
20歳代	44	7.2
30歳代	92	15.0
40歳代	128	20.9
50歳代	95	15.5
60歳代	112	18.3
70歳代	82	13.4
80歳以上	37	6.0
無回答	0	0.0
計	612	100.0



問2	男(人)	%	女(人)	%	不明(人)	%	計	%
10歳代	12	54.5	10	45.5	0	0.0	22	100.0
20歳代	15	34.1	28	63.6	1	2.3	44	100.0
30歳代	34	37.0	57	62.0	1	1.1	92	100.0
40歳代	42	32.8	85	66.4	1	0.8	128	100.0
50歳代	34	35.8	60	63.2	1	1.1	95	100.0
60歳代	54	48.2	57	50.9	1	0.9	112	100.0
70歳代	43	52.4	35	42.7	4	4.9	82	100.0
80歳以上	15	40.5	21	56.8	1	2.7	37	100.0
計	249	-	353	-	10	-	612	-

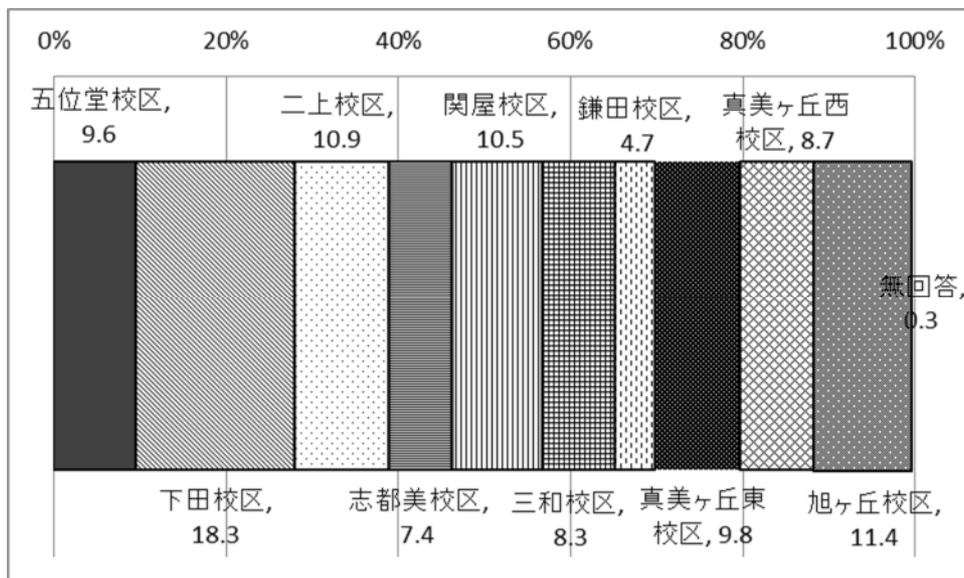


3) 居住小学校区

回答者の居住小学校区は、下田校区が最も多く（18.3%）、次いで旭ヶ丘校区（11.4%）、二上校区（10.9%）、関屋校区（10.5%）、真美ヶ丘東校区（9.8%）となった。概ね、小学校区別人口比率を反映した傾向となっている。

問3 あなたの校区についてお答えください。（いずれか1つに○を）

問3	回答数	%
五位堂校区	59	9.6
下田校区	112	18.3
二上校区	67	10.9
志都美校区	45	7.4
関屋校区	64	10.5
三和校区	51	8.3
鎌田校区	29	4.7
真美ヶ丘東校区	60	9.8
真美ヶ丘西校区	53	8.7
旭ヶ丘校区	70	11.4
無回答	2	0.3
計	612	100.0



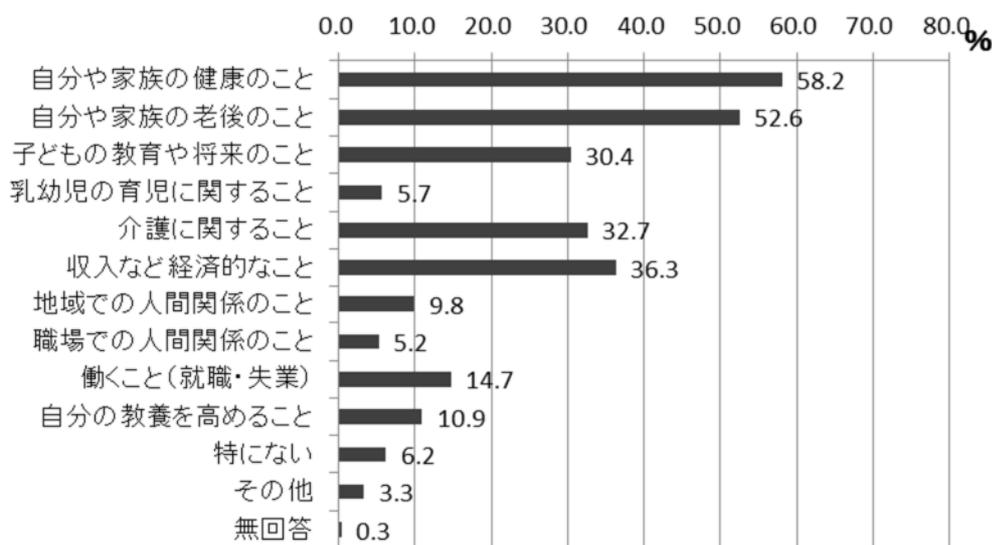
(2) 日常生活での悩みや不安

日常生活で悩みや不安を感じていることをたずねたところ、「自分や家族の健康のこと」(58.2%)、「自分や家族の老後のこと」(52.6%)が多く、回答者の半数以上があげている。次いで「収入など経済的なこと」「介護に関すること」「子どもの教育や将来のこと」を3割以上の回答者があげている。

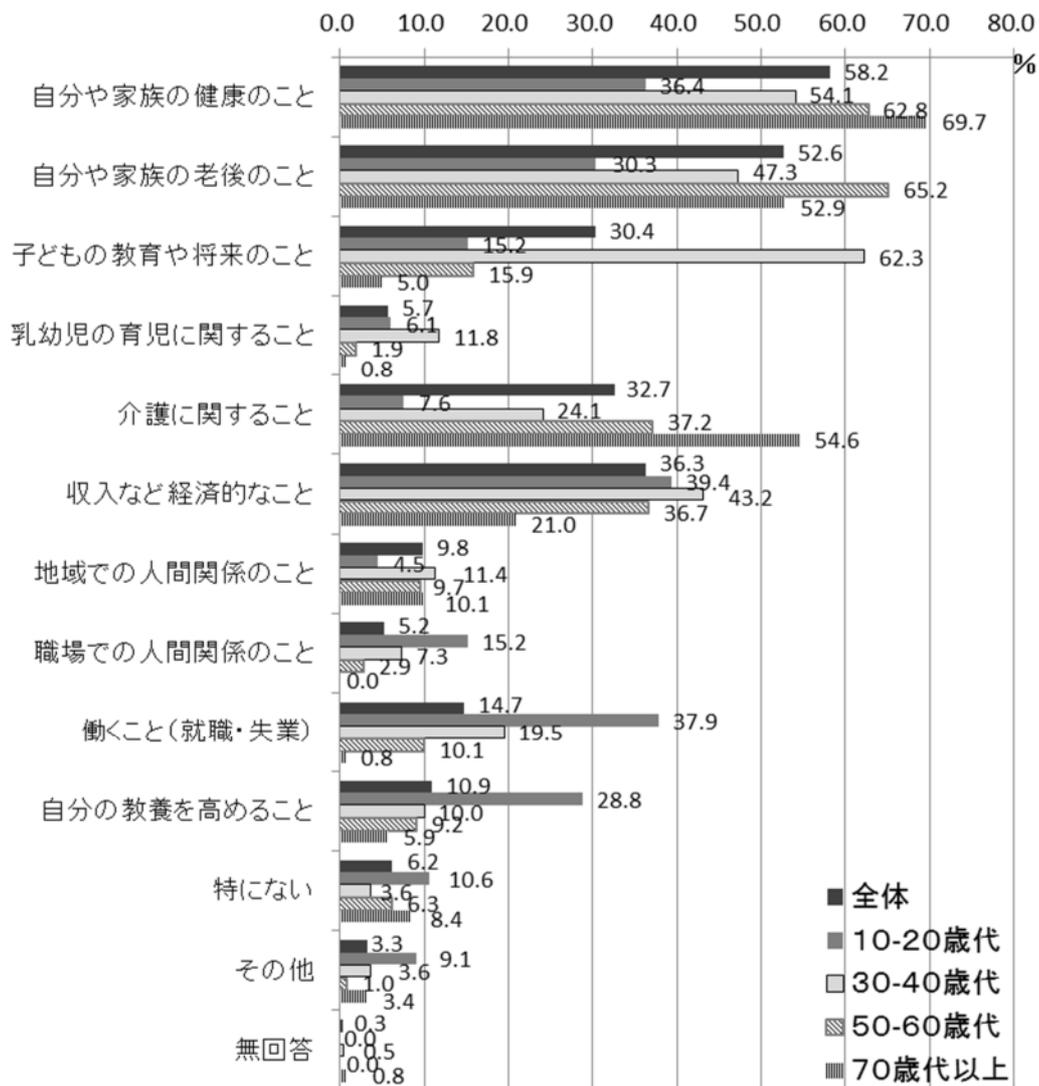
「自分や家族の健康のこと」「介護に関すること」は年代が上がるほど割合が大きくなっている。「自分や家族の老後のこと」は50-60歳代が最も大きくなっている。「子どもの教育や将来のこと」は30-40歳代で特に割合が大きくなっている。10-20歳代では「働くこと(就職・失業)」「自分の教養を高めること」「職場での人間関係のこと」が大きくなっている。

問4 あなたが、日常生活で悩みや不安を感じているとすれば、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○を)

問4(MA)	回答数	%
自分や家族の健康のこと	356	58.2
自分や家族の老後のこと	322	52.6
子どもの教育や将来のこと	186	30.4
乳幼児の育児に関すること	35	5.7
介護に関すること	200	32.7
収入など経済的なこと	222	36.3
地域での人間関係のこと	60	9.8
職場での人間関係のこと	32	5.2
働くこと(就職・失業)	90	14.7
自分の教養を高めること	67	10.9
特にない	38	6.2
その他	20	3.3
無回答	2	0.3
全体	612	-



問4(MA) 回答数・%	10-20歳代	%	30-40歳代	%	50-60歳代	%	70歳代以上	%	全体	%
自分や家族の健康のこと	24	36.4	119	54.1	130	62.8	83	69.7	356	58.2
自分や家族の老後のこと	20	30.3	104	47.3	135	65.2	63	52.9	322	52.6
子どもの教育や将来のこと	10	15.2	137	62.3	33	15.9	6	5.0	186	30.4
乳幼児の育児に関すること	4	6.1	26	11.8	4	1.9	1	0.8	35	5.7
介護に関すること	5	7.6	53	24.1	77	37.2	65	54.6	200	32.7
収入など経済的なこと	26	39.4	95	43.2	76	36.7	25	21.0	222	36.3
地域での人間関係のこと	3	4.5	25	11.4	20	9.7	12	10.1	60	9.8
職場での人間関係のこと	10	15.2	16	7.3	6	2.9	0	0.0	32	5.2
働くこと(就職・失業)	25	37.9	43	19.5	21	10.1	1	0.8	90	14.7
自分の教養を高めること	19	28.8	22	10.0	19	9.2	7	5.9	67	10.9
特にない	7	10.6	8	3.6	13	6.3	10	8.4	38	6.2
その他	6	9.1	8	3.6	2	1.0	4	3.4	20	3.3
無回答	0	0.0	1	0.5	0	0.0	1	0.8	2	0.3
全体	66	-	220	-	207	-	119	-	612	-



(3) 地域活動等への参加

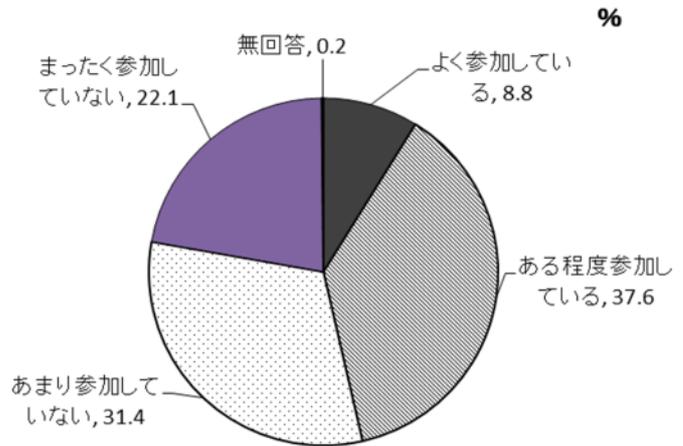
1) 地域活動等への参加状況

地域の行事、地域活動等への参加状況をたずねたところ、「よく参加している」(8.8%)、「ある程度参加している」(37.6%)を合わせて、参加している人は50%を下まわっており、「まったく参加していない」が20%を超えている。

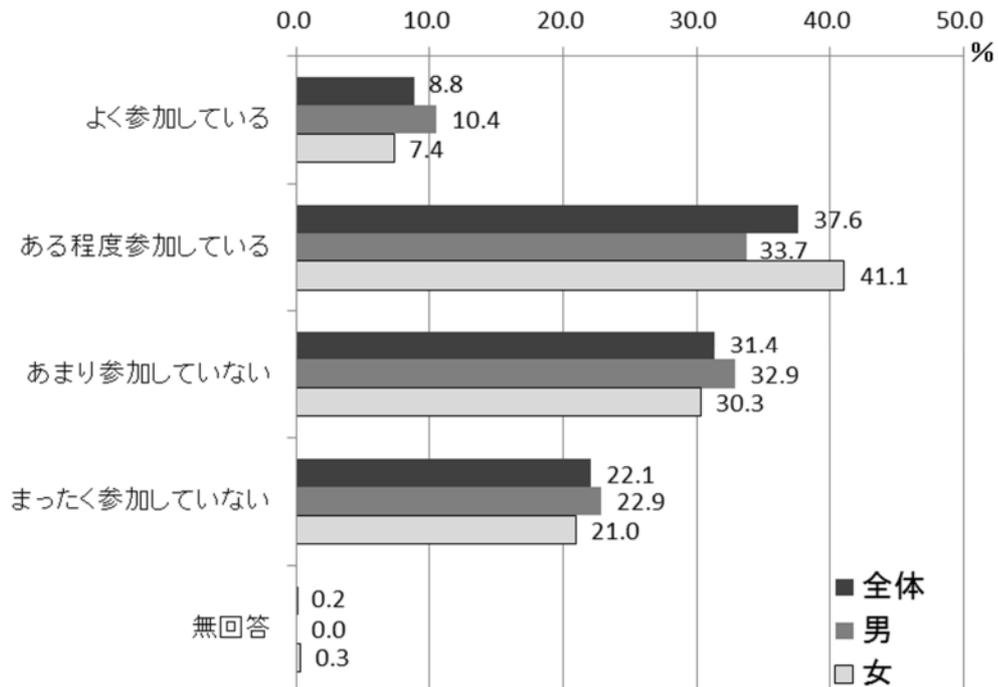
「よく参加している」と「ある程度参加している」を合わせた割合では、男性34.1%、女性48.5%で、女性の方が、地域活動等へ比較的良好に参加していることがうかがわれる。

問5 あなたは、地域の行事、地域活動等へ参加したことがありますか。(いずれか1つに○を)

問5	回答数	%
よく参加している	54	8.8
ある程度参加している	230	37.6
あまり参加していない	192	31.4
まったく参加していない	135	22.1
無回答	1	0.2
計	612	100.0



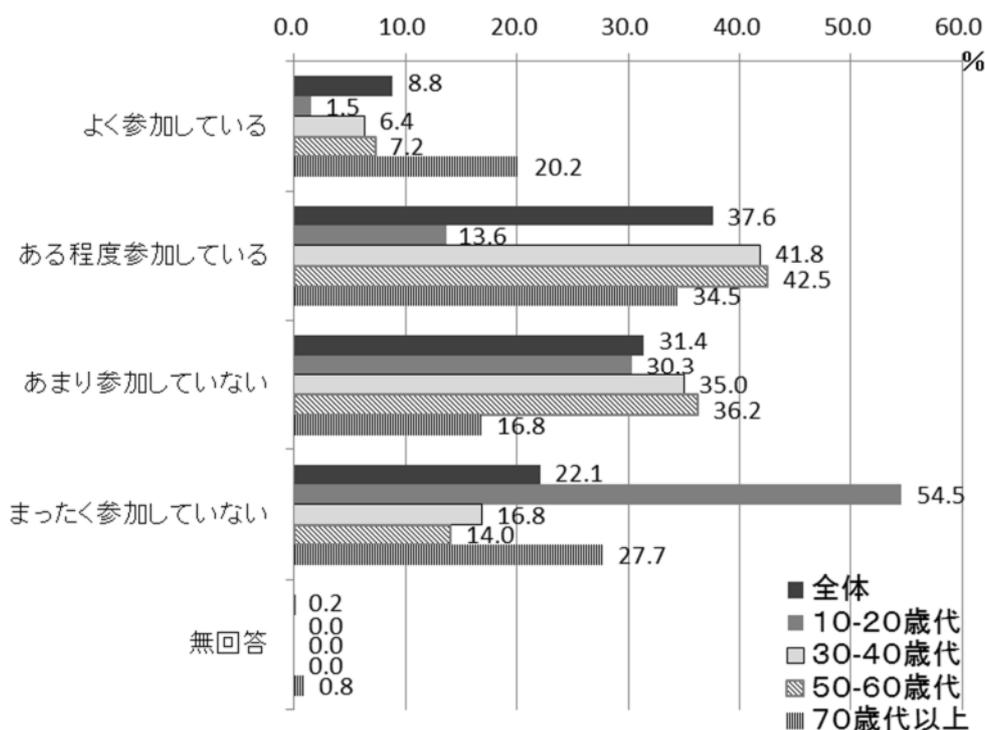
問5	回答数・%	男	%	女	%	不明	全体	%
よく参加している	26	10.4	26	7.4	2	54	8.8	
ある程度参加している	84	33.7	145	41.1	1	230	37.6	
あまり参加していない	82	32.9	107	30.3	3	192	31.4	
まったく参加していない	57	22.9	74	21.0	4	135	22.1	
無回答	0	0.0	1	0.3	0	1	0.2	
計	249	100.0	353	100.0	10	612	100.0	



「よく参加している」は、70歳代以上で割合が大きく、「ある程度参加している」は、50-60歳代、30-40歳代の順で割合が大きかった。一方「まったく参加していない」は、10-20歳代で特に割合が大きく、次いで70歳代以上で大きくなっている。

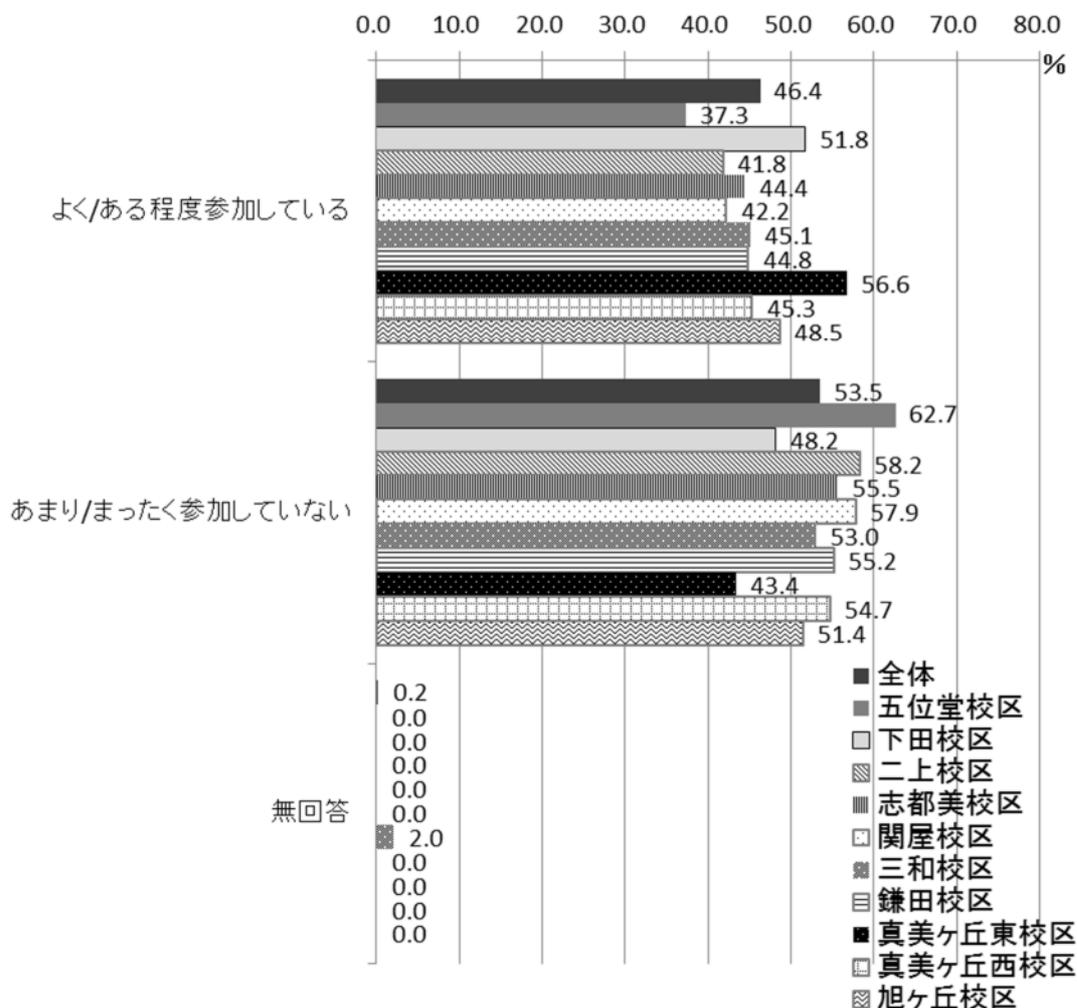
50-60歳代、30-40歳代は地域活動にある程度参加しており、70歳代以上ではよく参加している層と全く参加していない層に分かれていることがわかる。10-20歳代の地域活動への参加は特に少なくなっている。

問5	回答数・%	10-20歳代	%	30-40歳代	%	50-60歳代	%	70歳代以上	%	全体	%
よく参加している	1	1.5	14	6.4	15	7.2	24	20.2	54	8.8	
ある程度参加している	9	13.6	92	41.8	88	42.5	41	34.5	230	37.6	
あまり参加していない	20	30.3	77	35.0	75	36.2	20	16.8	192	31.4	
まったく参加していない	36	54.5	37	16.8	29	14.0	33	27.7	135	22.1	
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	1	0.2	
計		66	100.0	220	100.0	207	100.0	119	100.0	612	100.0



それぞれの回答数が少ないため傾向を見るのは難しいが、「よく参加している」「ある程度参加している」の合計では、真美ヶ丘東校区、下田校区で5割を超え割合が大きくなっている。一方「あまり参加していない」「まったく参加していない」の合計では、五位堂校区が6割を超え割合が大きくなっている。

問5 校区 回答数(%)	五位堂	下田	二上	志都美	関屋	三和	鎌田	真美ヶ丘東	真美ヶ丘西	旭ヶ丘	全体
よく参加している	3 (5.1)	14 (12.5)	5 (7.5)	9 (20.0)	3 (4.7)	3 (5.9)	0 (0.0)	5 (8.3)	7 (13.2)	5 (7.1)	54 (8.8)
ある程度参加している	19 (32.2)	44 (39.3)	23 (34.3)	11 (24.4)	24 (37.5)	20 (39.2)	13 (44.8)	29 (48.3)	17 (32.1)	29 (41.4)	230 (37.6)
あまり参加していない	16 (27.1)	30 (26.8)	27 (40.3)	15 (33.3)	20 (31.3)	14 (27.5)	10 (34.5)	16 (26.7)	25 (47.2)	19 (27.1)	192 (31.4)
まったく参加していない	21 (35.6)	24 (21.4)	12 (17.9)	10 (22.2)	17 (26.6)	13 (25.5)	6 (20.7)	10 (16.7)	4 (7.5)	17 (24.3)	135 (22.1)
無回答	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.2)
計	59	112	67	45	64	51	29	60	53	70	612

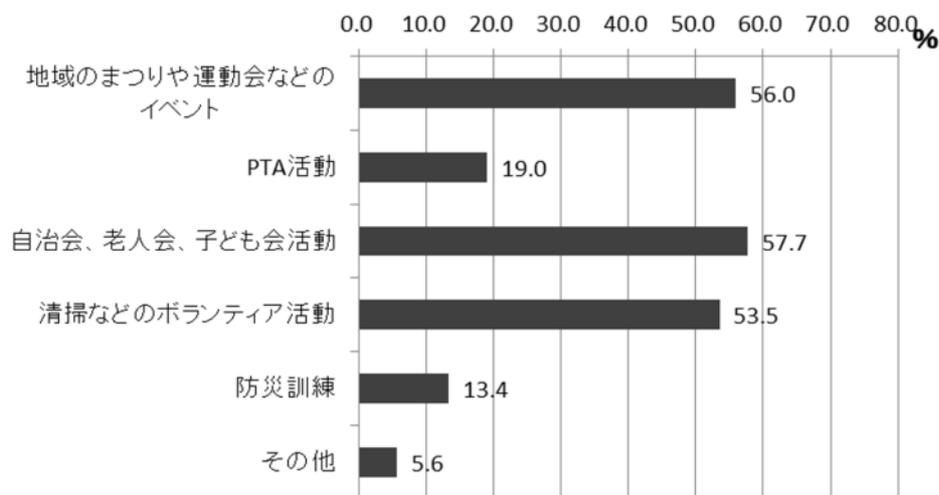


2) 参加している地域活動等の内容

地域活動等に「よく参加している」、「ある程度参加している」回答者に、活動内容をたずねたところ、「自治会、老人会、子ども会活動」(57.7%)、「地域のまつりや運動会などのイベント」(56.0%)、「清掃などのボランティア活動」(53.5%)が、5割以上で多かった。

問5-1 問5で「1.よく参加している、2.ある程度参加している」とお答えの方のみ、おたずねします。それはどのような活動ですか。(あてはまるものすべてに○を)

問5-1(MA)	回答数	%
地域のまつりや運動会などのイベント	159	56.0
PTA活動	54	19.0
自治会、老人会、子ども会活動	164	57.7
清掃などのボランティア活動	152	53.5
防災訓練	38	13.4
その他	16	5.6
無回答	0	0.0
問5回答1,2	284	-

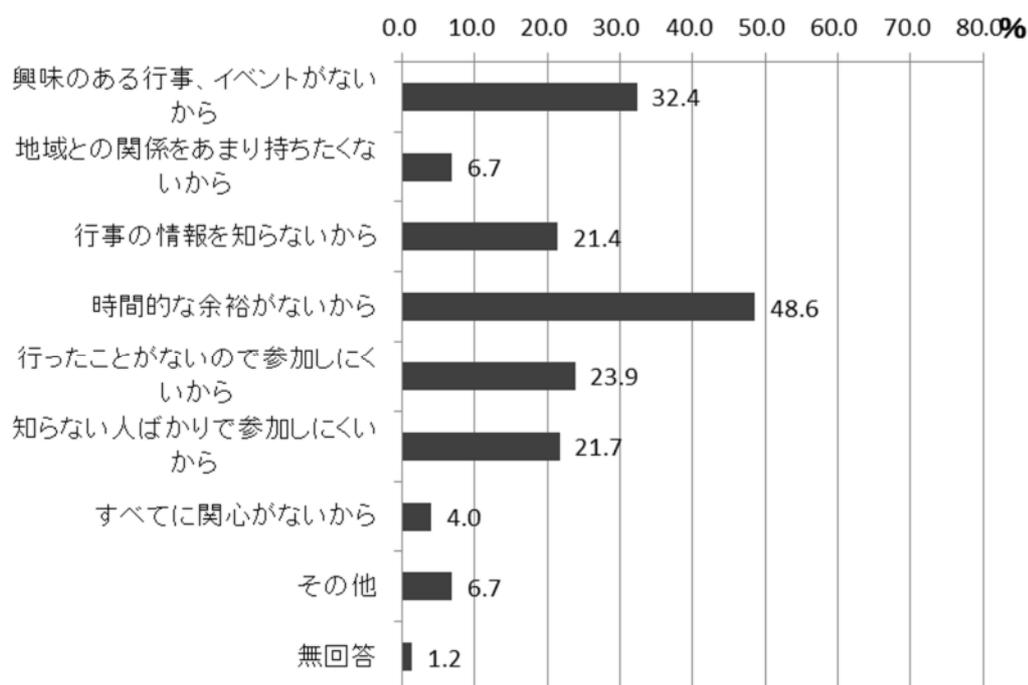


3) 地域活動等に参加しない理由

地域活動等に「あまり参加していない」、「まったく参加していない」回答者に、参加しない理由をたずねたところ、「時間的な余裕がないから」(48.6%)が最も多く、次いで「興味のある行事、イベントがないから」(32.4%)、「行ったことがないので参加しにくいから」(23.9%)、「知らない人ばかりで参加しにくいから」(21.7%)、「行事の情報を知らないから」(21.4%)と続いた。行事、地域活動に参加しにくいと感じられ、また、情報がないということは課題といえる。

問5-2 問5で「3.あまり参加していない、4.まったく参加していない」とお答えの方のみ、おたずねします。参加されない理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○を)

問5-2(MA)	回答数	%
興味のある行事、イベントがないから	106	32.4
地域との関係をあまり持ちたくないから	22	6.7
行事の情報を知らないから	70	21.4
時間的な余裕がないから	159	48.6
行ったことがないので参加しにくいから	78	23.9
知らない人ばかりで参加しにくいから	71	21.7
すべてに関心がないから	13	4.0
その他	22	6.7
無回答	4	1.2
問5回答3,4	327	-



(4) 生涯学習に関する活動状況

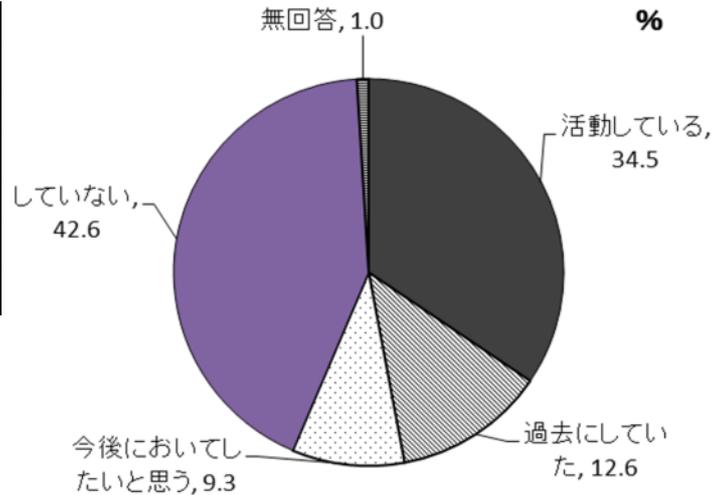
1) 生涯学習に関する活動状況

この1年間の「生涯学習」に関する活動状況をたずねたところ、「活動している」(34.5%)は、「過去にしていた」、「今後においてしたいと思う」を合わせると50%を上まわるが、「していない」(42.6%)が多数を占めている。

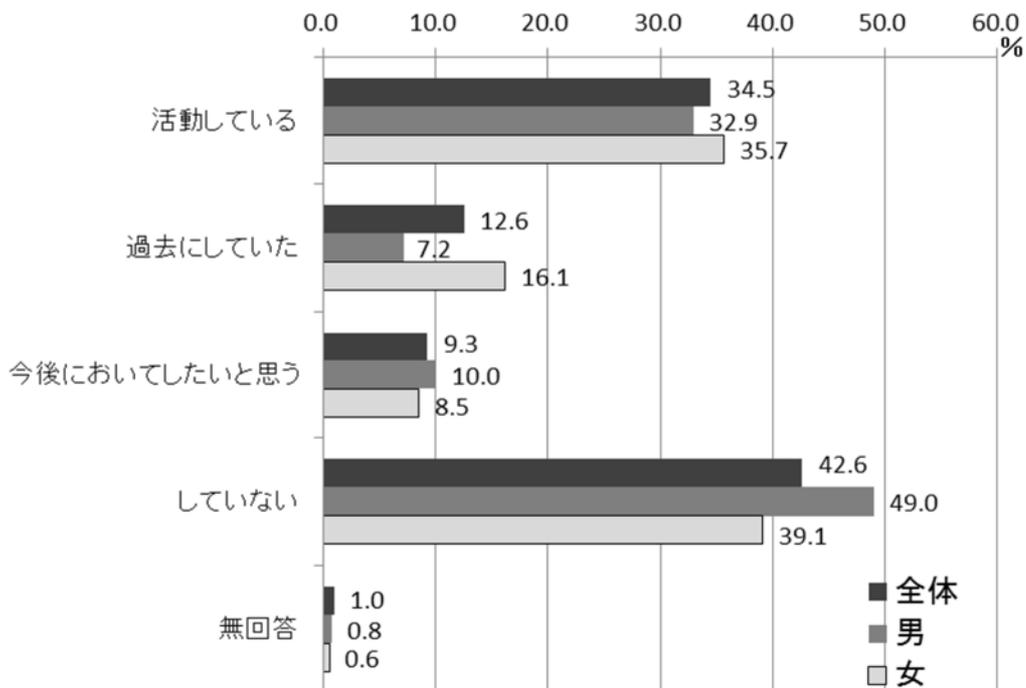
「活動している」、「過去にしていた」では、女性の方が割合が大きく、「していない」では男性の方が割合が大きくなっている。**女性の方が生涯学習に関する活動をしている(いた)ことがうかがわれる。**

問6 あなたは、この1年間に「生涯学習」に関する活動をしていましたか。(いずれか1つに○を)

問6	回答数	%
活動している	211	34.5
過去にしていた	77	12.6
今後においてしたいと思う	57	9.3
していない	261	42.6
無回答	6	1.0
計	612	100.0

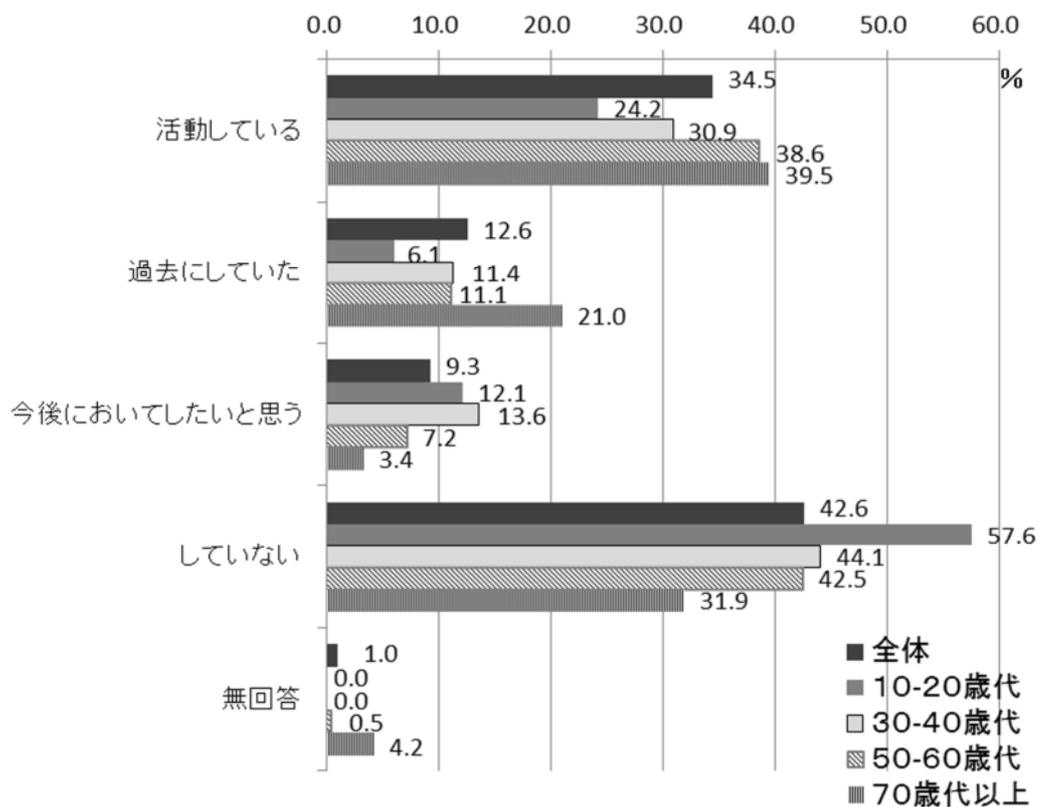


問6	回答数・%	男	%	女	%	不明	全体	%
活動している		82	32.9	126	35.7	3	211	34.5
過去にしていた		18	7.2	57	16.1	2	77	12.6
今後においてしたいと思う		25	10.0	30	8.5	2	57	9.3
していない		122	49.0	138	39.1	1	261	42.6
無回答		2	0.8	2	0.6	2	6	1.0
計		249	100.0	353	100.0	10	612	100.0



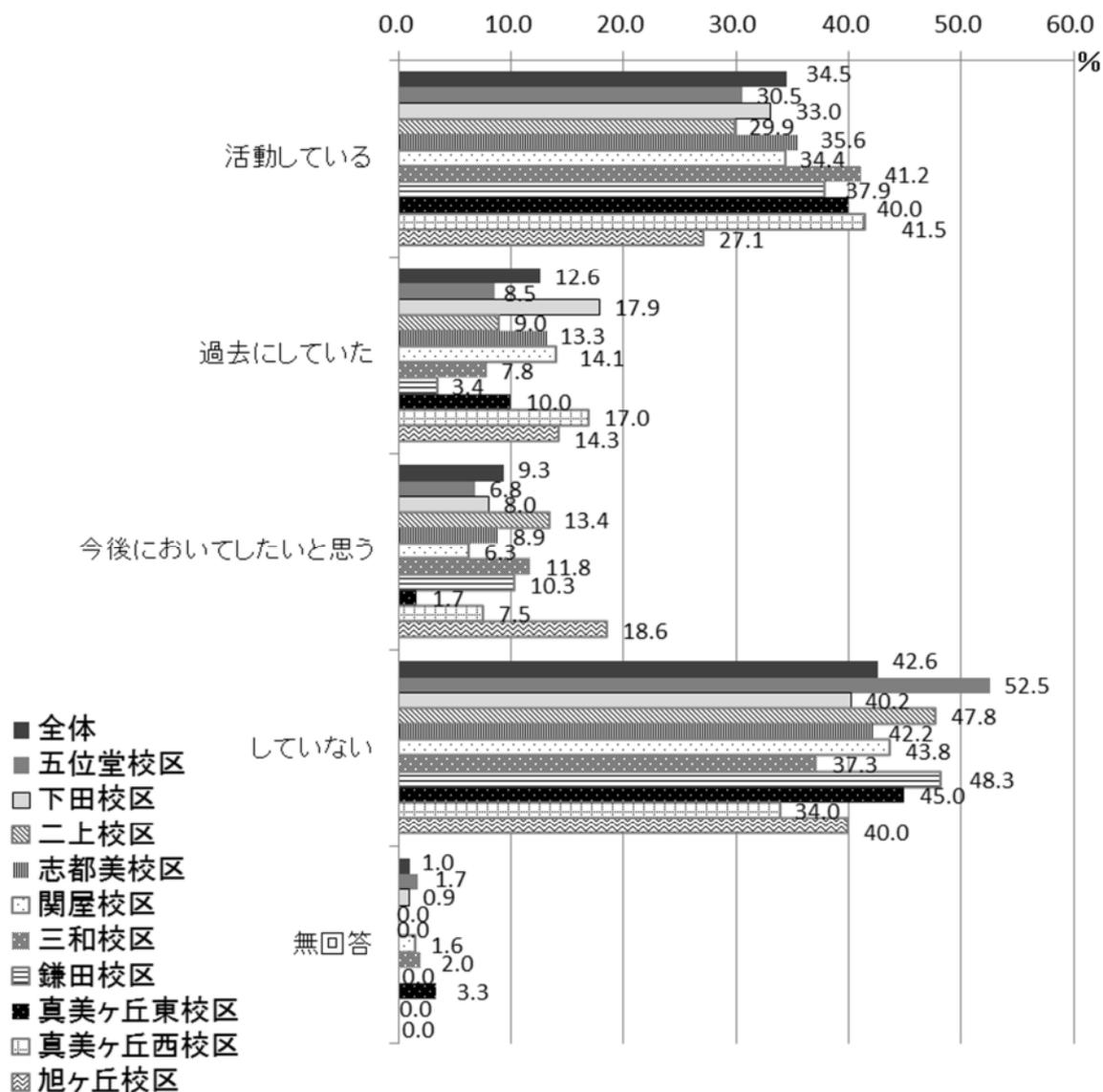
「活動している」、「過去にしていた」では、年代が上がるほど割合が大きく、反対に「していない」では年代が下がるほど割合が大きくなっている。一方で「今後においてしたいと思う」は30-40歳代、10-20歳代で割合が大きくなっている。10-20歳代、30-40歳代は生涯学習に関する活動をしていない人が多いが、今後においてしたいという意向は持っていることがうかがわれる。

問6	回答数・%	10-20歳代	%	30-40歳代	%	50-60歳代	%	70歳代以上	%	全体	%
活動している	16	24.2	68	30.9	80	38.6	47	39.5	211	34.5	
過去にしていた	4	6.1	25	11.4	23	11.1	25	21.0	77	12.6	
今後においてしたいと思う	8	12.1	30	13.6	15	7.2	4	3.4	57	9.3	
していない	38	57.6	97	44.1	88	42.5	38	31.9	261	42.6	
無回答	0	0.0	0	0.0	1	0.5	5	4.2	6	1.0	
計	66	100.0	220	100.0	207	100.0	119	100.0	612	100.0	



それぞれの回答数が少ないため傾向を見るのは難しいが、「活動している」では、真美ヶ丘西校区、三和校区、真美ヶ丘東校区で4割を超えており比較的多い。反対に「していない」では五位堂校区で5割を超えている。

問6 校区 回答数・(%)	五位堂	下田	二上	志都美	関屋	三和	鎌田	真美ヶ丘東	真美ヶ丘西	旭ヶ丘	全体
活動している	18 (30.5)	37 (33.0)	20 (29.9)	16 (35.6)	22 (34.4)	21 (41.2)	11 (37.9)	24 (40.0)	22 (41.5)	19 (27.1)	211 (34.5)
過去にしていた	5 (8.5)	20 (17.9)	6(9.0)	6 (13.3)	9 (14.1)	4 (7.8)	1 (3.4)	6 (10.0)	9 (17.0)	10 (14.3)	77 (12.6)
今後においてしたいと思う	4 (6.8)	9 (8.0)	9 (13.4)	4 (8.9)	4 (6.3)	6 (11.8)	3 (10.3)	1 (1.7)	4 (7.5)	13 (18.6)	57 (9.3)
していない	31 (52.5)	45 (40.2)	32 (47.8)	19 (42.2)	28 (43.8)	19 (37.3)	14 (48.3)	27 (45.0)	18 (34.0)	28 (40.0)	261 (42.6)
無回答	1 (1.7)	1 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.6)	1 (2.0)	0 (0.0)	2 (3.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (1.0)
計	59	112	67	45	64	51	29	60	53	70	612



2) 生涯学習活動の形態

「活動している」「過去にしていた」回答者に、どのような形態で生涯学習活動をしているかたずねたところ、自宅では「図書、新聞等の出版物」(25.0%)が最も多く、次いで「インターネットを通じて」(17.0%)となった。今回調査は生涯学習活動をしている人のみにたずねているので、前回平成11年調査と単純に数値の比較はできないが、傾向として「インターネットを通じて」と「個人的に師匠、先生に習って」の割合が大きくなっていることがわかる。

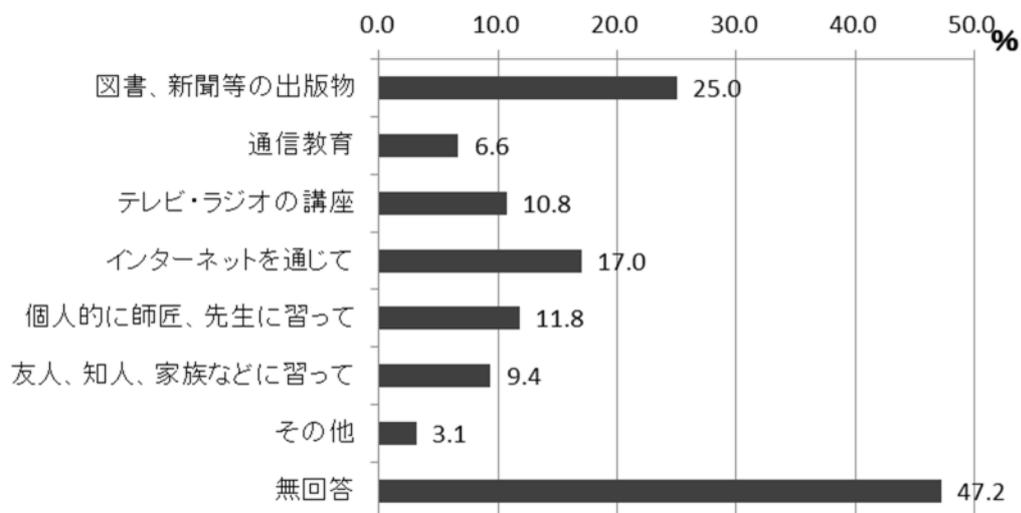
自宅以外では、「グループ・サークル活動」(31.3%)、「公営の講座、教室」(30.6%)、「民間の講座、教室」(28.5%)が、上位を占めている。前回平成11年調査と単純に数値の比較はできないが、傾向として「グループ・サークル活動」と「公営の講座、教室」の割合が大きくなっていることがわかる。

問7 問6で、「1.活動している」「2.過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。あなたは、自宅や自宅以外でどのような形態で生涯学習活動をしていましたか。(あてはまるものすべてに○を)

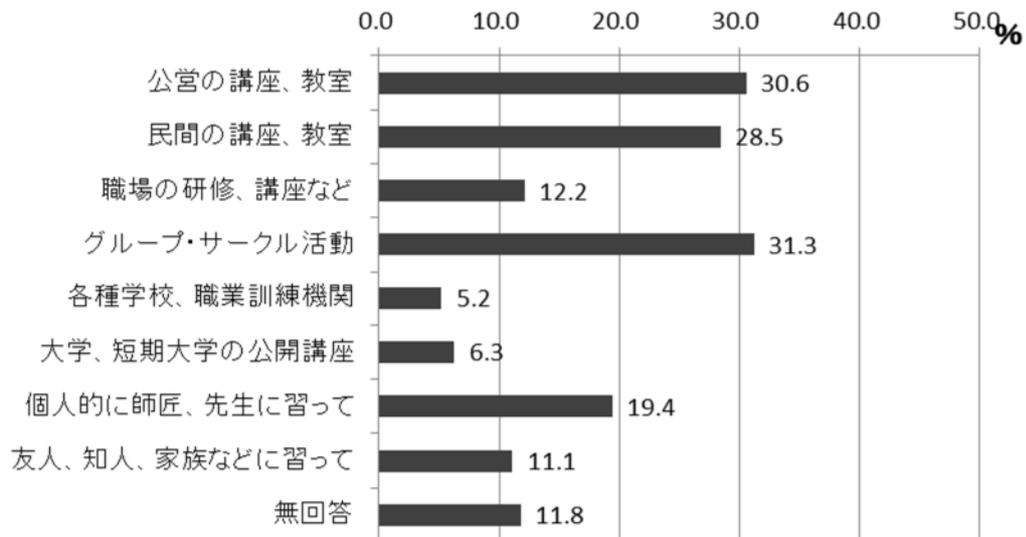
問7自宅(MA)	回答数	%	H11 調査%
図書、新聞等の出版物	72	25.0	28
通信教育	19	6.6	10
テレビ・ラジオの講座	31	10.8	14
インターネットを通じて	49	17.0	5
個人的に師匠、先生に習って	34	11.8	3
友人、知人、家族などに習って	27	9.4	8
その他	9	3.1	1
(H11 何もしていない)			42
無回答	136	47.2	10
問6 回答 1,2	288	-	

問7自宅以外(MA)	回答数	%	H11 調査%
公営の講座、教室	88	30.6	15
民間の講座、教室	82	28.5	19
職場の研修、講座など	35	12.2	18
グループ・サークル活動	90	31.3	12
各種学校、職業訓練機関	15	5.2	3
大学、短期大学の公開講座	18	6.3	4
個人的に師匠、先生に習って	56	19.4	14
友人、知人、家族などに習って	32	11.1	7
(H11 何もしていない)			35
無回答	34	11.8	6
問6 回答 1,2	288	-	-

< 自宅での生涯学習活動 >



< 自宅以外での生涯学習活動 >



3) 生涯学習活動の内容

「活動している」「過去にしていた」回答者に、現在までどのような生涯学習活動をしているか、また今後どのような生涯学習をしたいかをたずねたところ、現在、今後とも「趣味・娯楽」が最も多く、次いで「教養」となった。今後したい生涯学習では、「教養」と「健康増進・食育」「保健・介護・地域福祉」が、現在よりも多くなっている。

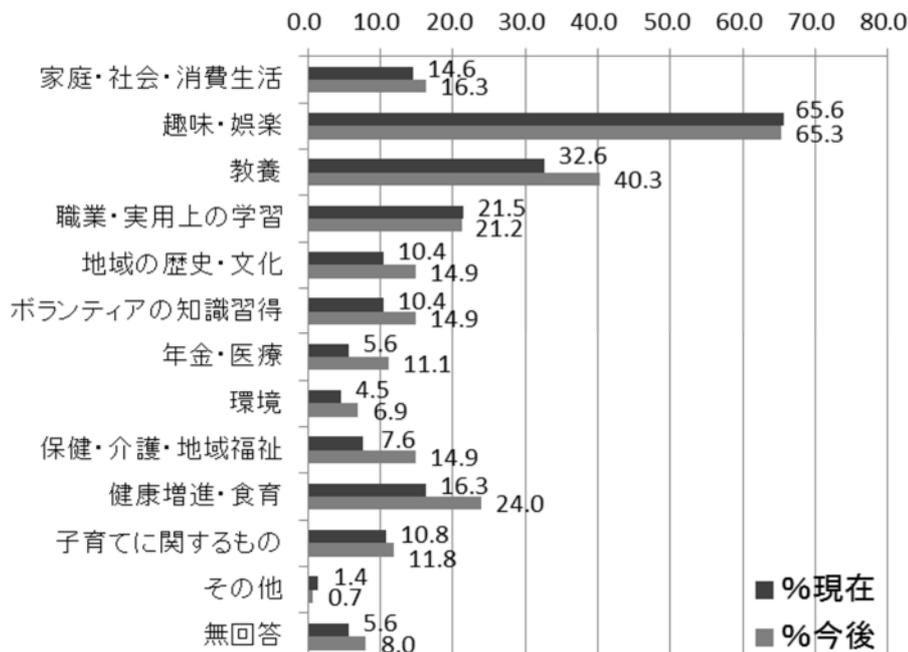
今回調査は生涯学習活動をしている人のみにたずね、選択肢が増えているので、前回平成11年調査と単純に数値の比較はできないが、傾向として現在、今後とも「趣味・娯楽」と「教養」の割合が大きくなっていることがわかる。

問7-1 問6で、「1.活動している」「2.過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。

あなたは、現在までどのような生涯学習をしましたか。(あてはまるものすべてに○を)

あなたは、今後どのような生涯学習をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問7-1(MA)	①現在		②今後		H11 調査	
	回答数	%	回答数	%	現在 %	今後 %
家庭・社会・消費生活	42	14.6	47	16.3	9	13
趣味・娯楽	189	65.6	188	65.3	34	42
教養	94	32.6	116	40.3	15	24
職業・実用上の学習	62	21.5	61	21.2	22	23
地域の歴史・文化	30	10.4	43	14.9	5	13
ボランティアの知識習得	30	10.4	43	14.9	4	14
年金・医療	16	5.6	32	11.1		
環境	13	4.5	20	6.9		
保健・介護・地域福祉	22	7.6	43	14.9		
健康増進・食育 (H11 健康維持)	47	16.3	69	24.0	17	31
子育てに関するもの(育児・教育)	31	10.8	34	11.8		
その他	4	1.4	2	0.7	0	0
(H11 現在何もしていない、今後特ごない)					22	11
無回答	16	5.6	23	8.0	13	7
問6 回答 1,2	288	-	288	-	-	-



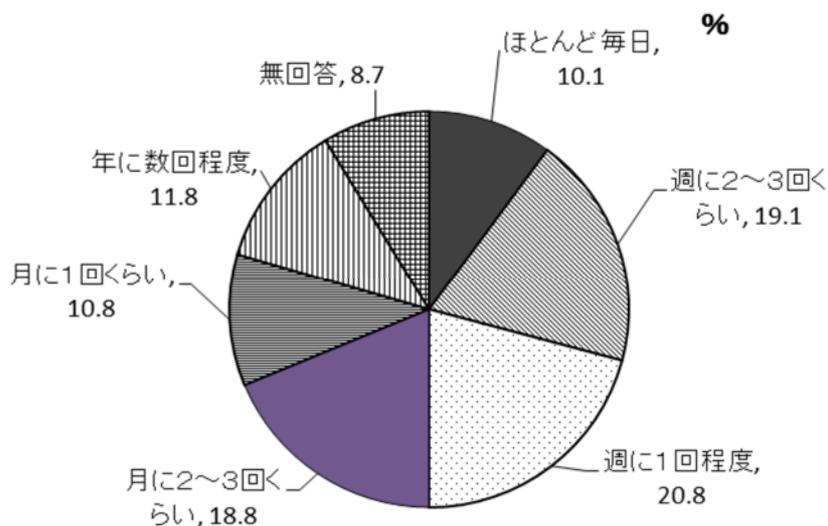
4) 生涯学習活動の回数

「活動している」「過去にしていた」回答者に、行っている生涯学習に関する活動の回数をたずねたところ、「週に1回程度」(20.8%)、「週に2～3回くらい」(19.1%)、「月に2～3回くらい」(18.8%)が多かった。

問7-1 問6で、「1.活動している」「2.過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。

あなたが、行っている生涯学習に関する活動の回数について、おたずねします。(いずれか1つに○を)

問7-1③	回答数	%
ほとんど毎日	29	10.1
週に2～3回くらい	55	19.1
週に1回程度	60	20.8
月に2～3回くらい	54	18.8
月に1回くらい	31	10.8
年に数回程度	34	11.8
無回答	25	8.7
問6回答1,2	288	100.0

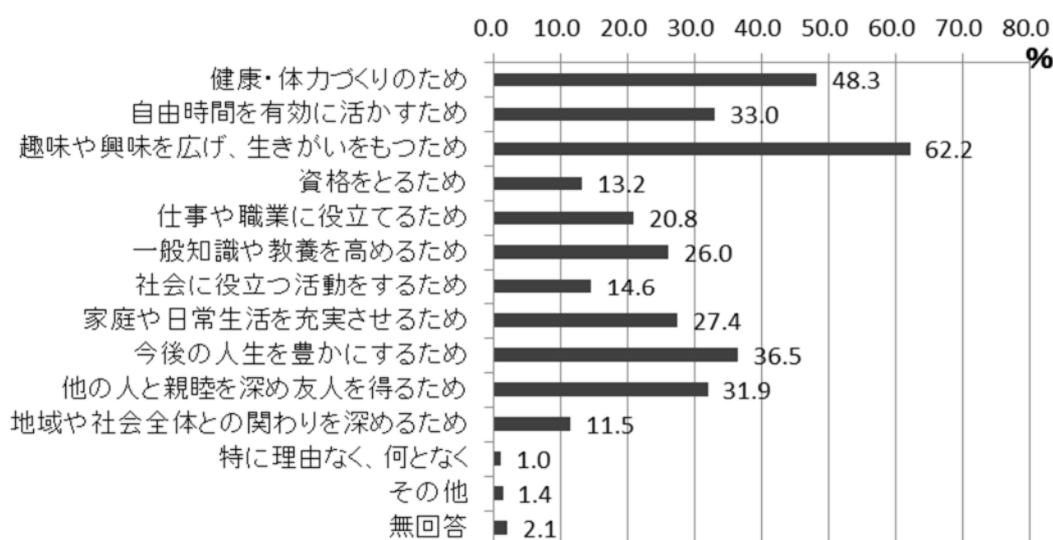


(5) 生涯学習活動を行う目的

「活動している」「過去にしていた」回答者に、生涯学習に関する活動を行う目的や動機をたずねたところ、「趣味や興味を広げ、生きがいをもつため」(62.2%)が最も多く、次いで「健康・体力づくりのため」(48.3%)が多かった。さらに、「今後の人生を豊かにするため」(36.5%)、「自由時間を有効に活かすため」(33.0%)、「他の人と親睦を深め友人を得るため」(31.9%)となっている。生涯学習活動を行う目的は、個人の生きがいや健康のためが大きいが、活動を通じて友人を得ることも挙げられている。

問7-2 問6で、「1.活動している」「2.過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。あなたは、その生涯学習に関する活動を行う目的や動機は何ですか。(あてはまるものすべてに○を)

問7-2(MA)	回答数	%
健康・体力づくりのため	139	48.3
自由時間を有効に活かすため	95	33.0
趣味や興味を広げ、生きがいをもつため	179	62.2
資格をとるため	38	13.2
仕事や職業に役立てるため	60	20.8
一般知識や教養を高めるため	75	26.0
社会に役立つ活動をするため	42	14.6
家庭や日常生活を充実させるため	79	27.4
今後の人生を豊かにするため	105	36.5
他の人と親睦を深め友人を得るため	92	31.9
地域や社会全体との関わりを深めるため	33	11.5
特に理由なく、何となく	3	1.0
その他	4	1.4
無回答	6	2.1
問6 回答 1,2	288	-



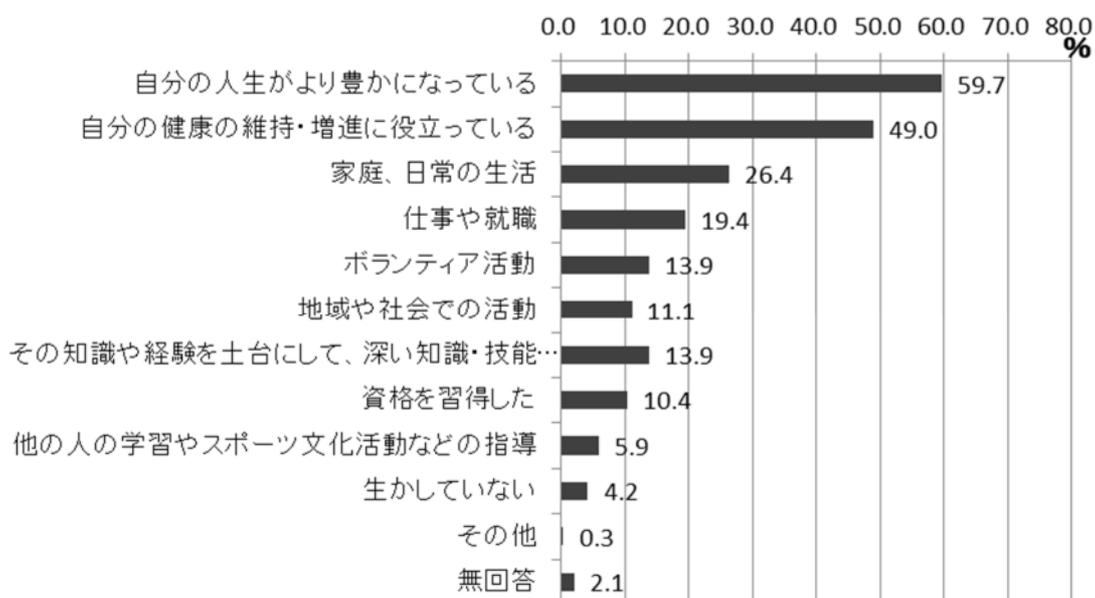
(6) 生涯学習活動の活用

1) 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験の生かしかた（活動している人）

「活動している」「過去にしていた」回答者に、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験をどのように生かしているかをたずねたところ、「自分の人生がより豊かになっている」(59.7%)が最も多く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立っている」(49.0%)が多かった。さらに、「家庭、日常生活」(26.4%)、「仕事や就職」(19.4%)と続き、自分自身の生活や仕事のために生涯学習が活かされていることがわかる。

問7-3 問6で、「1.活動している」「2.過去にしていた」とお答えの方のみ、おたずねします。あなたは、その生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験をどのように生かしていますか。(あてはまるものすべてに○を)

問7-3(MA)	回答数	%
自分の人生がより豊かになっている	172	59.7
自分の健康の維持・増進に役立っている	141	49.0
家庭、日常生活	76	26.4
仕事や就職	56	19.4
ボランティア活動	40	13.9
地域や社会での活動	32	11.1
その知識や経験を土台にして、深い知識・技能を身につけるように生かしている	40	13.9
資格を習得した	30	10.4
他の人の学習やスポーツ文化活動などの指導	17	5.9
生かしていない	12	4.2
その他	1	0.3
無回答	6	2.1
問6回答1,2	288	-

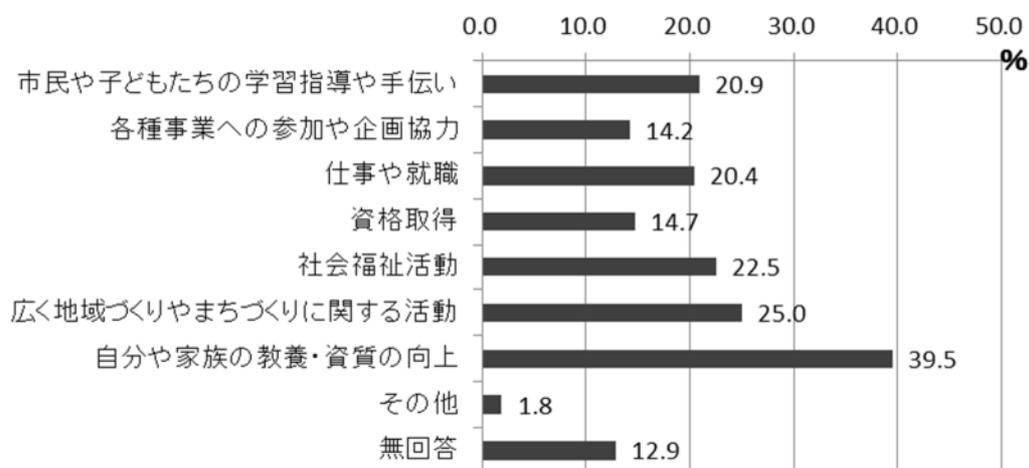


2) 生涯学習で学んだことをどのように役立てたいか（全体）

生涯学習で学んだことをどのように役立てたいと思うかをたずねたところ、「自分や家族の教養・資質の向上」(39.5%)が最も多く、次いで「広く地域づくりやまちづくりに関する活動」(25.0%)、「社会福祉活動」(22.5%)、「市民や子どもたちの学習指導や手伝い」(20.9%)、「仕事や就職」(20.4%)と続き、自分や家族のためが最も多いものの、地域づくりや社会福祉活動に生涯学習で学んだことを役立てたいという意向がみられる。

問14 あなたは、生涯学習で学んだことをどのように役立てたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問14(MA)	回答数	%
市民や子どもたちの学習指導や手伝い	128	20.9
各種事業(講座、展示会、イベントなど)への参加や企画協力	87	14.2
仕事や就職	125	20.4
資格取得	90	14.7
社会福祉活動	138	22.5
広く地域づくりやまちづくりに関する活動	153	25.0
自分や家族の教養・資質の向上	242	39.5
その他	11	1.8
無回答	79	12.9
全体	612	-

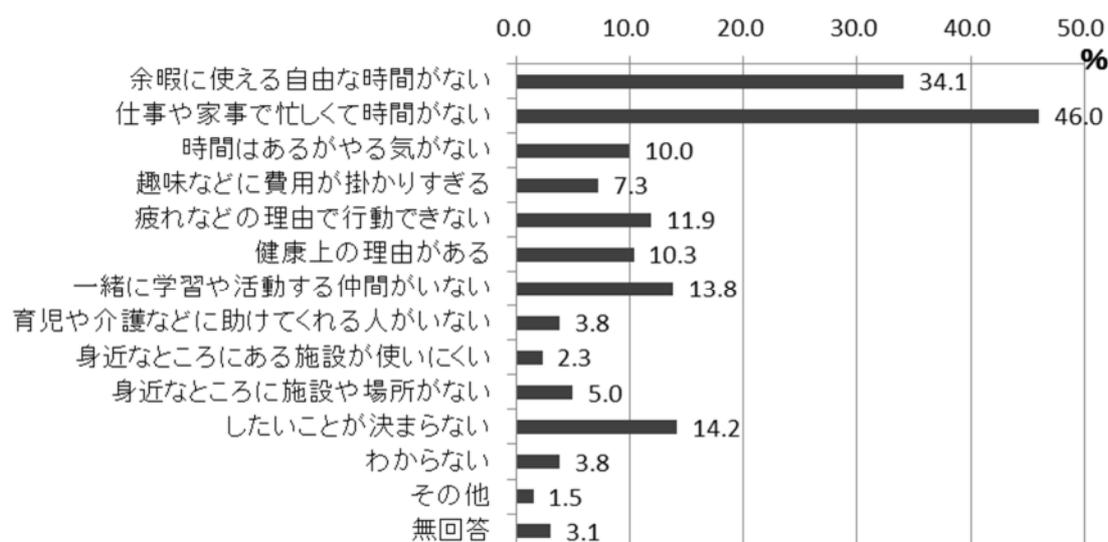


(7) 生涯学習活動をしていない理由

「活動していない」回答者に、その理由をたずねたところ、「仕事や家事で忙しくて時間がない」(46.0%)が最も多く、次いで「余暇に使える自由な時間がない」(34.1%)が多かった。「したいことが決まらない」(14.2%)、「一緒に学習や活動する仲間がいない」(13.8%)と続くが、時間がないことが大きな理由となっていることがわかる。

問7-4 問6で、「4. していない」とお答えの方のみ、おたずねします。
その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○を)

問7-4(MA)	回答数	%
余暇に使える自由な時間がない	89	34.1
仕事や家事で忙しくて時間がない	120	46.0
時間はあるがやる気がない	26	10.0
趣味などに費用が掛かりすぎる	19	7.3
疲れなどの理由で行動できない	31	11.9
健康上の理由がある	27	10.3
一緒に学習や活動する仲間がいない	36	13.8
育児や介護などに助けてくれる人がいない	10	3.8
身近なところにある施設が使いにくい	6	2.3
身近なところに施設や場所がない	13	5.0
したいことが決まらない	37	14.2
わからない	10	3.8
その他	4	1.5
無回答	8	3.1
問6回答4	261	-



(8) スポーツ・レクリエーション活動の状況

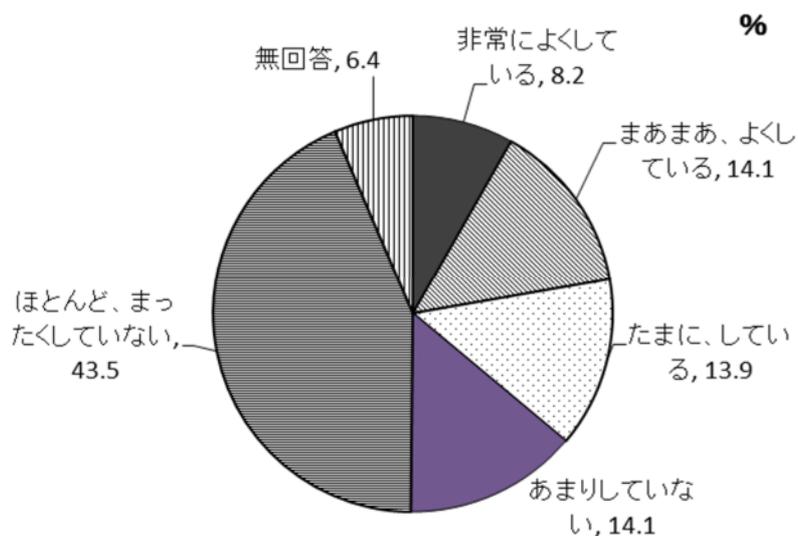
1) スポーツ・レクリエーション活動状況

過去1年間に、何かの「スポーツ・レクリエーション」をしたかをたずねたところ、「ほとんど、まったくしていない」(43.5%)が最も多くなった。次いで「まあまあ、よくしている」(14.1%)だったが、「非常によくしている」(8.2%)、「たまに、している」(13.9%)とあわせても4割にとどかなかった。

前回平成11年調査と比較しても同様の傾向だが、「ほとんど、まったくしていない」の割合が増えている。

問8 過去1年間に、何かの「スポーツ・レクリエーション」をされましたか。(いずれか1つに○を)

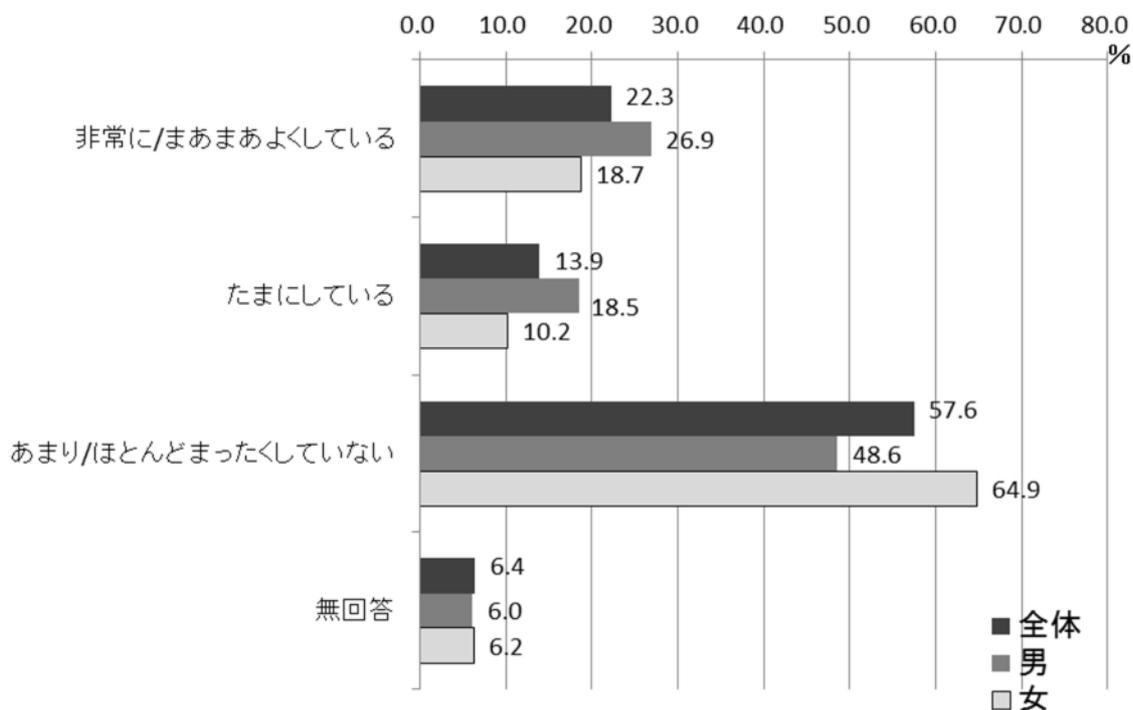
問8①	回答数	%	H11 調査%
非常によくしている	50	8.2	8
まあまあ、よくしている	86	14.1	14
たまに、している	85	13.9	19
あまりしていない	86	14.1	21
ほとんど、まったくしていない	266	43.5	37
無回答	39	6.4	2
計	612	100.0	(101)



「非常によくしている」「まあまあ、よくしている」を合わせると、男性の方がやや割合が大きく、「あまりしていない」「ほとんど、まったくしていない」を合わせると、女性の方が割合が大きくなっている。

スポーツ・レクリエーション活動では、女性の方が活動が低調となっていることがわかる。

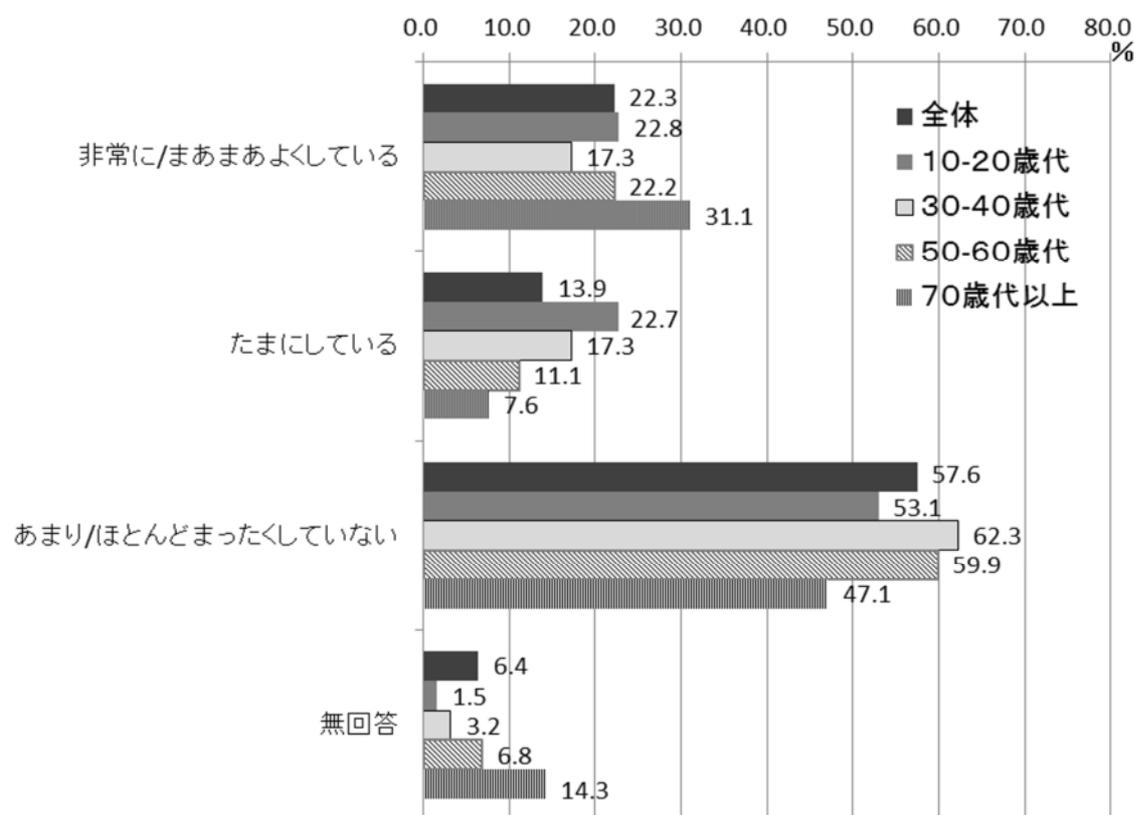
問8①	回答数・%	男	%	女	%	不明	全体	%
非常によくしている		25	10.0	24	6.8	1	50	8.2
まあまあ、よくしている		42	16.9	42	11.9	2	86	14.1
たまに、している		46	18.5	36	10.2	3	85	13.9
あまりしていない		38	15.3	47	13.3	1	86	14.1
ほとんど、まったくしていない		83	33.3	182	51.6	1	266	43.5
無回答		15	6.0	22	6.2	2	39	6.4
計		249	100.0	353	100.0	10	612	100.0



「非常によくしている」「まあまあ、よくしている」を合わせると、70歳以上がやや割合が大きく、30-40歳代の割合が小さくなっている。「あまりしていない」「ほとんど、まったくしていない」を合わせると、30-40歳代、50-60歳代が割合が大きくなっている。

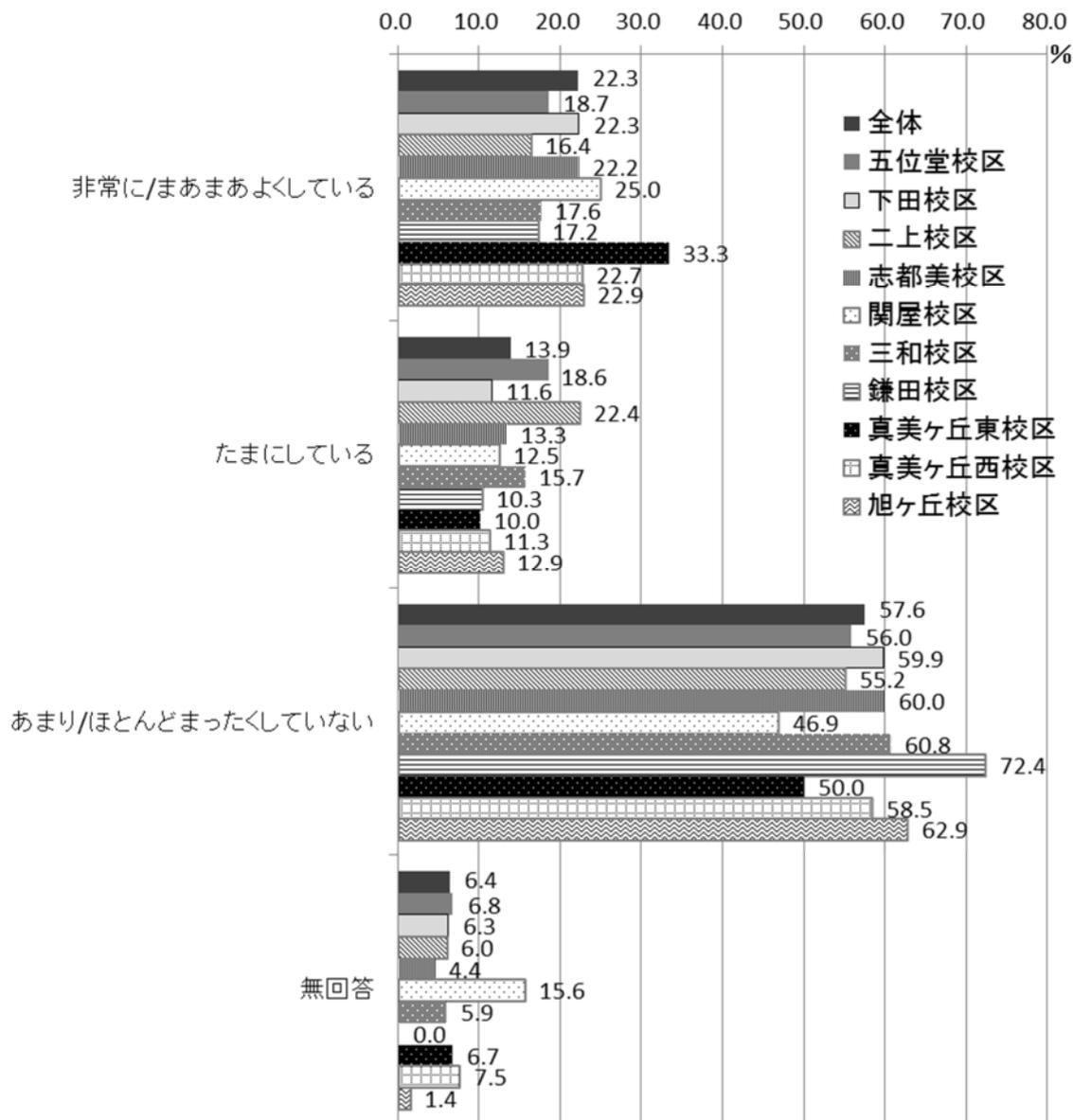
スポーツ・レクリエーション活動では、30-40歳代、50-60歳代で活動が低調となっていることがわかる

問8①	回答数・%	10-20歳代	%	30-40歳代	%	50-60歳代	%	70歳代以上	%	全体	%
非常によくしている	10	15.2	12	5.5	13	6.3	15	12.6	50	8.2	
まあまあ、よくしている	5	7.6	26	11.8	33	15.9	22	18.5	86	14.1	
たまに、している	15	22.7	38	17.3	23	11.1	9	7.6	85	13.9	
あまりしていない	11	16.7	34	15.5	29	14.0	12	10.1	86	14.1	
ほとんど、まったくしていない	24	36.4	103	46.8	95	45.9	44	37.0	266	43.5	
無回答	1	1.5	7	3.2	14	6.8	17	14.3	39	6.4	
計	66	100.0	220	100.0	207	100.0	119	100.0	612	100.0	



それぞれの回答数が少ないため傾向を見るのは難しいが、「非常によくしている」「まあまあ、よくしている」を合わせると、真美ヶ丘東校区でやや割合が大きくなっている。「あまりしていない」「ほとんど、まったくしていない」を合わせると、鎌田校区で割合が大きくなっている。

問8① 校区 回答数(%)	五位堂	下田	二上	志都美	関屋	三和	鎌田	真美ヶ丘東	真美ヶ丘西	旭ヶ丘	全体
非常によくしている	4 (6.8)	11 (9.8)	4 (6.0)	4 (8.9)	7 (10.9)	5 (9.8)	1 (3.4)	6 (10.0)	2 (3.8)	6 (8.6)	50 (8.2)
まあまあ、よくしている	7 (11.9)	14 (12.5)	7 (10.4)	6 (13.3)	9 (14.1)	4 (7.8)	4 (13.8)	14 (23.3)	10 (18.9)	10 (14.3)	86 (14.1)
たまに、している	11 (18.6)	13 (11.6)	15 (22.4)	6 (13.3)	8 (12.5)	8 (15.7)	3 (10.3)	6 (10.0)	6 (11.3)	9 (12.9)	85 (13.9)
あまりしていない	9 (15.3)	18 (16.1)	7 (10.4)	9 (20.0)	4 (6.3)	6 (11.8)	8 (27.6)	7 (11.7)	8 (15.1)	10 (14.3)	86 (14.1)
ほとんど、まったくしていない	24 (40.7)	49 (43.8)	30 (44.8)	18 (40.0)	26 (40.6)	25 (49.0)	13 (44.8)	23 (38.3)	23 (43.4)	34 (48.6)	266 (43.5)
無回答	4 (6.8)	7 (6.3)	4 (6.0)	2 (4.4)	10 (15.6)	3 (5.9)	0 (0.0)	4 (6.7)	4 (7.5)	1 (1.4)	39 (6.4)
計	59	112	67	45	64	51	29	60	53	70	612

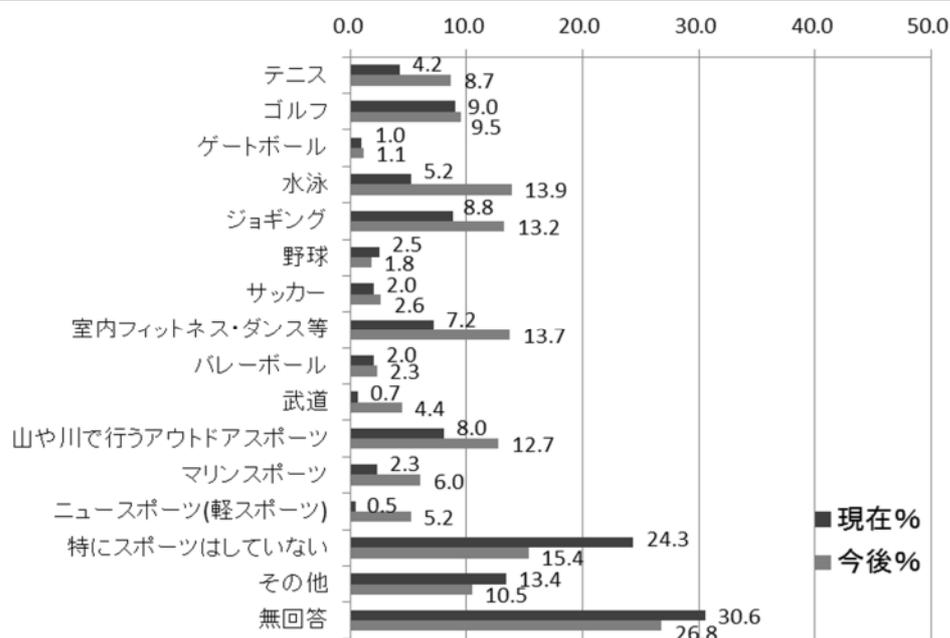


2) スポーツ・レクリエーション活動の内容

現在しているスポーツ、また、今後したいと思っているスポーツについてたずねたところ、現在は「特にスポーツはしていない」(24.3%)が最も多くかったが、今後についてはその比率(15.4%)は下がっている。今後したいスポーツは、「水泳」(13.9%)、「室内フィットネス・ダンス等」(13.7%)、「ジョギング」(13.2%)、「山や川で行うアウトドアスポーツ」(12.7%)が多く、個人でできるスポーツが中心になっている。「山や川で行うアウトドアスポーツ」が多いのは特徴といえる。前回平成11年調査と比較しても同様の傾向がみられる。

現在している「スポーツ」また、今後したいと思っている「スポーツ」について下記の選択肢の中から、選んでください。(あてはまるものすべてに○を)

問8②(MA)	現在		今後		H11 調査	
	回答数	%	回答数	%	現在%	今後%
テニス	26	4.2	53	8.7	6	13
ゴルフ	55	9.0	58	9.5	14	14
ゲートボール	6	1.0	7	1.1	1	3
水泳	32	5.2	85	13.9	7	27
ジョギング	54	8.8	81	13.2	10	13
野球	15	2.5	11	1.8		
サッカー	12	2.0	16	2.6	4	4
室内フィットネス・ダンス等	44	7.2	84	13.7	6	18
バレーボール	12	2.0	14	2.3	3	4
武道	4	0.7	27	4.4	2	3
山や川で行うアウトドアスポーツ	49	8.0	78	12.7	12	20
マリンスポーツ	14	2.3	37	6.0	2	8
ニュースポーツ(軽スポーツ)	3	0.5	32	5.2		
特にスポーツはしていない	149	24.3	94	15.4	38	19
その他	82	13.4	64	10.5	10	7
無回答	187	30.6	164	26.8	10	6
全体	612	-	612	-	-	-



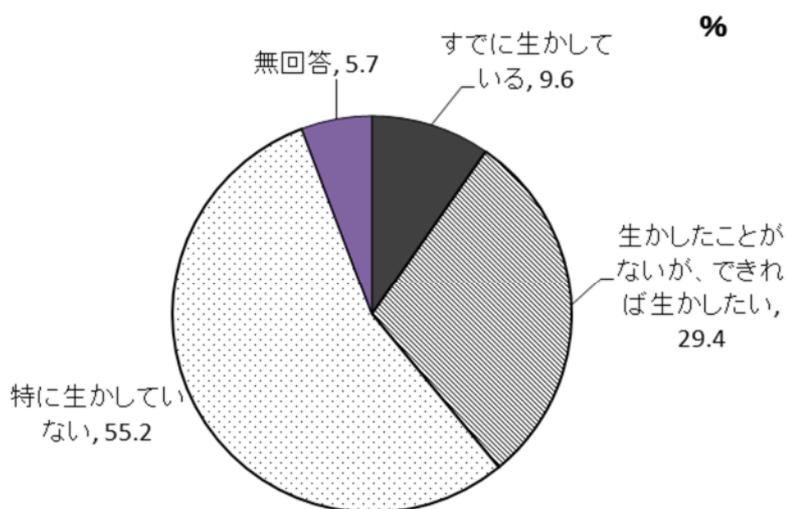
(9) ボランティア活動

1) ボランティア活動への意向

地域のために、自分の経験や知識、特技あるいは余暇時間をボランティア活動に生かしたいと思うかをたずねたところ、「特に生かしていない」(55.2%)が最も多くなった。次いで「生かしたことがないが、できれば生かしたい」(29.4%)で、「すでに生かしている」(9.6%)とあわせると約4割だった。

問9 あなたは、地域のために、自分の経験や知識、特技あるいは余暇時間をボランティア活動に生かしたいと思いますか。(いずれか1つに○を)

問9	回答数	%
すでに生かしている	59	9.6
生かしたことがないが、できれば生かしたい	180	29.4
特に生かしていない	338	55.2
無回答	35	5.7
計	612	100.0



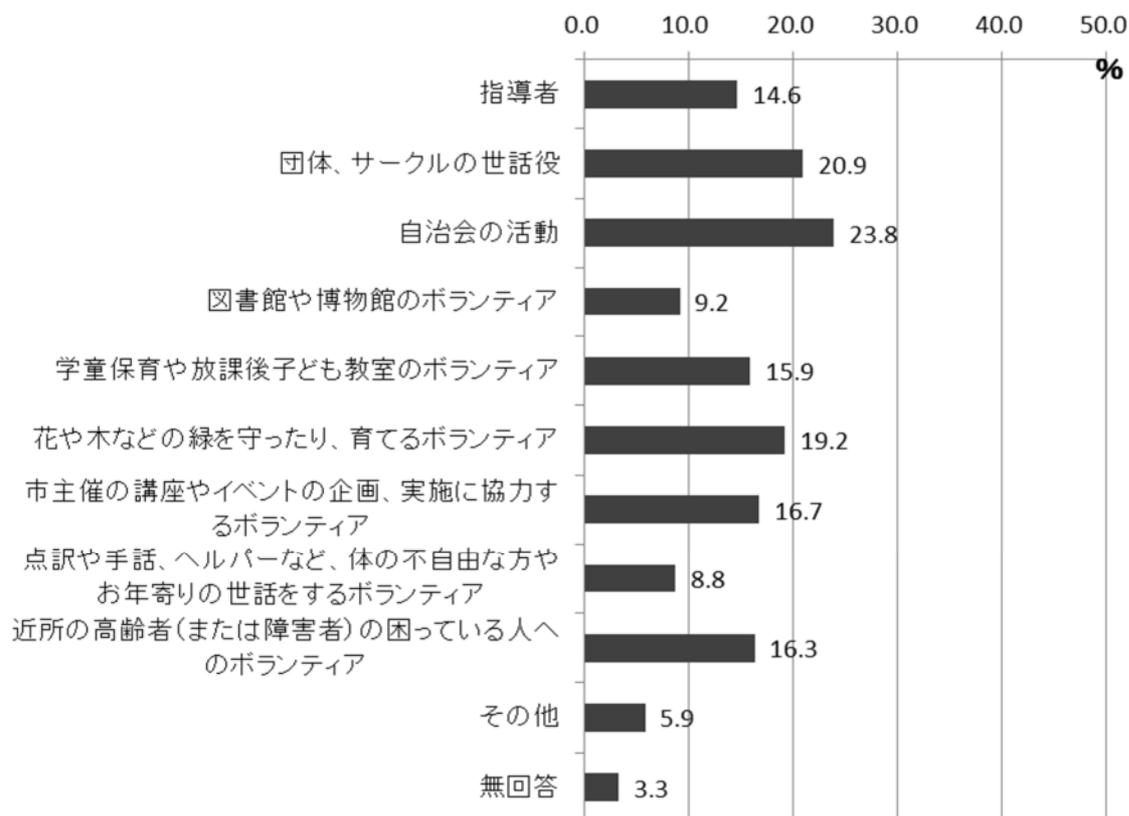
2) ボランティア活動の内容

「すでに生かしている」「生かしたことがないが、できれば生かしたい」の回答者に、どのような形で生かしているか、また生かしたいと思うかをたずねたところ、「自治会の活動」(23.8%)、「団体、サークルの世話役」(20.9%)が多かった。次いで「花や木などの緑を守ったり、育てるボランティア」(19.2%)、「市主催の講座やイベントの企画、実施に協力するボランティア」(16.7%)、「近所の高齢者(または障害者)の困っている人へのボランティア」(16.3%)と続いている。多様なボランティア活動への参加意向が存在している。

問9-1 問9で「1・2」と答えた方にお聞きします。

どのような形で生かしているか、また生かしたいと思いますか。(2つ以内に○を)

問9-1(MA)	回答数	%
指導者	35	14.6
団体、サークルの世話役	50	20.9
自治会の活動	57	23.8
図書館や博物館のボランティア	22	9.2
学童保育や放課後子ども教室のボランティア	38	15.9
花や木などの緑を守ったり、育てるボランティア	46	19.2
市主催の講座やイベントの企画、実施に協力するボランティア	40	16.7
点訳や手話、ヘルパーなど、体の不自由な方やお年寄りの世話をするボランティア	21	8.8
近所の高齢者(または障害者)の困っている人へのボランティア	39	16.3
その他	14	5.9
無回答	8	3.3
問9回答1,2	239	-

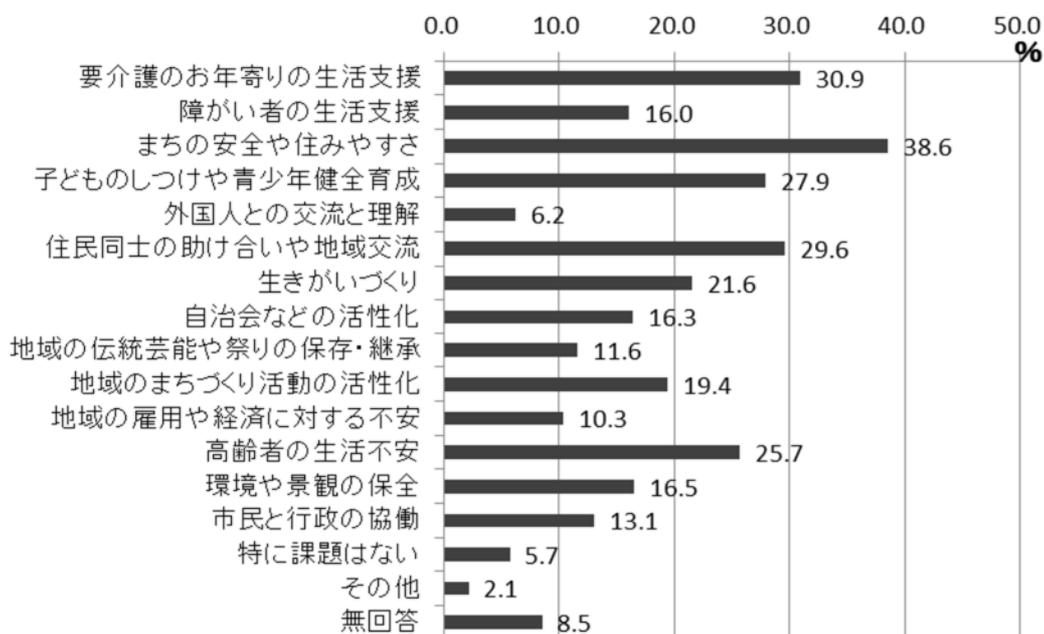


(10) 地域の課題

地域にどのような課題があると思うかをたずねたところ、「まちの安全や住みやすさ」(38.6%)が最も多かった。次いで「要介護のお年寄りの生活支援」(30.9%)、「住民同士の助け合いや地域交流」(29.6%)、「子どものしつけや青少年健全育成」(27.9%)、「高齢者の生活不安」(25.7%)と続いている。

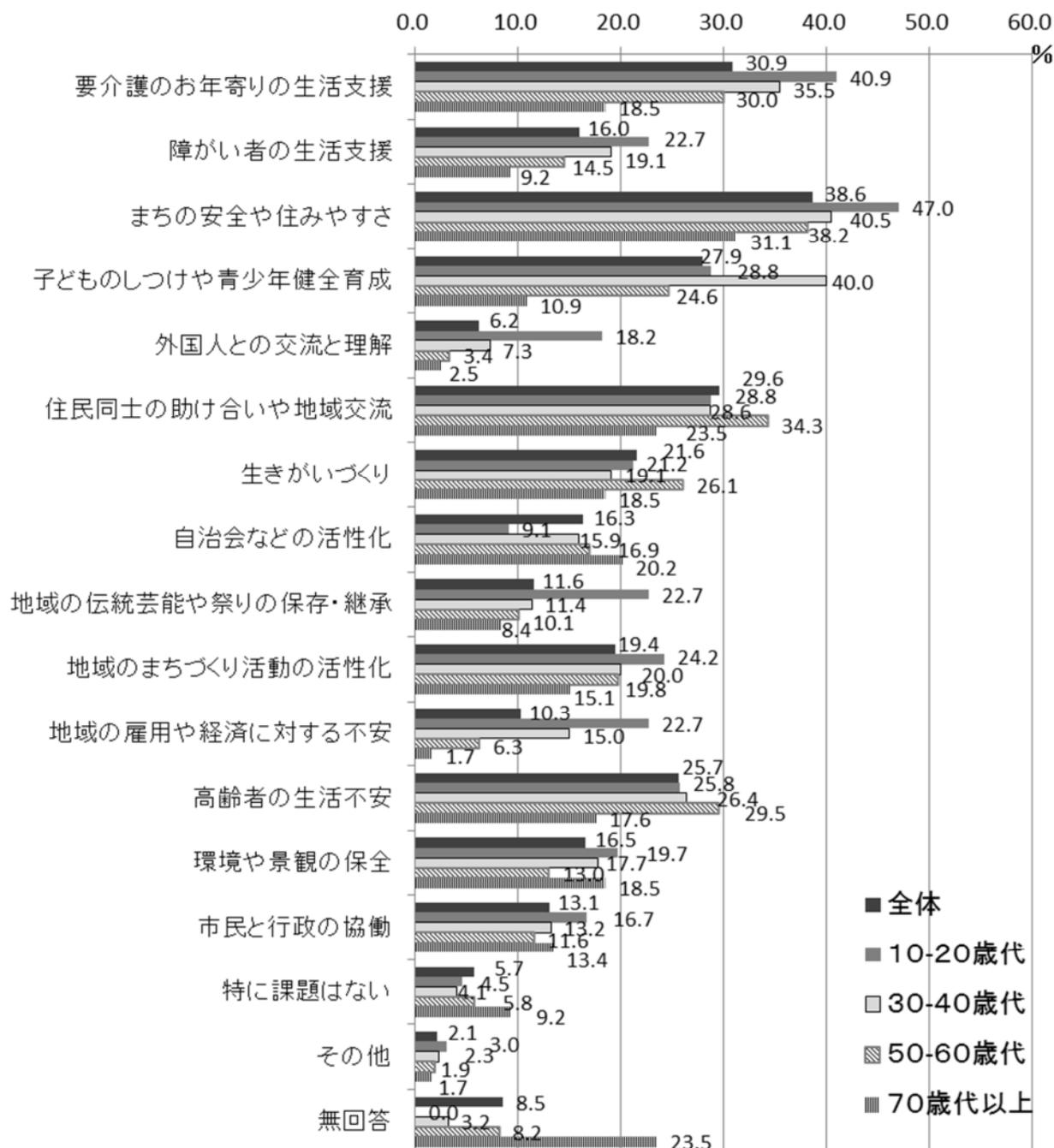
問10 あなたは、地域にどのような課題があると思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問10(MA)	回答数	%
要介護のお年寄りの生活支援	189	30.9
障がい者の生活支援	98	16.0
まちの安全や住みやすさ	236	38.6
子どものしつけや青少年健全育成	171	27.9
外国人との交流と理解	38	6.2
住民同士の助け合いや地域交流	181	29.6
生きがいづくり	132	21.6
自治会などの活性化	100	16.3
地域の伝統芸能や祭りの保存・継承	71	11.6
地域のまちづくり活動の活性化	119	19.4
地域の雇用や経済に対する不安	63	10.3
高齢者の生活不安	157	25.7
環境や景観の保全	101	16.5
市民と行政の協働	80	13.1
特に課題はない	35	5.7
その他	13	2.1
無回答	52	8.5
全体	612	-



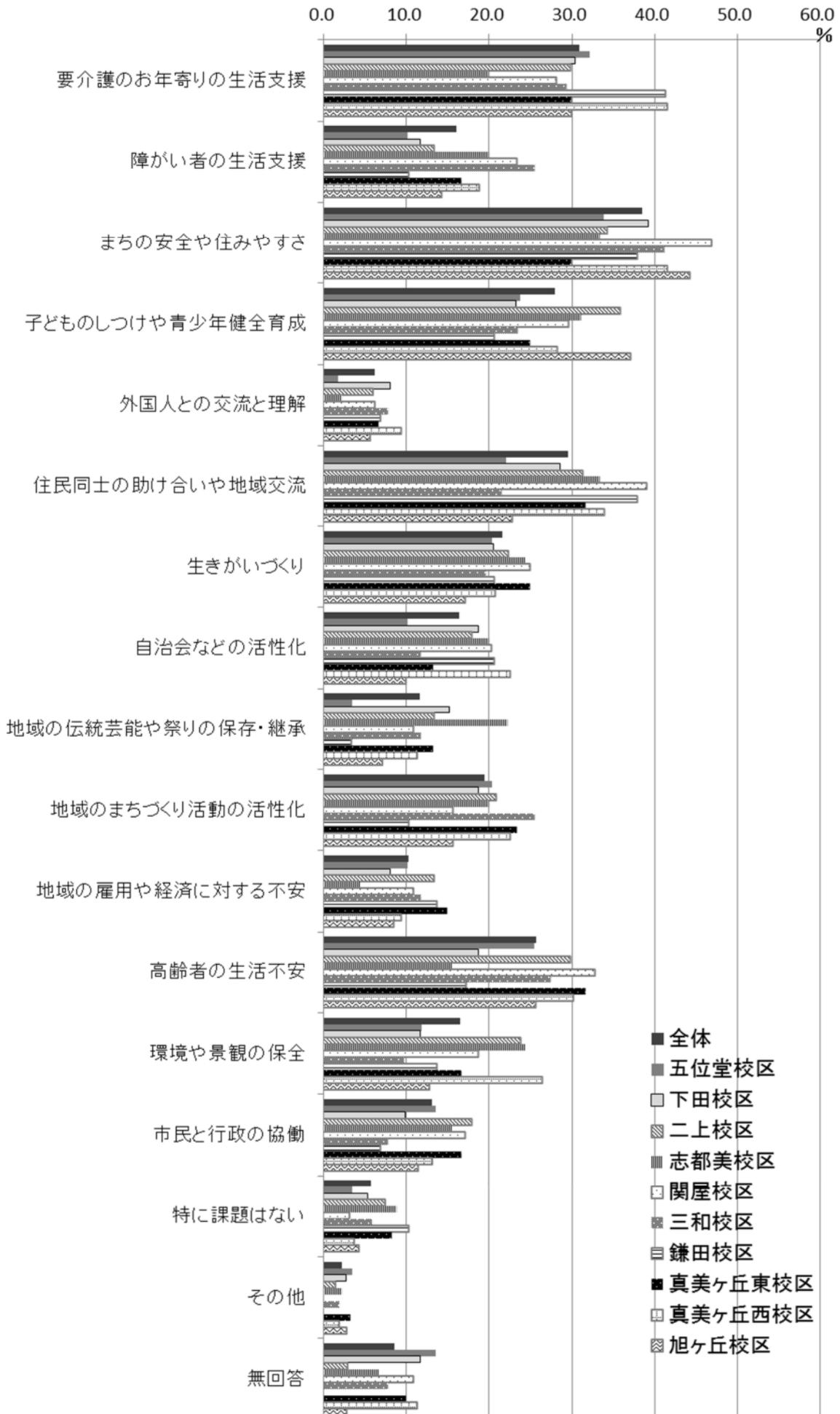
「要介護のお年寄りの生活支援」「障がい者の生活支援」「まちの安全や住みやすさ」「地域のまちづくり活動の活性化」「地域の雇用や経済に対する不安」については、年代が下がるほど割合が大きくなっている。「地域の伝統芸能や祭りの保存・継承」は10-20歳代で割合が大きい。「子どものしつけや青少年健全育成」は30-40歳代で割合が大きい。「住民同士の助け合いや地域交流」「生きがいつくり」は50-60歳代で割合が大きい。

問10(MA)	10-20 歳代	%	30-40 歳代	%	50-60 歳代	%	70歳代 以上	%	全体	%
要介護のお年寄りの生活支援	27	40.9	78	35.5	62	30.0	22	18.5	189	30.9
障がい者の生活支援	15	22.7	42	19.1	30	14.5	11	9.2	98	16.0
まちの安全や住みやすさ	31	47.0	89	40.5	79	38.2	37	31.1	236	38.6
子どものしつけや青少年健全育成	19	28.8	88	40.0	51	24.6	13	10.9	171	27.9
外国人との交流と理解	12	18.2	16	7.3	7	3.4	3	2.5	38	6.2
住民同士の助け合いや地域交流	19	28.8	63	28.6	71	34.3	28	23.5	181	29.6
生きがいつくり	14	21.2	42	19.1	54	26.1	22	18.5	132	21.6
自治会などの活性化	6	9.1	35	15.9	35	16.9	24	20.2	100	16.3
地域の伝統芸能や祭りの保存継承	15	22.7	25	11.4	21	10.1	10	8.4	71	11.6
地域のまちづくり活動の活性化	16	24.2	44	20.0	41	19.8	18	15.1	119	19.4
地域の雇用や経済に対する不安	15	22.7	33	15.0	13	6.3	2	1.7	63	10.3
高齢者の生活不安	17	25.8	58	26.4	61	29.5	21	17.6	157	25.7
環境や景観の保全	13	19.7	39	17.7	27	13.0	22	18.5	101	16.5
市民と行政の協働	11	16.7	29	13.2	24	11.6	16	13.4	80	13.1
特に課題はない	3	4.5	9	4.1	12	5.8	11	9.2	35	5.7
その他	2	3.0	5	2.3	4	1.9	2	1.7	13	2.1
無回答	0	0.0	7	3.2	17	8.2	28	23.5	52	8.5
全体	66	-	220	-	207	-	119	-	612	-



それぞれの回答数が少ないため傾向を見るのは難しいが、「要介護のお年寄りの生活支援」は、鎌田校区、真美ヶ丘西校区で割合が大きくなっている。「障がい者の生活支援」は、関屋校区、三和校区で割合が大きくなっている。「まちの安全や住みやすさ」は、関屋校区、旭ヶ丘校区で割合が大きくなっている。「子どものしつけや青少年健全育成」は、二上校区、旭ヶ丘校区で割合が大きくなっている。「住民同士の助け合いや地域交流」は、関屋校区、鎌田校区で割合が大きくなっている。「地域の伝統芸能や祭りの保存・継承」は、志都美校区で割合が大きくなっている。「高齢者の生活不安」は、関屋校区、真美ヶ丘東校区で割合が大きくなっている。「環境や景観の保全」は、二上校区、志都美校区、真美ヶ丘西校区で割合が大きくなっている。

問10((MA)校区(%))	五位堂	下田	二上	志都美	関屋	三和	鎌田	真美ヶ丘東	真美ヶ丘西	旭ヶ丘	全体
要介護のお年寄りの生活支援	19 (32.2)	34 (30.4)	20 (29.9)	9 (20.0)	18 (28.1)	15 (29.4)	12 (41.4)	18 (30.0)	22 (41.5)	21 (30.0)	189 (30.9)
障がい者の生活支援	6 (10.2)	13 (11.6)	9 (13.4)	9 (20.0)	15 (23.4)	13 (25.5)	3 (10.3)	10 (16.7)	10 (18.9)	10 (14.3)	98 (16.0)
まちの安全や住みやすさ	20 (33.9)	44 (39.3)	23 (34.3)	15 (33.3)	30 (46.9)	21 (41.2)	11 (37.9)	18 (30.0)	22 (41.5)	31 (44.3)	236 (38.6)
子どものしつけや青少年健全育成	14 (23.7)	26 (23.2)	24 (35.8)	14 (31.1)	19 (29.7)	12 (23.5)	6 (20.7)	15 (25.0)	15 (28.3)	26 (37.1)	171 (27.9)
外国人との交流と理解	1 (1.7)	9 (8.0)	4 (6.0)	1 (2.2)	4 (6.3)	4 (7.8)	2 (6.9)	4 (6.7)	5 (9.4)	4 (5.7)	38 (6.2)
住民同士の助け合いや地域交流	13 (22.0)	32 (28.6)	21 (31.3)	15 (33.3)	25 (39.1)	11 (21.6)	11 (37.9)	19 (31.7)	18 (34.0)	16 (22.9)	181 (29.6)
生きがいづくり	12 (20.3)	23 (20.5)	15 (22.4)	11 (24.4)	16 (25.0)	10 (19.6)	6 (20.7)	15 (25.0)	11 (20.8)	12 (17.1)	132 (21.6)
自治会などの活性化	6 (10.2)	21 (18.8)	12 (17.9)	9 (20.0)	13 (20.3)	6 (11.8)	6 (20.7)	8 (13.3)	12 (22.6)	7 (10.0)	100 (16.3)
地域の伝統芸能や祭りの保存・継承	2 (3.4)	17 (15.2)	9 (13.4)	10 (22.2)	7 (10.9)	6 (11.8)	1 (3.4)	8 (13.3)	6 (11.3)	5 (7.1)	71 (11.6)
地域のまちづくり活動の活性化	12 (20.3)	21 (18.8)	14 (20.9)	9 (20.0)	10 (15.6)	13 (25.5)	3 (10.3)	14 (23.3)	12 (22.6)	11 (15.7)	119 (19.4)
地域の雇用や経済に対する不安	6 (10.2)	9 (8.0)	9 (13.4)	2 (4.4)	7 (10.9)	6 (11.8)	4 (13.8)	9 (15.0)	5 (9.4)	6 (8.6)	63 (10.3)
高齢者の生活不安	15 (25.4)	21 (18.8)	20 (29.9)	7 (15.6)	21 (32.8)	14 (27.5)	5 (17.2)	19 (31.7)	16 (30.2)	18 (25.7)	157 (25.7)
環境や景観の保全	7 (11.9)	13 (11.6)	16 (23.9)	11 (24.4)	12 (18.8)	5 (9.8)	4 (13.8)	10 (16.7)	14 (26.4)	9 (12.9)	101 (16.5)
市民と行政の協働	8 (13.6)	11 (9.8)	12 (17.9)	7 (15.6)	11 (17.2)	4 (7.8)	2 (6.9)	10 (16.7)	7 (13.2)	8 (11.4)	80 (13.1)
特に課題はない	2 (3.4)	6 (5.4)	5 (7.5)	4 (8.9)	2 (3.1)	3 (5.9)	3 (10.3)	5 (8.3)	2 (3.8)	3 (4.3)	35 (5.7)
その他	2 (3.4)	3 (2.7)	1 (1.5)	1 (2.2)	0 (0.0)	1 (2.0)	0 (0.0)	2 (3.3)	1 (1.9)	2 (2.9)	13 (2.1)
無回答	8 (13.6)	13 (11.6)	2 (3.0)	3 (6.7)	7 (10.9)	4 (7.8)	0 (0.0)	6 (10.0)	6 (11.3)	2 (2.9)	52 (8.5)
全体	59	112	67	45	64	51	29	60	53	70	612

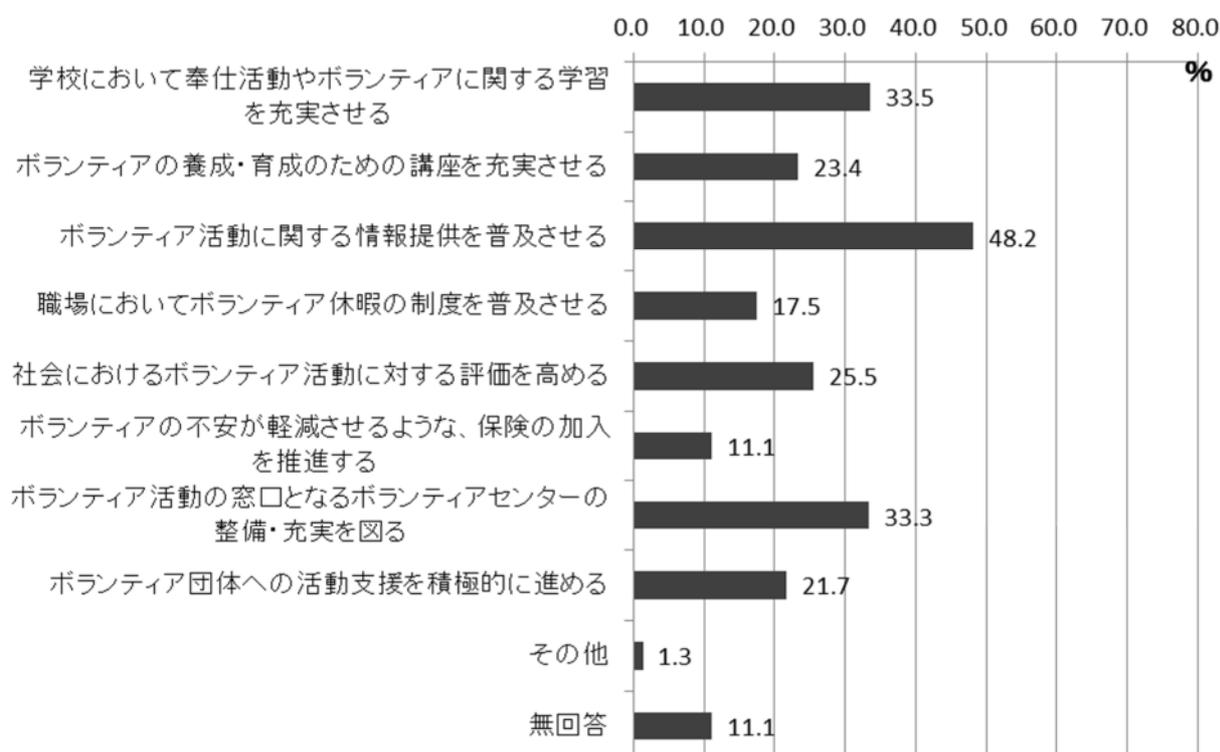


(11) ボランティア活動を盛んにするための取組み

ボランティア活動を盛んにするために、どのような取組みが必要だと思うかをたずねたところ、「ボランティア活動に関する情報提供を普及させる」(48.2%)が最も多かった。次いで「学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」(33.5%)、「ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターの整備・充実を図る」(33.3%)と続いている。

問11 あなたは、ボランティア活動を盛んにするために、どのような取組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問11(MA)	回答数	%
学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる	205	33.5
ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる	143	23.4
ボランティア活動に関する情報提供を普及させる	295	48.2
職場においてボランティア休暇の制度を普及させる	107	17.5
社会におけるボランティア活動に対する評価を高める	156	25.5
ボランティアの不安が軽減させるような、保険の加入を推進する	68	11.1
ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターの整備・充実を図る	204	33.3
ボランティア団体への活動支援を積極的に進める	133	21.7
その他	8	1.3
無回答	68	11.1
全体	612	-



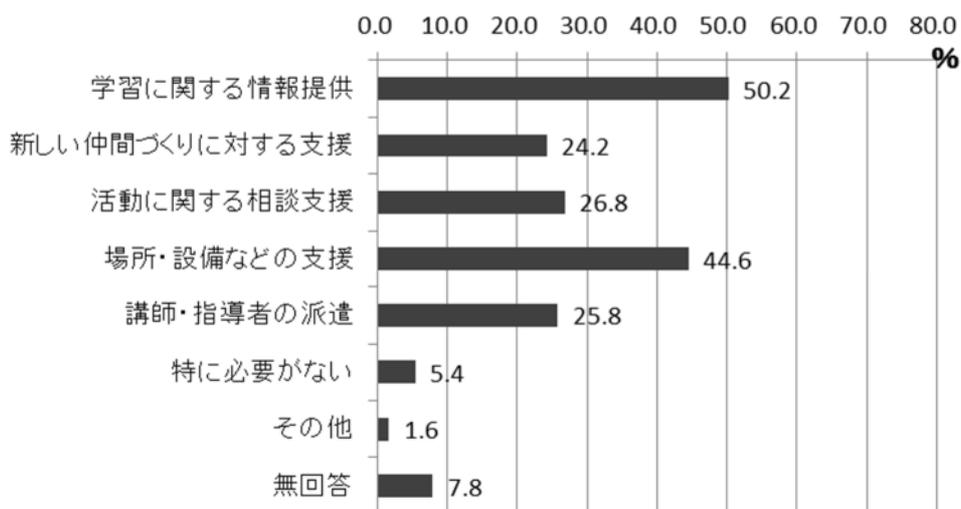
(12) 生涯学習への支援

生涯学習をするために、どのような支援があると良いと思うかをたずねたところ、「学習に関する情報提供」(50.2%)が最も多かった。次いで「場所・設備などの支援」(44.6%)、「活動に関する相談支援」(26.8%)、「講師・指導者の派遣」(25.8%)、「新しい仲間づくりに対する支援」(24.2%)と続いている。

ボランティア活動を盛んにするための取組みと同様に、情報提供や活動に関する相談支援へのニーズが大きいといえる。

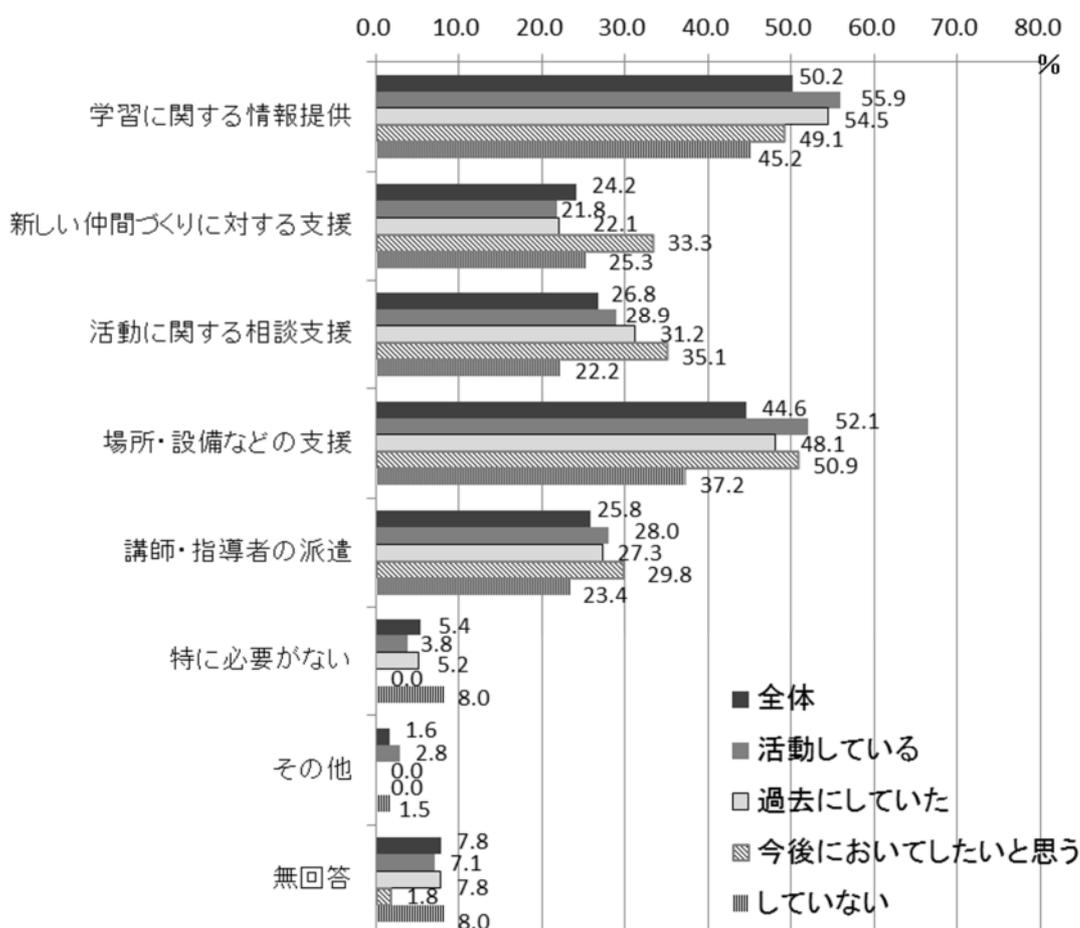
問12 あなたは、生涯学習をするために、どのような支援があると良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問12(MA)	回答数	%
学習に関する情報提供	307	50.2
新しい仲間づくりに対する支援	148	24.2
活動に関する相談支援	164	26.8
場所・設備などの支援	273	44.6
講師・指導者の派遣	158	25.8
特に必要がない	33	5.4
その他	10	1.6
無回答	48	7.8
全体	612	-



生涯学習活動について「活動している」回答者では、「学習に関する情報提供」「場所・設備などの支援」の割合が大きくなっている。「今後においてしたいと思う」の回答者では、「新しい仲間づくりに対する支援」「活動に関する相談支援」「場所・設備などの支援」「講師・指導者の派遣」の割合が大きくなっている。

問12(MA) 一問6生涯学習活動状況(この1年間)	活動している	%	過去にしていた	%	今後したいと思う	%	していない	%	無回答	全体	%
学習に関する情報提供	118	55.9	42	54.5	28	49.1	118	45.2	1	307	50.2
新しい仲間づくりに対する支援	46	21.8	17	22.1	19	33.3	66	25.3	0	148	24.2
活動に関する相談支援	61	28.9	24	31.2	20	35.1	58	22.2	1	164	26.8
場所・設備などの支援	110	52.1	37	48.1	29	50.9	97	37.2	0	273	44.6
講師・指導者の派遣	59	28.0	21	27.3	17	29.8	61	23.4	0	158	25.8
特に必要がない	8	3.8	4	5.2	0	0.0	21	8.0	0	33	5.4
その他	6	2.8	0	0.0	0	0.0	4	1.5	0	10	1.6
無回答	15	7.1	6	7.8	1	1.8	21	8.0	5	48	7.8
全体	211	-	77	-	57	-	261	-	6	612	-



(13) 生涯学習の情報

生涯学習の情報をどこから得ているかをたずねたところ、「県や市の広報誌」(63.4%)が最も多かった。次いで「知人、友人、同僚、家族」(26.6%)、「インターネット・携帯電話」(20.9%)、「新聞や雑誌」(20.8%)と続いている。

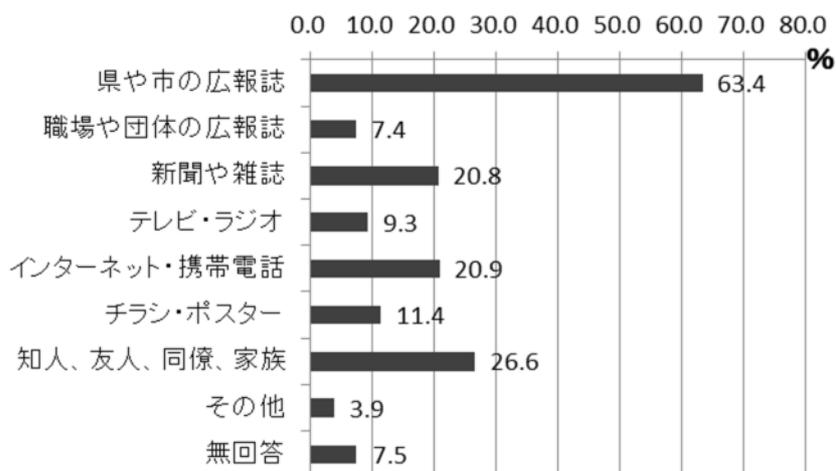
年代別でみると、「県や市の広報誌」は、10-20歳代(37.9%)では他年代より低くなっている。「インターネット・携帯電話」は、10-20歳代(28.8%)、30-40歳代(32.7%)で高い比率だが、50-60歳代(12.6%)、70歳代以上(9.2%)では低くなっている。

生涯学習活動について「活動している」回答者では、「知人、友人、同僚、家族」「インターネット・携帯電話」の割合が大きくなっている。「今後においてしたいと思う」の回答者では、「県や市の広報誌」の割合が大きくなっている。

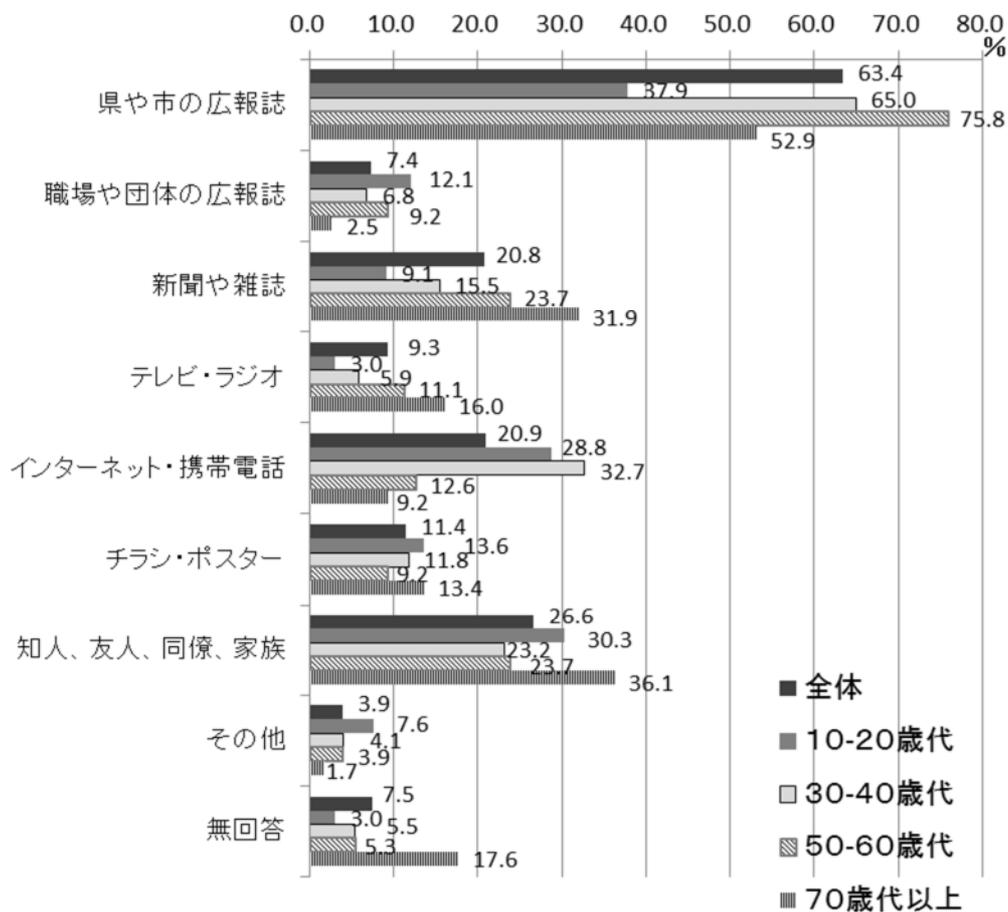
行政からの情報提供の役割は大きいといえる。また、新聞・雑誌など従来からの情報源と合わせて、10-20歳代、30-40歳代ではインターネット・携帯電話も情報源として利用されていることがわかる。

問13 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○を)

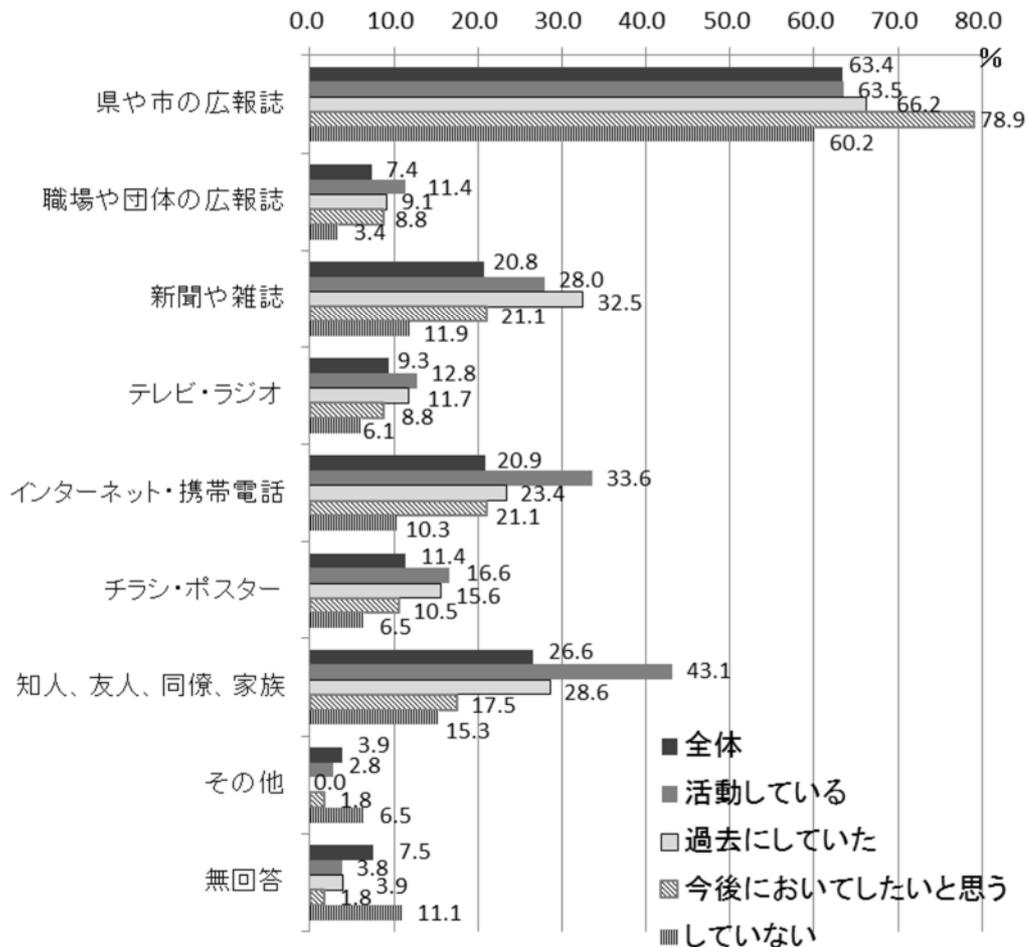
問13(MA)	回答数	%
県や市の広報誌	388	63.4
職場や団体の広報誌	45	7.4
新聞や雑誌	127	20.8
テレビ・ラジオ	57	9.3
インターネット・携帯電話	128	20.9
チラシ・ポスター	70	11.4
知人、友人、同僚、家族	163	26.6
その他	24	3.9
無回答	46	7.5
全体	612	-



問13(MA)	10-20 歳代	%	30-40 歳代	%	50-60 歳代	%	70歳 代以上	%	全体	%
県や市の広報誌	25	37.9	143	65.0	157	75.8	63	52.9	388	63.4
職場や団体の広報誌	8	12.1	15	6.8	19	9.2	3	2.5	45	7.4
新聞や雑誌	6	9.1	34	15.5	49	23.7	38	31.9	127	20.8
テレビ・ラジオ	2	3.0	13	5.9	23	11.1	19	16.0	57	9.3
インターネット・携帯電話	19	28.8	72	32.7	26	12.6	11	9.2	128	20.9
チラシ・ポスター	9	13.6	26	11.8	19	9.2	16	13.4	70	11.4
知人、友人、同僚、家族	20	30.3	51	23.2	49	23.7	43	36.1	163	26.6
その他	5	7.6	9	4.1	8	3.9	2	1.7	24	3.9
無回答	2	3.0	12	5.5	11	5.3	21	17.6	46	7.5
全体	66	—	220	—	207	—	119	—	612	—



問13(MA) 一問6生涯学 習活動状況(この1年間)	活動 している	%	過去に していた	%	今後した いと思う	%	してい ない	%	無回答	全体	%
県や市の広報誌	134	63.5	51	66.2	45	78.9	157	60.2	1	388	63.4
職場や団体の広報誌	24	11.4	7	9.1	5	8.8	9	3.4	0	45	7.4
新聞や雑誌	59	28.0	25	32.5	12	21.1	31	11.9	0	127	20.8
テレビ・ラジオ	27	12.8	9	11.7	5	8.8	16	6.1	0	57	9.3
インターネット・携帯電話	71	33.6	18	23.4	12	21.1	27	10.3	0	128	20.9
チラシ・ポスター	35	16.6	12	15.6	6	10.5	17	6.5	0	70	11.4
知人、友人、同僚、家族	91	43.1	22	28.6	10	17.5	40	15.3	0	163	26.6
その他	6	2.8	0	0.0	1	1.8	17	6.5	0	24	3.9
無回答	8	3.8	3	3.9	1	1.8	29	11.1	5	46	7.5
全体	211	-	77	-	57	-	261	-	6	612	-



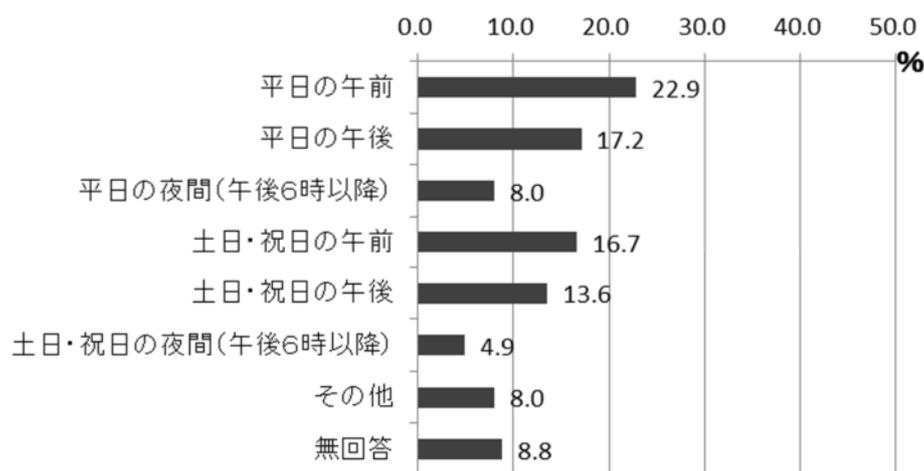
(14) 生涯学習活動をする時間・費用

1) 生涯学習活動がしやすい時間帯

生涯学習活動がしやすい時間帯をたずねたところ、「平日の午前」(22.9%)が最も多かった。次いで「平日の午後」(17.2%)、「土日・祝日の午前」(16.7%)、「土日・祝日の午後」(13.6%)と続いている。

問15 あなたの生涯学習活動がしやすい時間帯はいつですか。(いずれか1つに○を)

問15	回答数	%
平日の午前	140	22.9
平日の午後	105	17.2
平日の夜間(午後6時以降)	49	8.0
土日・祝日の午前	102	16.7
土日・祝日の午後	83	13.6
土日・祝日の夜間(午後6時以降)	30	4.9
その他	49	8.0
無回答	54	8.8
計	612	100.0



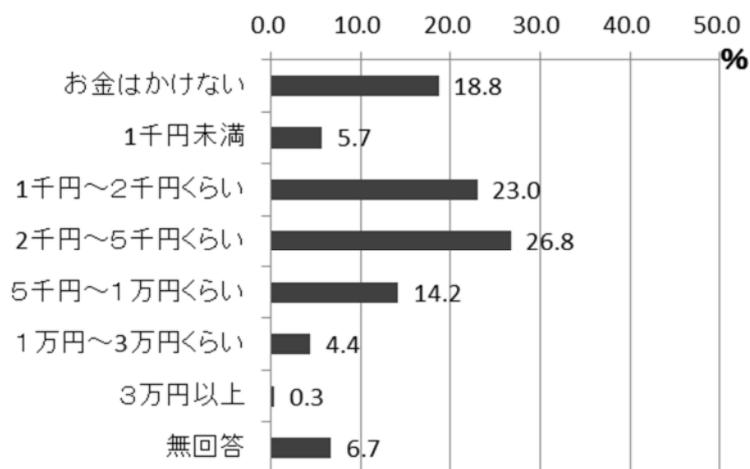
2) 生涯学習にかかる経費

生涯学習にかかる経費（1ヶ月単位）は、どのくらいまでならいいかをたずねたところ、「2千円～5千円くらい」（26.8%）、「1千円～2千円くらい」（23.0%）が多かった。次いで「お金はかけない」（18.8%）、「5千円～1万円くらい」（14.2%）と続いている。

前回平成11年調査と比較すると、「2千円～5千円くらい」が最も多いのは同様だが、「1千円～2千円くらい」「お金はかけない」の比率が前回より大きくなっている。

問16 あなたは、生涯学習にかかる経費は、どのくらいまでならいいですか。「1ヶ月単位」(いずれか1つに○を)

問16	回答数	%	H11 調査%
お金はかけない	115	18.8	9
1千円未満	35	5.7	5
1千円～2千円くらい	141	23.0	18
2千円～5千円くらい	164	26.8	36
5千円～1万円くらい	87	14.2	18
1万円～3万円くらい	27	4.4	3
3万円以上	2	0.3	0
(利用するつもりはない)			7
無回答	41	6.7	4
計	612	100.0	100



(15) 市の生涯学習施設の満足度と今後の利用意向

香芝市の生涯学習施設について、満足度と今後の利用意向をたずねた結果を下記の通りスコア化してその傾向を見た。

問17 満足度	スコア	今後の利用意向	スコア
1 満足	2	1 ぜひ利用したい	2
2 まあまあ満足	1	2 出来れば利用したい	1
3 どちらともいえない	0	3 あまり利用したくない	-2
4 やや不満	-1	4 わからない	-
5 不満	-2	0 無回答	-
6 わからない	-		
0 無回答	-		

満足度は、市民図書館、総合福祉センター、ふたかみ文化センターが高かった。利用意向も、市民図書館、総合福祉センター、ふたかみ文化センターが高かった。スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)は、満足度は最も低かったが、利用意向はやや高くなっている。

男女別では、満足度は、中央公民館、スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)以外では、概ね女性の方が高くなる傾向が見られた。

年代別で全体平均スコアと比べて特徴的な傾向としては、中央公民館、スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)の満足度は、70歳代以上で高く、総合体育館、スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)、青少年野外活動センターの満足度は、10-20歳代で高くなっている。

それぞれの回答数が少ないため傾向を見るのは難しいが、校区別で全体平均スコアと比べて特徴的な傾向としては、中央公民館、総合体育館は関屋校区の満足度が低い。二上山博物館は五位堂校区の満足度が低い。市民図書館は真美ヶ丘東校区の満足度が低い。スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)は関屋校区の満足度が低い。青少年野外活動センターは真美ヶ丘西校区の満足度が低い。

問17 あなたは、下記の施設についてどのように思われますか。下記の施設の満足度と、今後の利用意向についてのお答えください。(~ の各項目の満足度と利用意向についてそれぞれ1つに○をつけてください)

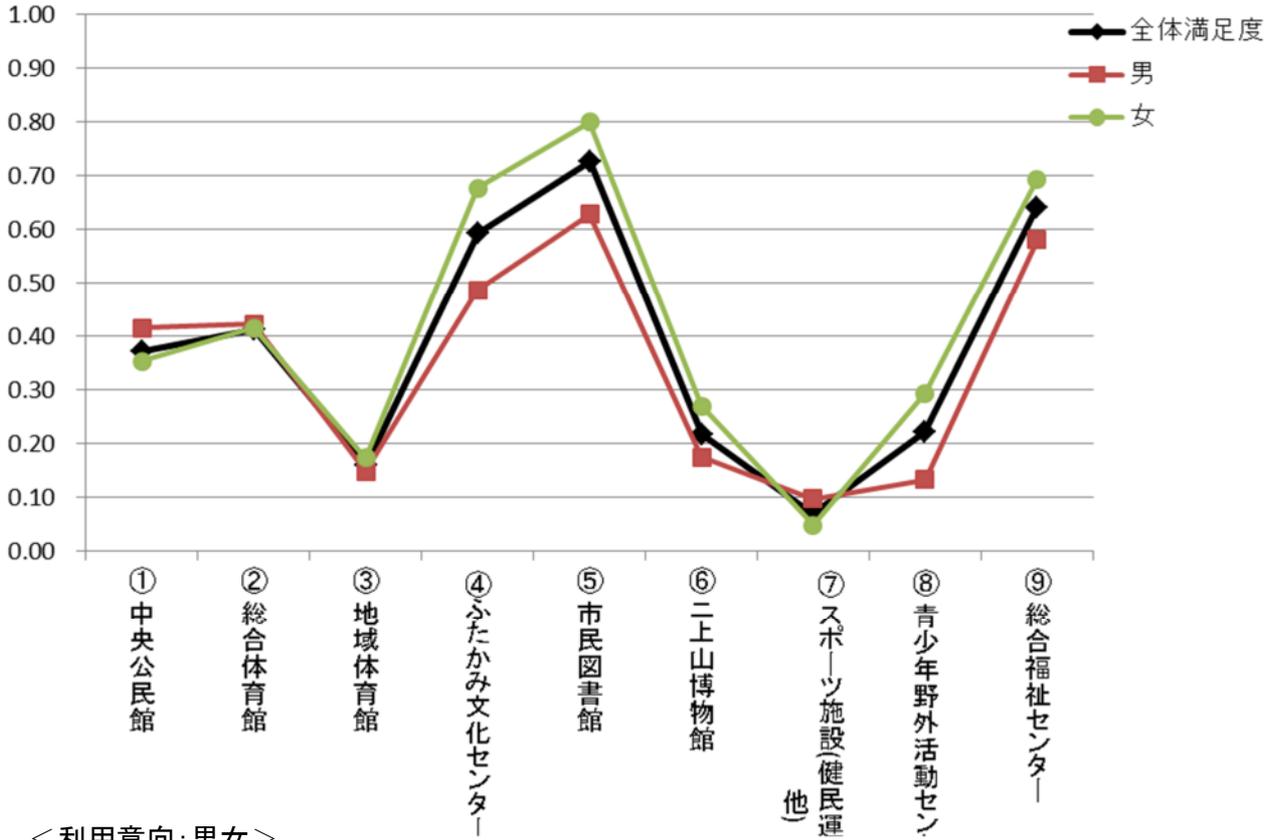
問17満足度 平均スコア	全体	男	女	10-20 歳代	30-40 歳代	50-60 歳代	70歳代 以上
①中央公民館	0.37	0.42	0.35	0.37	0.19	0.34	0.73
②総合体育館	0.41	0.42	0.42	0.66	0.29	0.39	0.56
③地域体育館	0.16	0.15	0.17	0.39	0.02	0.18	0.23
④ふたかみ文化センター	0.59	0.49	0.68	0.57	0.58	0.54	0.77
⑤市民図書館	0.73	0.63	0.80	0.60	0.70	0.73	0.89
⑥二上山博物館	0.22	0.17	0.27	0.38	0.03	0.20	0.46
⑦スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)	0.07	0.10	0.05	0.51	-0.05	-0.09	0.32
⑧青少年野外活動センター	0.22	0.13	0.29	0.52	0.17	0.12	0.33
⑨総合福祉センター	0.64	0.58	0.69	0.58	0.60	0.63	0.79

今後の利用意向 平均スコア	全体	男	女	10-20 歳代	30-40 歳代	50-60 歳代	70歳代 以上
①中央公民館	0.80	0.74	0.84	0.43	0.86	0.71	1.04
②総合体育館	0.72	0.75	0.72	0.76	0.90	0.53	0.52
③地域体育館	0.35	0.36	0.35	0.39	0.52	0.04	0.41
④ふたかみ文化センター	1.04	0.90	1.12	0.58	1.12	1.07	1.09
⑤市民図書館	1.29	1.19	1.36	1.19	1.35	1.27	1.25
⑥二上山博物館	0.23	0.21	0.25	-0.04	0.19	0.23	0.56
⑦スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)	0.48	0.58	0.42	0.66	0.79	-0.06	0.46
⑧青少年野外活動センター	0.33	0.34	0.28	0.70	0.63	-0.15	-0.43
⑨総合福祉センター	1.02	0.96	1.05	0.65	1.03	0.97	1.23

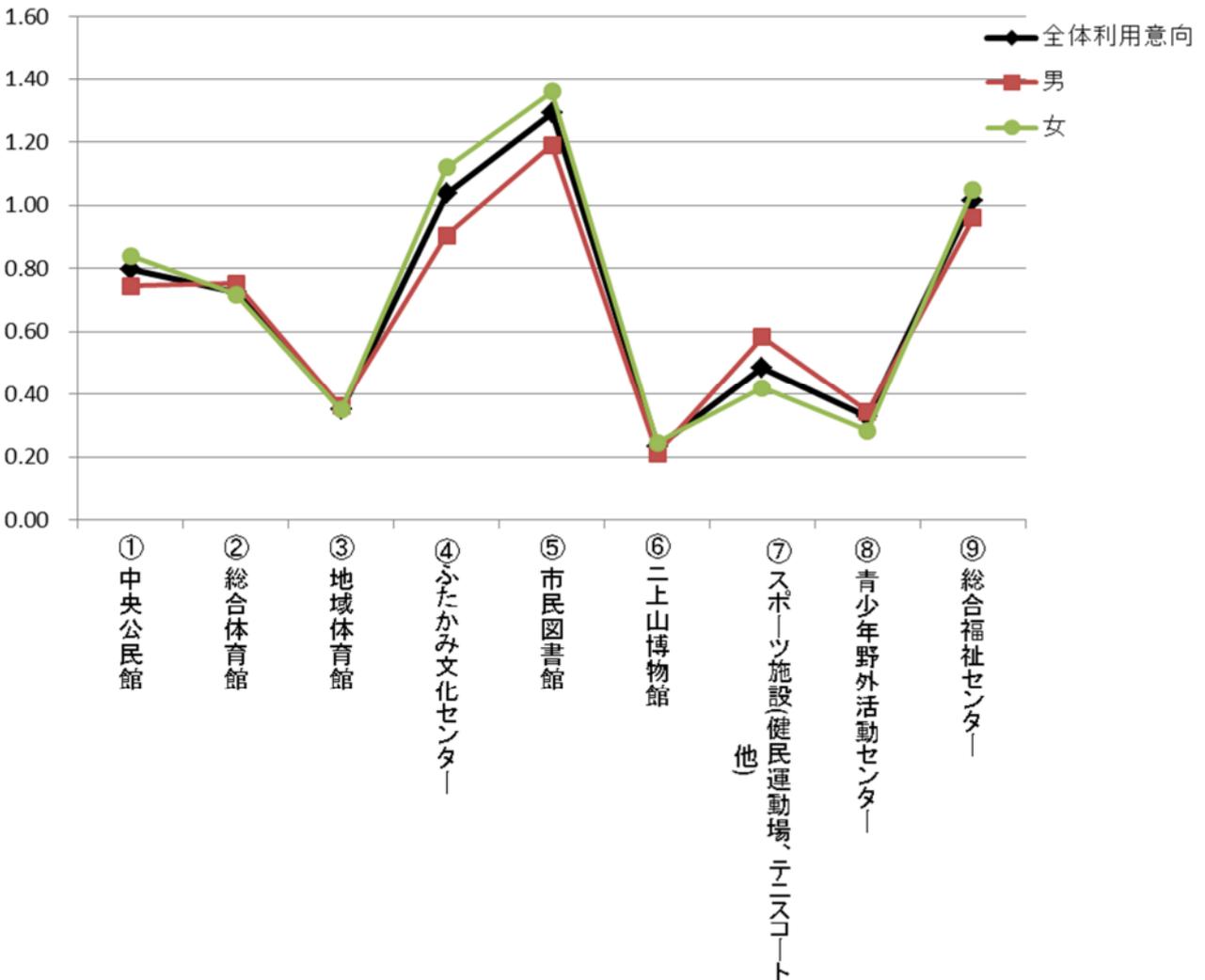
問17満足度 校区別平均スコア	全体	五位堂	下田	二上	志都美	関屋	三和	鎌田	真美ヶ丘東	真美ヶ丘西	旭ヶ丘
①中央公民館	0.37	0.33	0.48	0.36	0.45	0.12	0.29	0.44	0.76	0.48	0.20
②総合体育館	0.41	0.29	0.51	0.50	0.29	0.14	0.61	0.55	0.19	0.65	0.31
③地域体育館	0.16	0.10	0.13	0.24	0.07	0.10	0.12	0.21	0.22	0.18	0.22
④ふたかみ文化センター	0.59	0.59	0.81	0.47	0.29	0.42	0.74	0.52	0.29	0.44	0.80
⑤市民図書館	0.73	0.45	0.86	0.90	0.38	0.71	0.97	0.88	0.28	0.76	0.73
⑥二上山博物館	0.22	-0.44	0.54	0.26	0.00	0.13	0.10	0.41	0.44	0.13	0.14
⑦スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)	0.07	0.13	0.09	0.05	0.00	-0.19	0.00	0.15	0.25	0.06	0.21
⑧青少年野外活動センター	0.22	0.20	0.31	0.47	0.14	0.31	0.36	0.20	0.00	-0.36	0.26
⑨総合福祉センター	0.64	0.43	0.85	0.85	0.79	0.51	0.74	0.52	0.59	0.32	0.61

今後の利用意向 校区別平均スコア	全体	五位堂	下田	二上	志都美	関屋	三和	鎌田	真美ヶ丘東	真美ヶ丘西	旭ヶ丘
①中央公民館	0.80	0.67	0.58	1.22	0.69	0.37	0.82	1.27	1.17	0.75	0.88
②総合体育館	0.72	0.50	0.34	1.00	0.82	0.70	1.13	0.93	0.71	0.96	0.55
③地域体育館	0.35	0.19	-0.17	0.83	-0.08	0.42	0.81	0.45	0.71	0.71	0.19
④ふたかみ文化センター	1.04	0.86	1.12	1.22	0.74	0.83	1.13	1.12	1.10	1.17	1.02
⑤市民図書館	1.29	0.83	1.37	1.42	1.24	1.13	1.38	1.23	1.33	1.50	1.31
⑥二上山博物館	0.23	-0.10	0.24	0.09	-0.17	0.15	0.67	0.33	0.95	0.70	-0.24
⑦スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)	0.48	0.18	0.22	0.50	0.33	0.26	0.75	0.00	1.24	0.89	0.51
⑧青少年野外活動センター	0.33	0.08	0.22	1.25	0.30	0.00	1.27	0.10	1.00	0.33	-0.08
⑨総合福祉センター	1.02	0.58	0.88	1.50	1.00	1.00	1.17	1.00	1.19	1.13	0.86

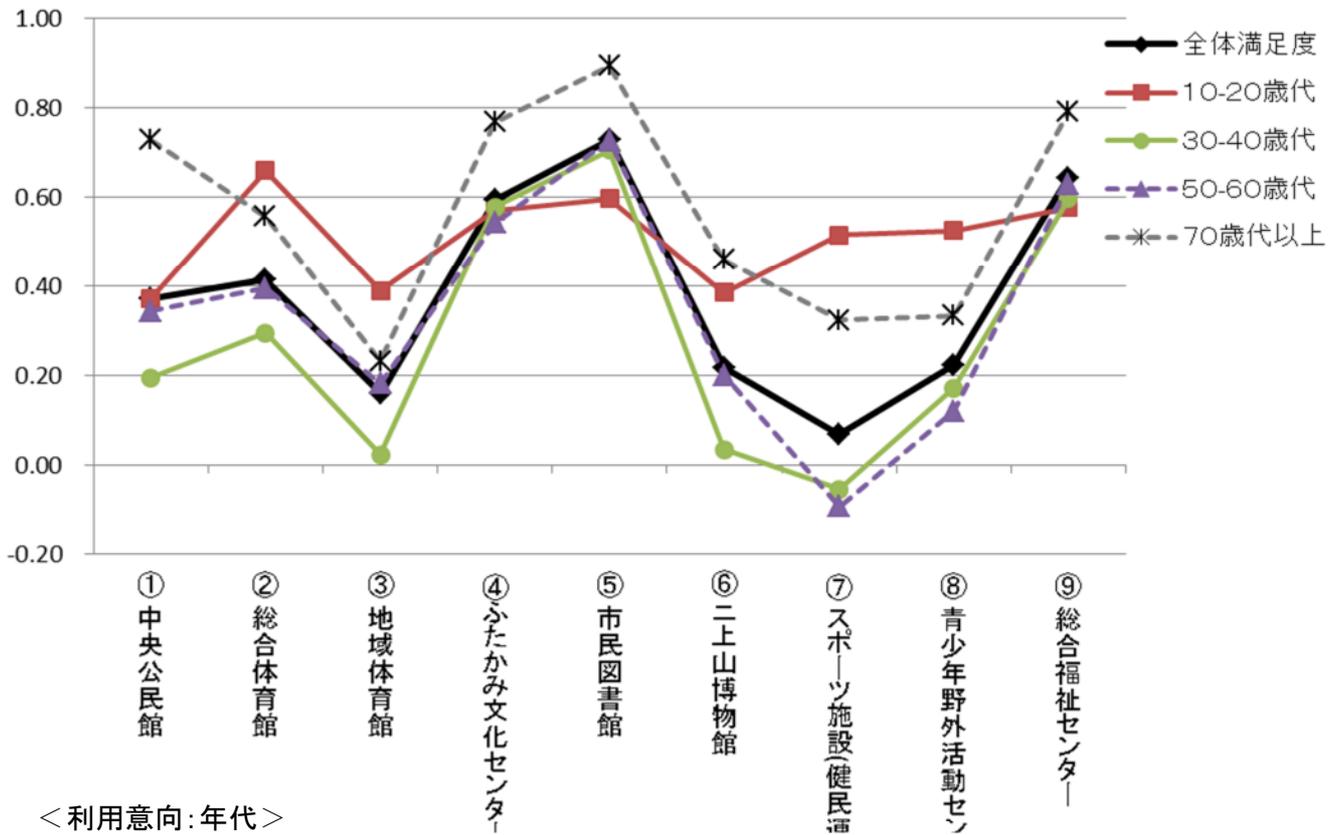
<満足度:男女>



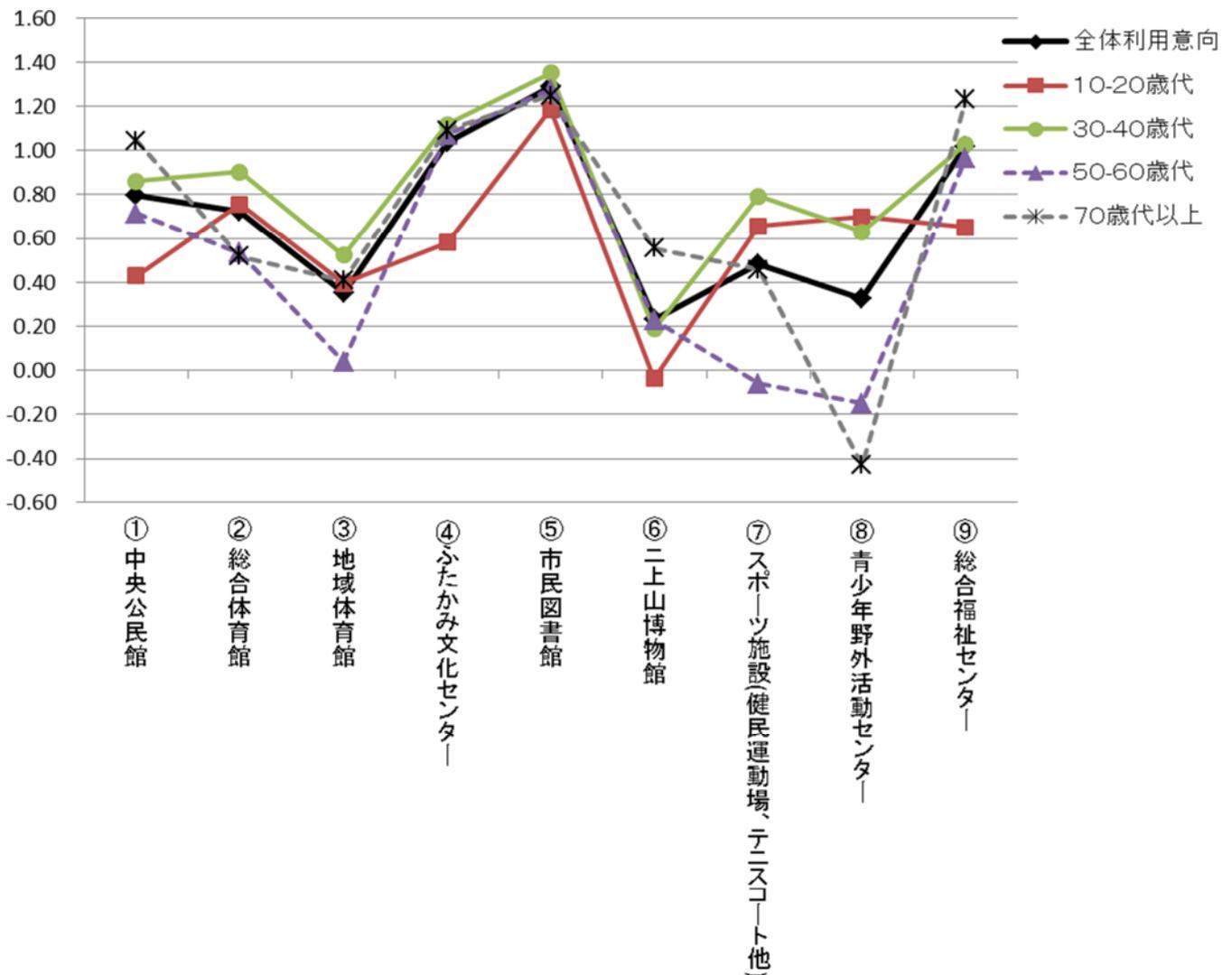
<利用意向:男女>



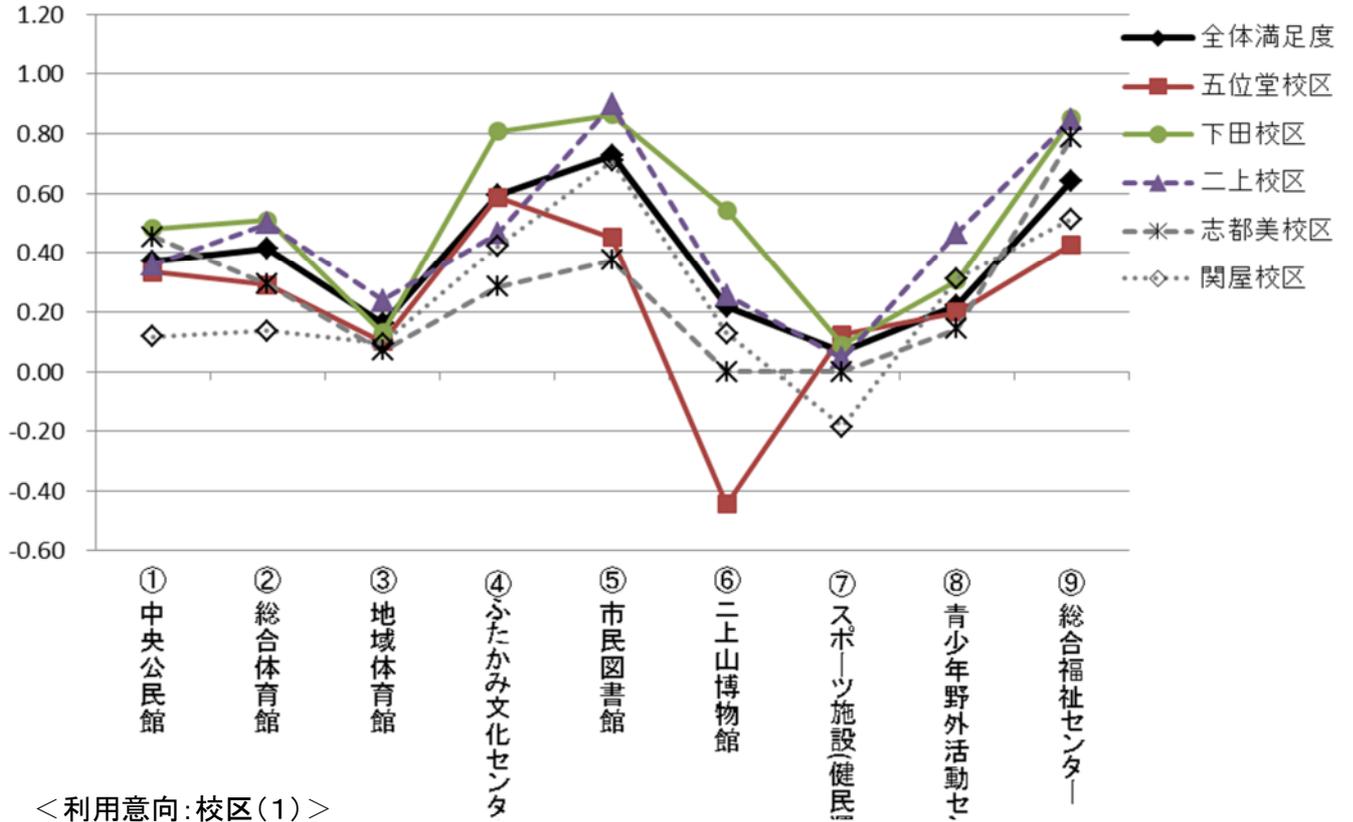
<満足度:年代>



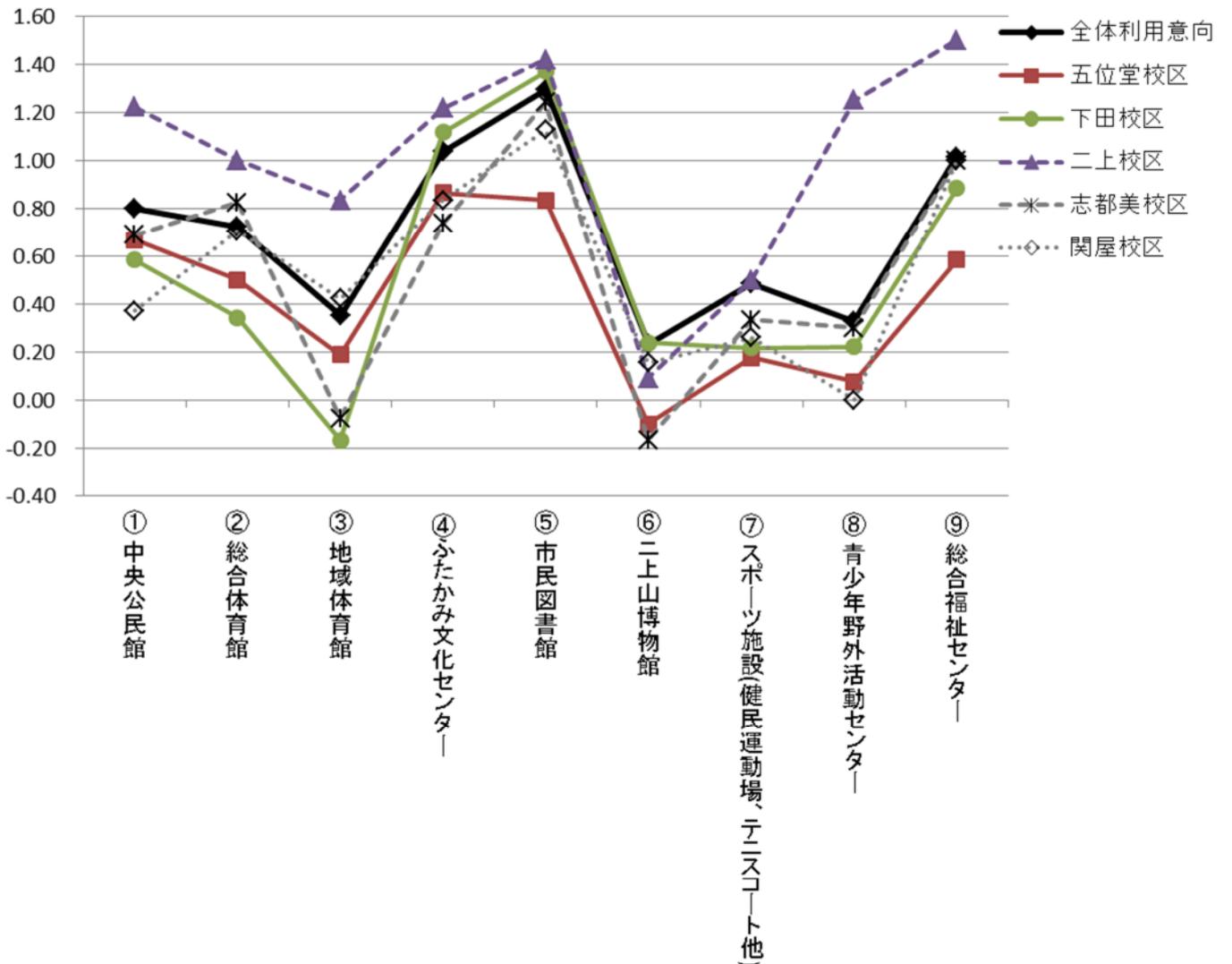
<利用意向:年代>



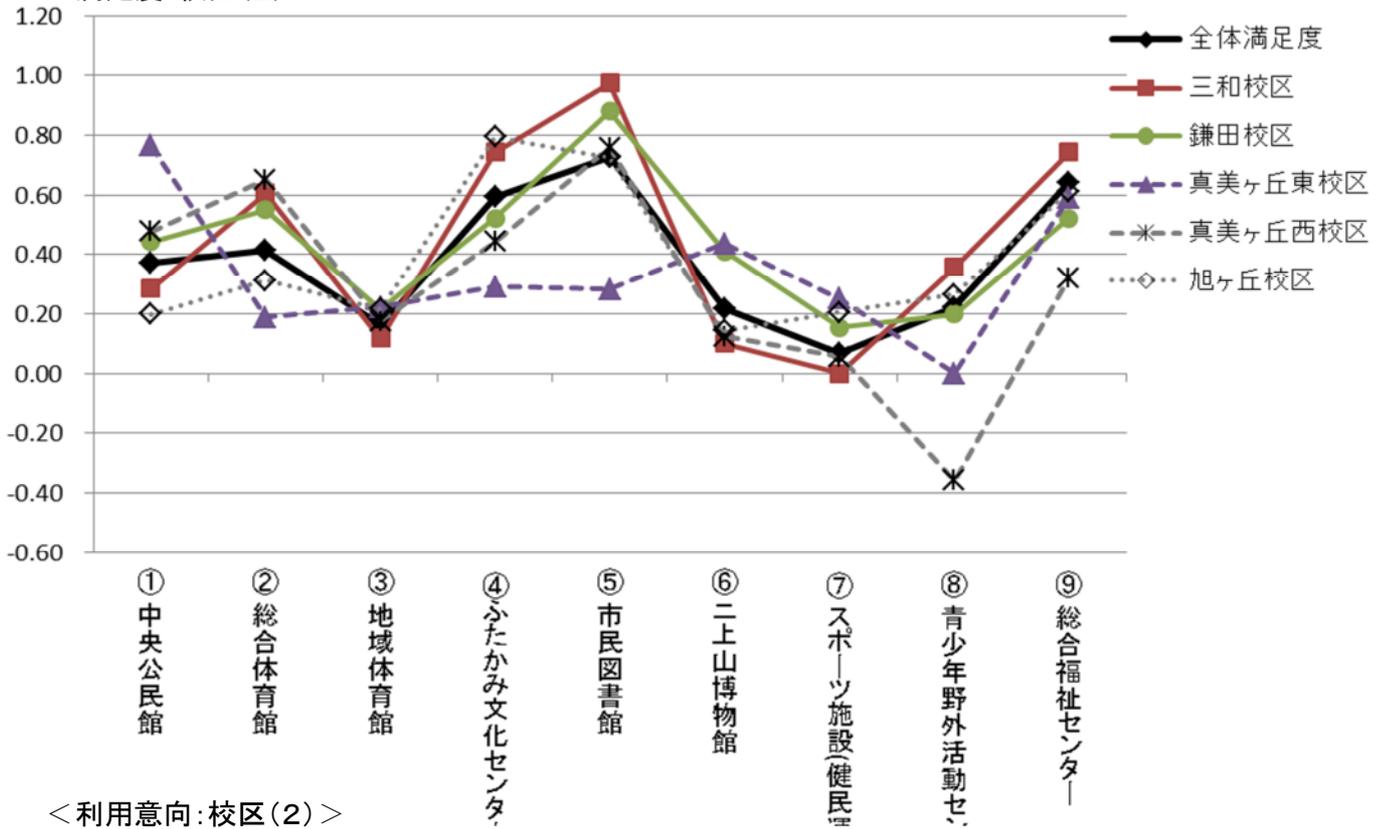
<満足度:校区(1)>



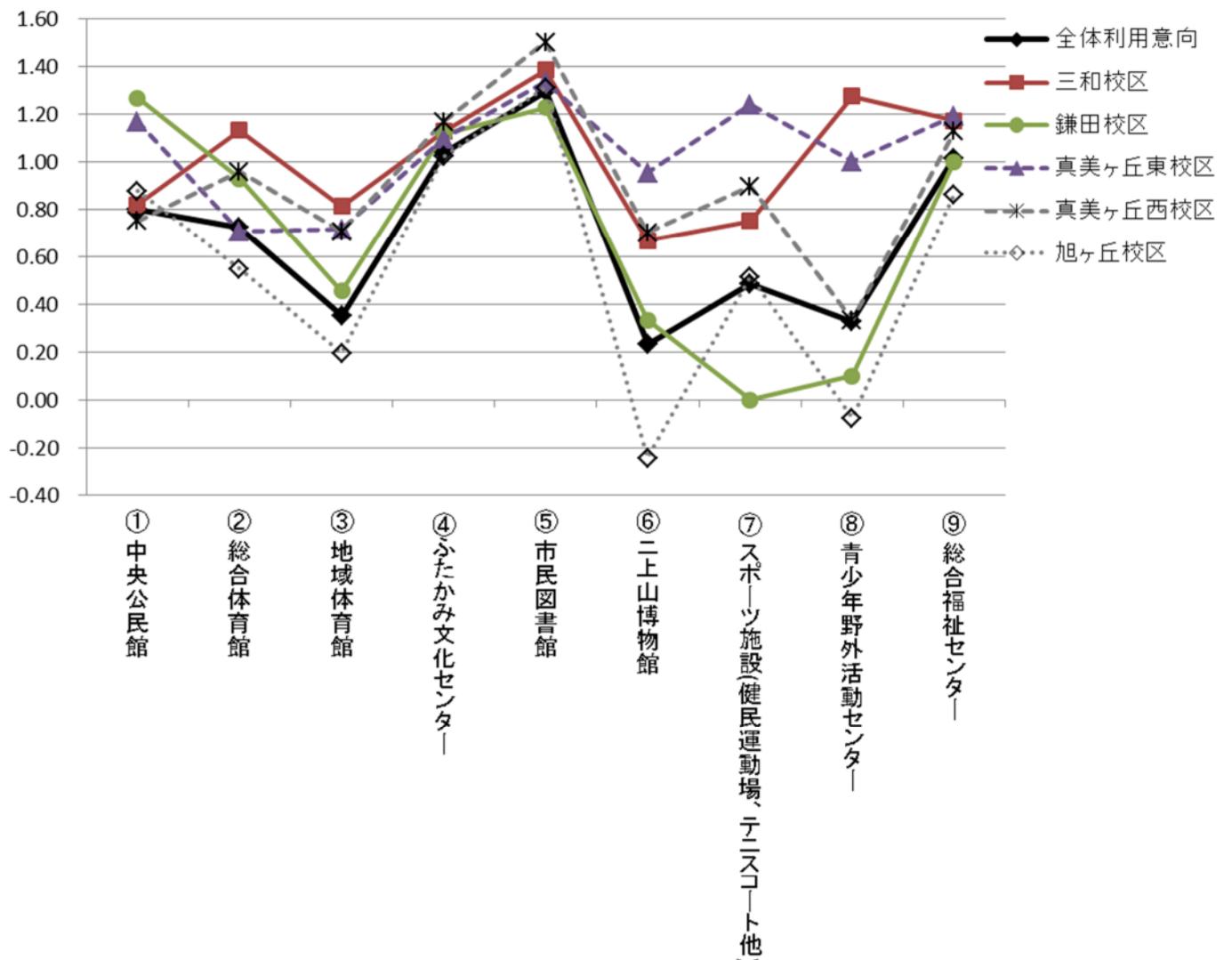
<利用意向:校区(1)>



<満足度:校区(2)>



<利用意向:校区(2)>



(16) 市の生涯学習への取組み

1) 取組みの重要度

香芝市が行っている生涯学習の取組みについて、今後の重要度をたずねた。「重要」の回答率(%)が高いのは、「中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)」「体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)」「身近なところでの学習機会の充実」「講座、講演会などの種類や数の充実」「生涯学習に対する情報提供」であった。

問18 あなたは、香芝市が行っている生涯学習の取り組みは、今後どのくらい重要であると思われますか。

%	1	2	3	4	5	0
	重要	えいば重要 どちらかとい	えいば重要 どちらともい	あまり重要 ではない	重要でない	無回答
①講座、講演会などの種類や数の充実	22.5	30.2	29.7	4.4	2.0	11.1
②身近なところでの学習機会の充実	23.2	32.8	26.5	3.8	2.1	11.6
③身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	21.2	32.5	27.5	5.7	2.0	11.1
④中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	28.6	32.8	22.4	3.6	1.8	10.8
⑤体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	27.3	30.2	25.0	3.9	2.0	11.6
⑥芸術・文化活動の機会の充実	20.8	32.4	31.0	2.6	2.1	11.1
⑦スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	20.3	33.3	27.9	1.6	1.8	15.0
⑧家庭教育の向上につながる学習機会の提供	19.0	31.7	29.2	3.1	1.8	15.2
⑨指導者・リーダーの養成	18.1	27.0	33.3	3.8	2.5	15.4
⑩各種団体・グループ活動支援や交流	12.3	30.2	36.8	2.9	1.8	16.0
⑪地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	15.7	32.2	31.4	2.6	2.0	16.2
⑫ボランティア育成や活動の支援	18.0	36.6	25.8	2.3	1.5	15.8
⑬学校における生涯学習活動に対する指導と推進	19.1	29.9	28.4	3.4	3.1	16.0
⑭大学との連携と公開講座の推進	14.1	27.5	35.3	5.1	2.8	15.4
⑮市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	16.5	31.4	31.4	2.8	2.3	15.7
⑯学んだことを発表する機会	8.0	24.2	41.2	8.0	3.3	15.4
⑰生涯学習に対する情報提供	22.1	36.8	22.1	2.1	2.0	15.0
⑱生涯学習に関する相談体制の推進	13.6	31.4	32.8	3.3	2.9	16.0
⑲職業の能力を身につける学習機会の提供	20.6	29.4	28.4	4.2	2.3	15.0
⑳NPO等の活動支援	10.6	23.7	40.7	4.2	5.2	15.5

*20%以上の値に網掛け

香芝市が行っている生涯学習の取組みの重要度をたずねた結果を、下記の通りスコア化してその傾向を見た。

	スコア
1 重要	2
2 どちらかといえば重要	1
3 どちらともいえない	0
4 あまり重要ではない	-1
5 重要でない	-2
0 無回答	-

全体の平均スコアが 0.8 以上だった上位項目は、次の通りだった。

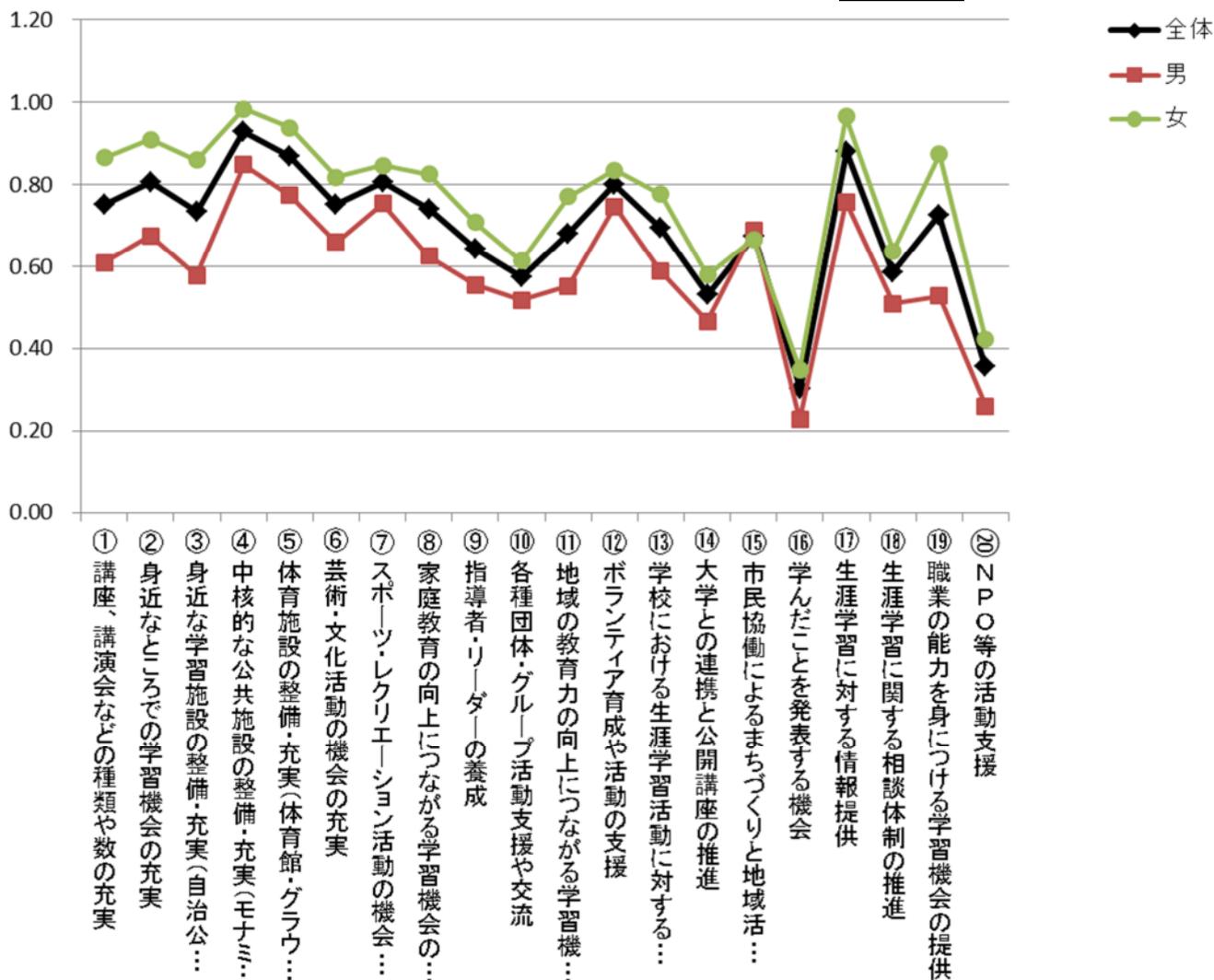
生涯学習の取組みの重要度	平均スコア
④中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	0.93
⑪生涯学習に対する情報提供	0.88
⑤体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	0.87
⑦スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	0.81
②身近なところでの学習機会の充実	0.81
⑫ボランティア育成や活動の支援	0.80

男女では、女性の方が概ねスコアが高くなる傾向が見られる。

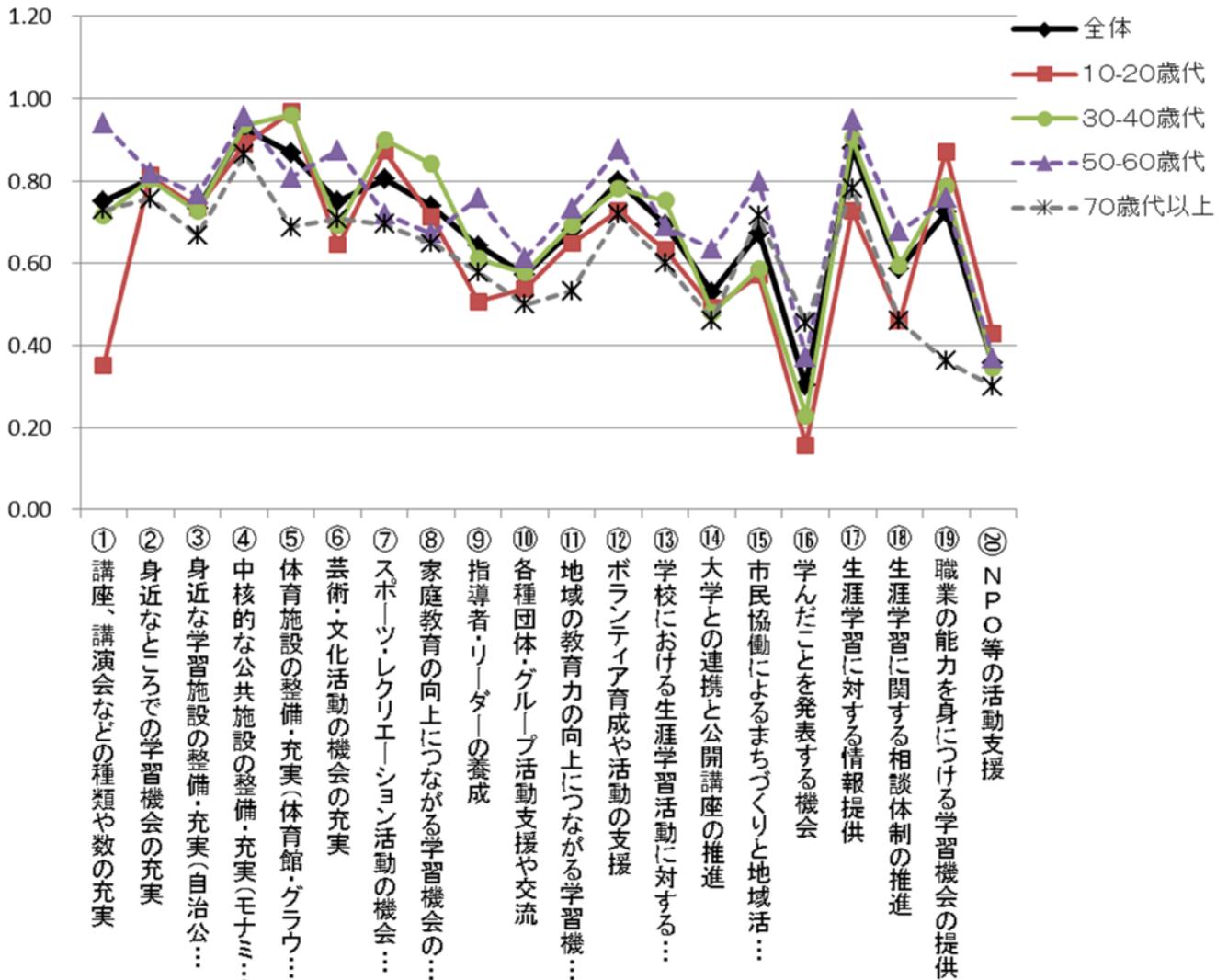
年代別で全体平均スコアと比べて特徴的な傾向としては、「講座、講演会などの種類や数の充実」は、50-60 歳代で高く、10-20 歳代で低くなっている。「体育施設の整備・充実」と「スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実」は、10-20 歳代と 30-40 歳代で高くなっている。「芸術・文化活動の機会の充実」「指導者・リーダーの養成」は、50-60 歳代で高くなっている。「家庭教育の向上につながる学習機会の提供」は 30-40 歳代で高くなっている。

生涯学習活動について「今後においてしたいと思う」回答者では、「体育施設の整備・充実」「スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実」「ボランティア育成や活動の支援」が高くなっている。「過去にしていた」の回答者では、「生涯学習に対する情報提供」「生涯学習に関する相談体制の推進」「職業の能力を身につける学習機会の提供」「ボランティア育成や活動の支援」が高くなっている。

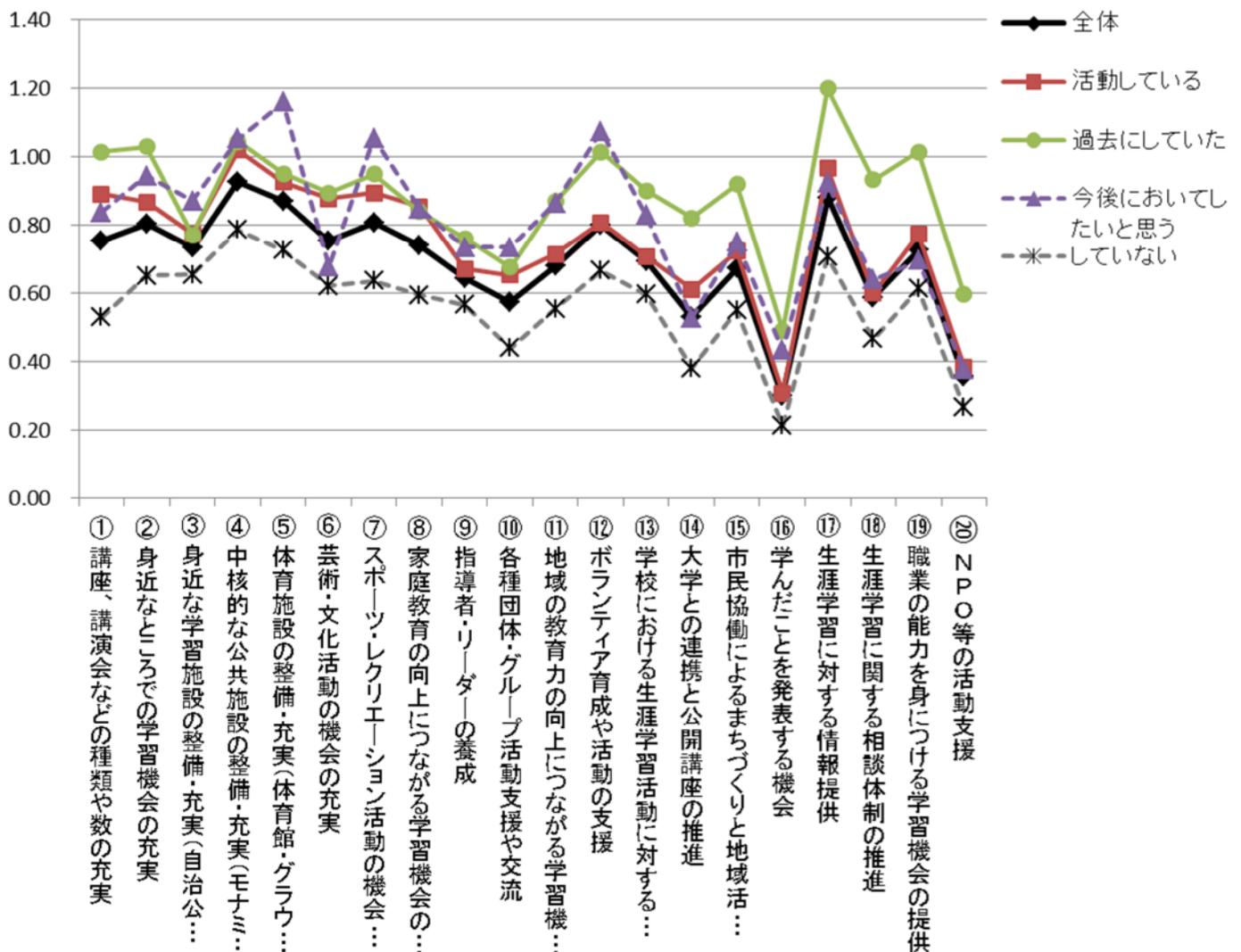
問18 重要度平均スコア	全体	男	女
①講座、講演会などの種類や数の充実	0.75	0.61	0.87
②身近なところでの学習機会の充実	0.81	0.68	0.91
③身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	0.74	0.58	0.86
④中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	0.93	0.85	0.98
⑤体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	0.87	0.77	0.94
⑥芸術・文化活動の機会の充実	0.75	0.66	0.82
⑦スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	0.81	0.75	0.85
⑧家庭教育の向上につながる学習機会の提供	0.74	0.63	0.83
⑨指導者・リーダーの養成	0.64	0.56	0.71
⑩各種団体・グループ活動支援や交流	0.57	0.52	0.61
⑪地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	0.68	0.55	0.77
⑫ボランティア育成や活動の支援	0.80	0.75	0.84
⑬学校における生涯学習活動に対する指導と推進	0.70	0.59	0.78
⑭大学との連携と公開講座の推進	0.53	0.47	0.58
⑮市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	0.68	0.69	0.67
⑯学んだことを発表する機会	0.30	0.23	0.35
⑰生涯学習に対する情報提供	0.88	0.76	0.97
⑱生涯学習に関する相談体制の推進	0.59	0.51	0.64
⑲職業の能力を身につける学習機会の提供	0.73	0.53	0.87
⑳ NPO等の活動支援	0.36	0.26	0.42



問18 重要度平均スコア	全体	10-20歳代	30-40歳代	50-60歳代	70歳代以上
①講座、講演会などの種類や数の充実	0.75	0.35	0.72	0.94	0.73
②身近なところでの学習機会の充実	0.81	0.82	0.81	0.82	0.76
③身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	0.74	0.74	0.73	0.77	0.67
④中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	0.93	0.89	0.94	0.96	0.87
⑤体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	0.87	0.97	0.96	0.81	0.69
⑥芸術・文化活動の機会の充実	0.75	0.65	0.70	0.88	0.71
⑦スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	0.81	0.88	0.90	0.72	0.70
⑧家庭教育の向上につながる学習機会の提供	0.74	0.71	0.84	0.67	0.65
⑨指導者・リーダーの養成	0.64	0.51	0.61	0.76	0.58
⑩各種団体・グループ活動支援や交流	0.57	0.54	0.58	0.61	0.50
⑪地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	0.68	0.65	0.70	0.74	0.53
⑫ボランティア育成や活動の支援	0.80	0.73	0.78	0.88	0.72
⑬学校における生涯学習活動に対する指導と推進	0.70	0.63	0.75	0.69	0.60
⑭大学との連携と公開講座の推進	0.53	0.49	0.48	0.64	0.46
⑮市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	0.68	0.57	0.59	0.80	0.72
⑯学んだことを発表する機会	0.30	0.16	0.23	0.37	0.45
⑰生涯学習に対する情報提供	0.88	0.73	0.91	0.95	0.78
⑱生涯学習に関する相談体制の推進	0.59	0.46	0.60	0.68	0.46
⑲職業の能力を身につける学習機会の提供	0.73	0.87	0.79	0.76	0.36
⑳NPO等の活動支援	0.36	0.43	0.35	0.37	0.30



問18 重要度平均スコア -問6生涯学習種別状況(この1年間)	全体	活動している	過去にしていた	今後したいと思う	していない
①講座、講演会などの種類や数の充実	0.75	0.89	1.02	0.84	0.53
②身近なところでの学習機会の充実	0.81	0.87	1.03	0.95	0.65
③身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	0.74	0.78	0.77	0.87	0.66
④中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	0.93	1.02	1.05	1.05	0.79
⑤体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	0.87	0.93	0.95	1.16	0.73
⑥芸術・文化活動の機会の充実	0.75	0.88	0.90	0.68	0.62
⑦スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	0.81	0.90	0.95	1.06	0.64
⑧家庭教育の向上につながる学習機会の提供	0.74	0.86	0.84	0.85	0.60
⑨指導者・リーダーの養成	0.64	0.67	0.76	0.74	0.57
⑩各種団体・グループ活動支援や交流	0.57	0.65	0.68	0.74	0.44
⑪地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	0.68	0.72	0.87	0.87	0.56
⑫ボランティア育成や活動の支援	0.80	0.81	1.02	1.08	0.67
⑬学校における生涯学習活動に対する指導と推進	0.70	0.71	0.90	0.83	0.60
⑭大学との連携と公開講座の推進	0.53	0.61	0.82	0.53	0.38
⑮市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	0.68	0.72	0.92	0.75	0.55
⑯学んだことを発表する機会	0.30	0.31	0.49	0.43	0.21
⑰生涯学習に対する情報提供	0.88	0.97	1.20	0.92	0.71
⑱生涯学習に関する相談体制の推進	0.59	0.60	0.93	0.64	0.47
⑲職業の能力を身につける学習機会の提供	0.73	0.77	1.02	0.70	0.61
⑳NPO等の活動支援	0.36	0.39	0.60	0.38	0.27



香芝市が行っている生涯学習の取組みの重要度をたずねた結果のスコアについて、因子分析とクラスター分析を行った。

①因子分析

因子分析の結果、2 個の因子が抽出された。因子 1 と因子 2 には高い相関がみられる。

<抽出された因子>

	因子寄与	寄与率 %	累積寄与率 %
因子1	10.081	50.404	50.404
因子2	0.83	4.152	54.556

<因子相関行列>

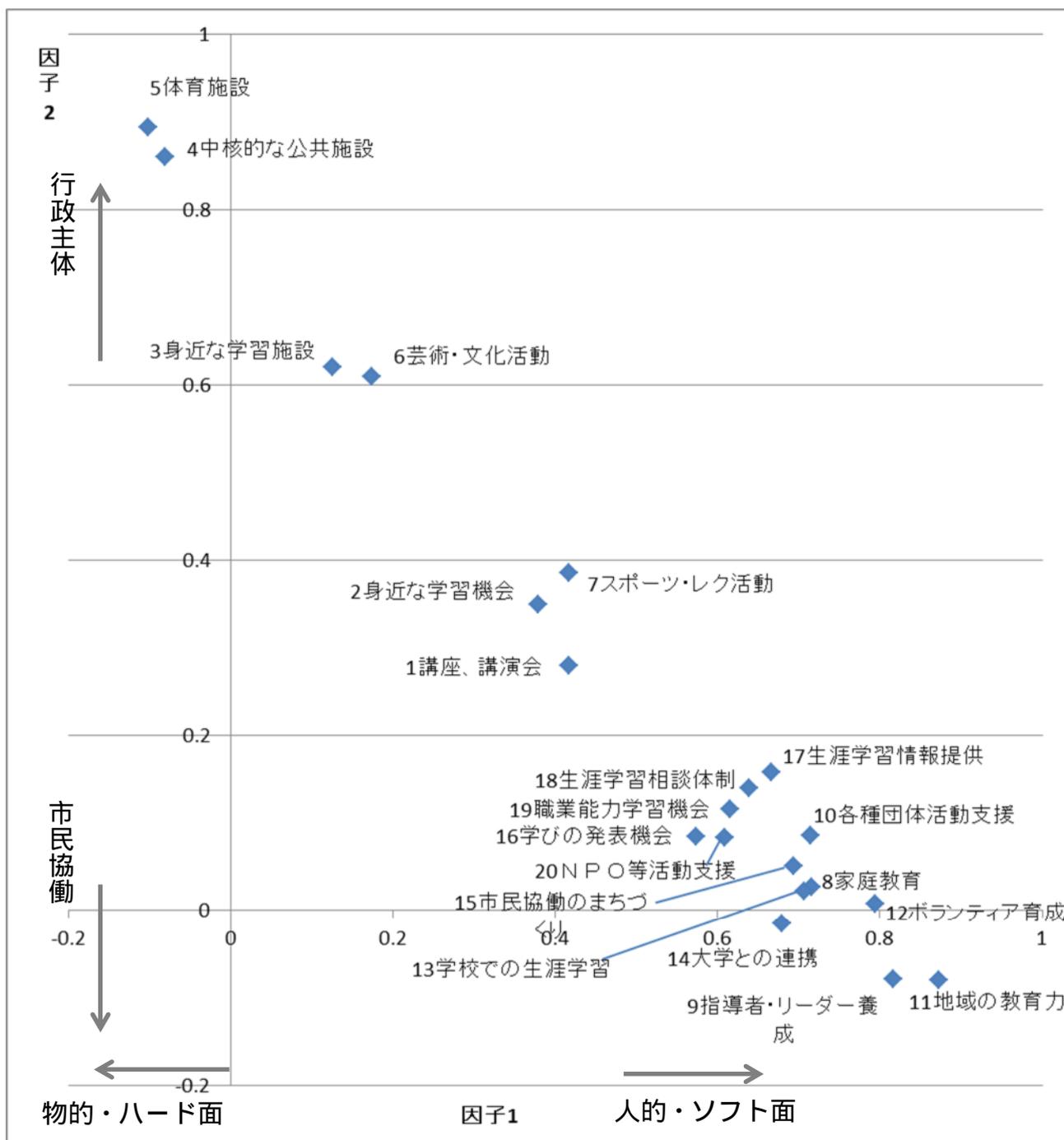
因子	1	2
1	1	0.741
2	0.741	1

* 因子負荷量

施策項目	度数	平均値	標準偏差	因子 1 *	因子 2 *
1 講座、講演会の充実	544	0.75	0.962	0.416	0.28
2 身近な学習機会の充実	541	0.81	0.955	0.379	0.349
3 身近な学習施設の整備・充実	544	0.74	0.967	0.125	0.62
4 中核的な公共施設の整備・充実	546	0.93	0.954	-0.081	0.86
5 体育施設の整備・充実	541	0.87	0.977	-0.103	0.894
6 芸術・文化活動の機会の充実	544	0.75	0.925	0.174	0.61
7 スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	520	0.81	0.894	0.416	0.385
8 家庭教育の向上	519	0.74	0.917	0.716	0.027
9 指導者・リーダーの養成	518	0.64	0.96	0.817	-0.079
10 各種団体・グループ活動支援	514	0.57	0.858	0.715	0.085
11 地域の教育力の向上	513	0.68	0.892	0.873	-0.080
12 ボランティア育成や活動支援	515	0.8	0.865	0.794	0.008
13 学校における生涯学習活動	514	0.7	0.986	0.707	0.022
14 大学との連携と公開講座	518	0.53	0.948	0.679	-0.015
15 市民協働によるまちづくりと地域活性	516	0.68	0.917	0.694	0.051
16 学んだことを発表する機会	518	0.3	0.907	0.573	0.084
17 生涯学習に対する情報提供	520	0.88	0.902	0.666	0.157
18 生涯学習に関する相談体制	514	0.59	0.925	0.639	0.139
19 職業の能力を身につける学習機会	520	0.73	0.973	0.615	0.115
20NPO等の活動支援	517	0.36	0.977	0.609	0.083

(因子抽出法: 最尤法、回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法)

<施策項目(因子負荷量)の散布図>



抽出された因子について、次のように解釈することができる。

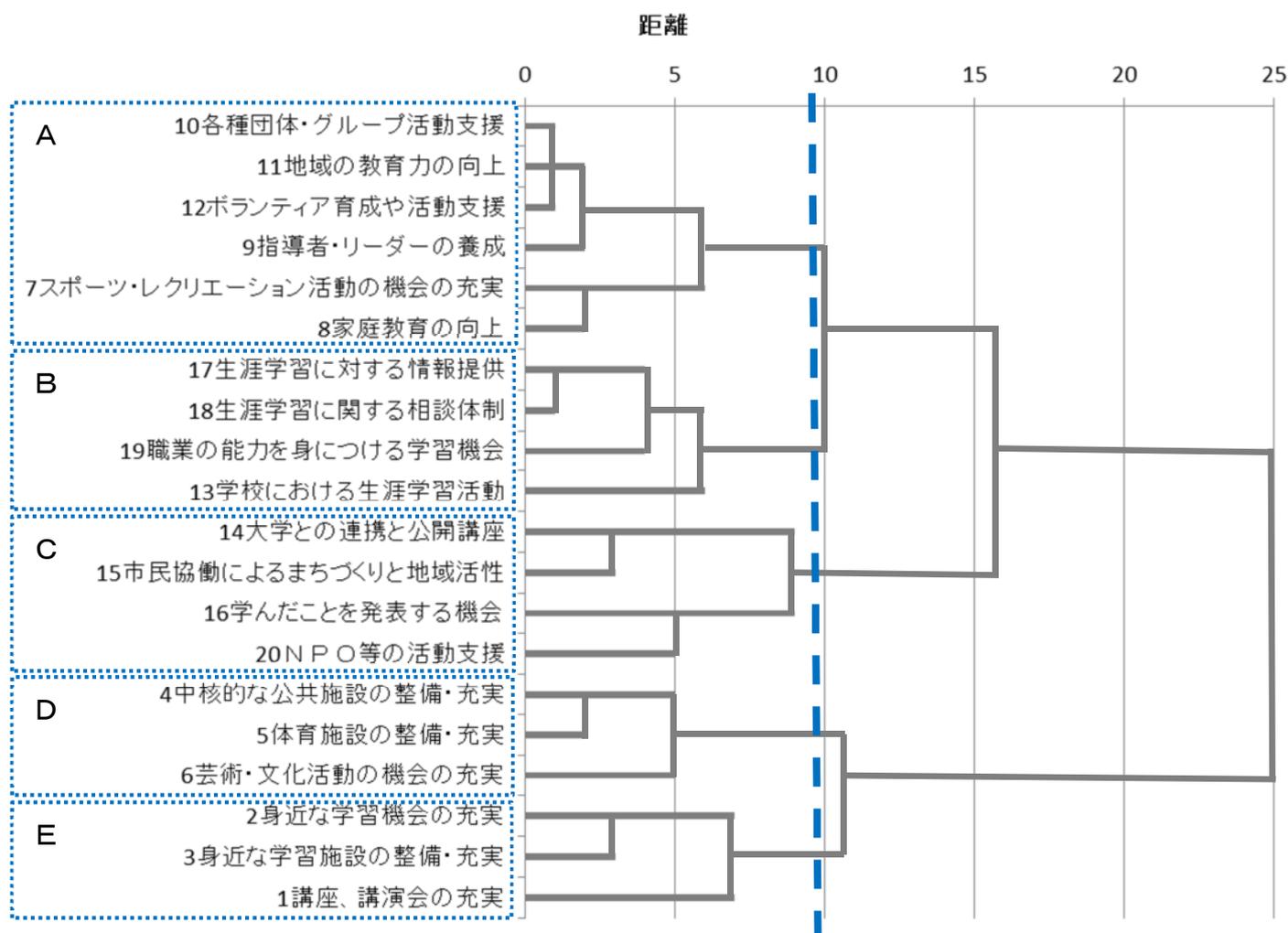
因子 1	施策の対象	物的・ハード面	人的・ソフト面
因子 2	施策への行政と市民の関与の度合い	行政主体	市民協働

因子 1 が物的・ハード面よりだと、因子 2 が行政主体よりとなり、因子 1 が人的・ソフト面よりだと、因子 2 が市民協働よりとなる、という相関関係を読み取ることができる。

②クラスター分析

クラスター分析の結果、施策項目を5つのグループに分けることができる。

<施策項目のクラスター分析による樹形図>



クラスター化の方法（クラスター間距離の測定方法）：Ward法

Aグループは、「ボランティア・リーダー等の人づくりと地域・家庭の教育力の向上」、Bグループは、「生涯学習に関する情報提供・相談体制づくりと職業能力向上や学校における生涯学習活動の推進」、Cグループは、「市民協働と大学・NPOなどとの連携」、Dグループは、「中核的な公共施設・体育施設の整備・充実」、Eグループは、「身近な学習機会や学習施設整備・充実など身近な生涯学習環境づくり」と考えられる。

A グループ	⑩各種団体・グループ活動支援や交流	ボランティア・リーダー等の人づくりと地域・家庭の教育力の向上
	⑪地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	
	⑫ボランティア育成や活動の支援	

	<ul style="list-style-type: none"> ⑨指導者・リーダーの養成 ⑦スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実 ⑧家庭教育の向上につながる学習機会の提供 	
B グループ	<ul style="list-style-type: none"> ⑰生涯学習に対する情報提供 ⑱生涯学習に関する相談体制の推進 ⑲職業の能力を身につける学習機会の提供 ⑬学校における生涯学習活動に対する指導と推進 	生涯学習に関する情報提供・相談体制づくりと職業能力向上や学校における生涯学習活動の推進
C グループ	<ul style="list-style-type: none"> ⑭大学との連携と公開講座の推進 ⑮市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり ⑯学んだことを発表する機会 ⑳NPO等の活動支援 	市民協働と大学・NPOなどとの連携
D グループ	<ul style="list-style-type: none"> ④中核的な公共施設の整備・充実（モナミホール・図書館・博物館） ⑤体育施設の整備・充実（体育館・グラウンド） ⑥芸術・文化活動の機会の充実 	中核的な公共施設・体育施設の整備・充実
E グループ	<ul style="list-style-type: none"> ②身近なところでの学習機会の充実 ③身近な学習施設の整備・充実（自治公民館など） ①講座、講演会などの種類や数の充実 	身近な学習機会や学習施設整備・充実など身近な生涯学習環境づくり

2) 生涯学習を盛んにするために市が取り組むべきこと

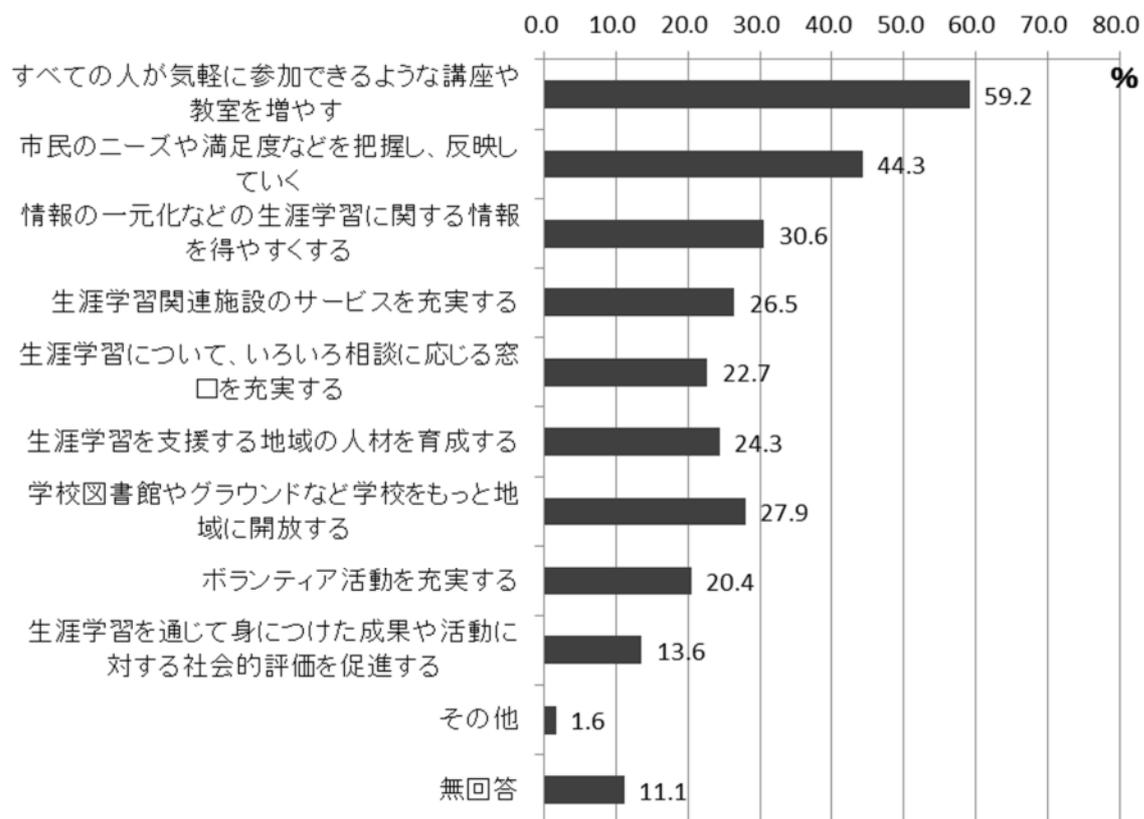
今後、市民の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、香芝市では、どのようなことに力を入れるべきかをたずねたところ、「すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす」(59.2%)が最も多く、次いで「市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」(44.3%)、「情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする」(30.6%)が多かった。

「市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」「ボランティア活動を充実する」は、10-20歳代で大きくなっている。「学校図書館やグラウンドなど学校をもっと地域に開放する」は、10-20歳代、30-40歳代で大きくなっている。「情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする」「生涯学習関連施設のサービスを充実する」は、30-40歳代、50-60歳代で大きくなっている。「生涯学習について、いろいろ相談に応じる窓口を充実する」は50-60歳代で大きくなっている。

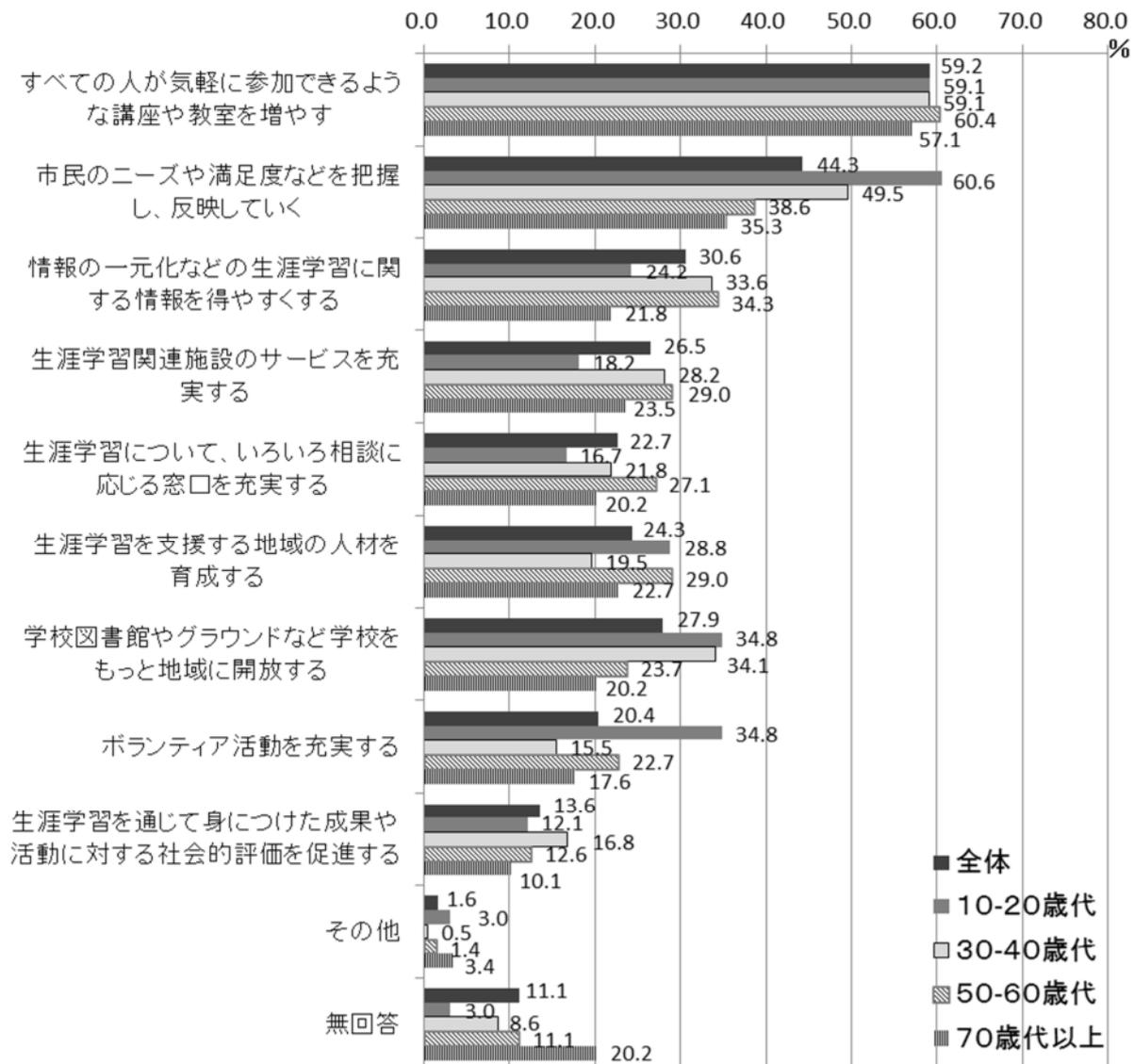
生涯学習活動について「今後においてしたいと思う」回答者では、「情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする」「生涯学習について、いろいろ相談に応じる窓口を充実する」「生涯学習を支援する地域の人材を育成する」が大きくなっている。「過去にしていた」回答者では、「すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす」が大きくなっている。

問19 あなたは、今後、市民の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、香芝市では、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるすべてに○を)

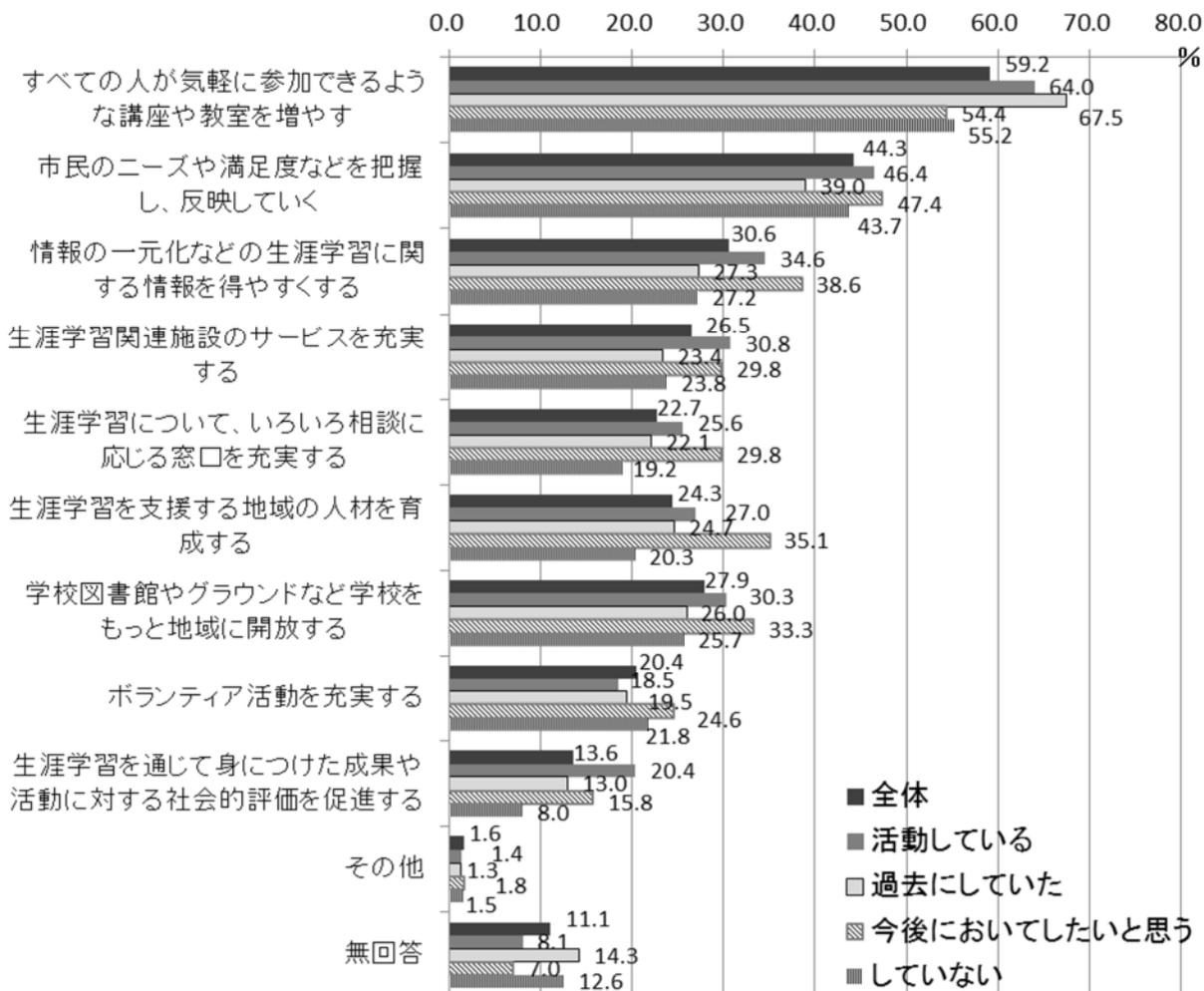
問19(MA)	回答数	%
すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす	362	59.2
市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく	271	44.3
情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする	187	30.6
生涯学習関連施設のサービスを充実する	162	26.5
生涯学習について、いろいろ相談に応じる窓口を充実する	139	22.7
生涯学習を支援する地域の人材を育成する	149	24.3
学校図書館やグラウンドなど学校をもっと地域に開放する	171	27.9
ボランティア活動を充実する	125	20.4
生涯学習を通じて身につけた成果や活動に対する社会的評価を促進する	83	13.6
その他	10	1.6
無回答	68	11.1
全体	612	-



問19(MA)	10-20歳代	%	30-40歳代	%	50-60歳代	%	70歳代以上	%	全体	%
すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす	39	59.1	130	59.1	125	60.4	68	57.1	362	59.2
市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく	40	60.6	109	49.5	80	38.6	42	35.3	271	44.3
情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする	16	24.2	74	33.6	71	34.3	26	21.8	187	30.6
生涯学習関連施設のサービスを充実する	12	18.2	62	28.2	60	29.0	28	23.5	162	26.5
生涯学習について、いろいろ相談に応じる窓口を充実する	11	16.7	48	21.8	56	27.1	24	20.2	139	22.7
生涯学習を支援する地域の人材を育成する	19	28.8	43	19.5	60	29.0	27	22.7	149	24.3
学校図書館やグラウンドなど学校をもっと地域に開放する	23	34.8	75	34.1	49	23.7	24	20.2	171	27.9
ボランティア活動を充実する	23	34.8	34	15.5	47	22.7	21	17.6	125	20.4
生涯学習を通じて身につけた成果や活動に対する社会的評価を促進する	8	12.1	37	16.8	26	12.6	12	10.1	83	13.6
その他	2	3.0	1	0.5	3	1.4	4	3.4	10	1.6
無回答	2	3.0	19	8.6	23	11.1	24	20.2	68	11.1
全体	66	—	220	—	207	—	119	—	612	—



問19(MA) 一問6生涯学習活動状況(この1年間)	活動している	%	過去にしていた	%	今後したいと思う	%	していない	%	無回答	全体	%
すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす	135	64.0	52	67.5	31	54.4	144	55.2	0	362	59.2
市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく	98	46.4	30	39.0	27	47.4	114	43.7	2	271	44.3
情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする	73	34.6	21	27.3	22	38.6	71	27.2	0	187	30.6
生涯学習関連施設のサービスを充実する	65	30.8	18	23.4	17	29.8	62	23.8	0	162	26.5
生涯学習について、いろいろ相談に応じる窓口を充実する	54	25.6	17	22.1	17	29.8	50	19.2	1	139	22.7
生涯学習を支援する地域の人材を育成する	57	27.0	19	24.7	20	35.1	53	20.3	0	149	24.3
学校図書館やグラウンドなど学校をもっと地域に開放する	64	30.3	20	26.0	19	33.3	67	25.7	1	171	27.9
ボランティア活動を充実する	39	18.5	15	19.5	14	24.6	57	21.8	0	125	20.4
生涯学習を通じて身につけた成果や活動に対する社会的評価を促進する	43	20.4	10	13.0	9	15.8	21	8.0	0	83	13.6
その他	3	1.4	1	1.3	1	1.8	4	1.5	1	10	1.6
無回答	17	8.1	11	14.3	4	7.0	33	12.6	3	68	11.1
全体	211	-	77	-	57	-	261	-	6	612	-



(17) 一般市民アンケート調査結果のまとめ

○健康や老後のことに不安を感じている

日常生活で悩みや不安を感じていることとして、「自分や家族の健康のこと」、「自分や家族の老後のこと」を回答者の半数があげており、年代が上がるほど多くなる傾向がある。子育て世代の30-40歳代では「子どもの教育や将来のこと」が特に多くなっている。

○地域活動に参加しにくいと感じられ、また、情報がないことが課題となっている

地域の行事、地域活動等への参加状況は、「よく参加している」、「ある程度参加している」を合わせた、参加している人は50%を下まわっており、「まったく参加していない」が20%を超えている。男女別では、女性の方が、地域活動等へ比較的良好に参加している。年代別では、50-60歳代、30-40歳代は地域活動にある程度参加しており、70歳代以上ではよく参加している層と全く参加していない層に分かれている。10-20歳代の地域活動への参加が特に少なくなっていることは課題といえる。

参加している地域活動等の内容は、「自治会、老人会、子ども会活動」、「地域のまつりや運動会などのイベント」「清掃などのボランティア活動」が、それぞれ5割以上で多かった。

地域活動等に参加しない理由としては、「時間的な余裕がないから」約5割で最も多く、次いで「興味のある行事、イベントがないから」約3割、「行ったことがないので参加しにくいから」、「知らない人ばかりで参加しにくいから」、「行事の情報を知らないから」が2割以上だった。行事、地域活動に参加しにくいと感じられ、また、情報がないということは課題といえる。

○生涯学習に関する活動をしている人は5割弱となっている

生涯学習に関する活動をしている（いた）人は、「今後においてしたいと思う」を合わせると50%を上まわるが、していない人が40%以上で多数を占めている。女性の方が生涯学習に関する活動をしている（いた）人が多い傾向がある。10-20歳代、30-40歳代は生涯学習に関する活動をしていない人が多いが、今後においてしたいという意向は持っていることがうかがわれる。

生涯学習活動の内容は、現在、今後とも「趣味・娯楽」が最も多く、次いで「教養」となった。今後したい生涯学習では、「教養」と「健康増進・食育」「保健・介護・地域福祉」が、現在よりも多くなっている。

○生涯学習活動は、自宅では図書やインターネットを通じて、自宅以外ではグループ・サークル活動、公営や民間の講座、教室で行われている

生涯学習に関する活動をしている人が学習活動をしている形態は、自宅では「図書、新聞等の出版物」(25%)が最も多く、次いで「インターネットを通じて」だった。自宅以外では、「グループ・サークル活動」、「公営の講座、教室」がそれぞれ30%以上、次いで

「民間の講座、教室」となっている。

○生涯学習は、自分の人生をより豊かにし、自分の健康の維持・増進に役立っている

生涯学習活動をしている人が学習活動を行う目的や動機は、「趣味や興味を広げ、生きがいをもつため」が最も多く、次いで「健康・体力づくりのため」が多かった。個人の生きがいや健康のためが大きい、活動を通じて友人を得ることも挙げられている。

生涯学習活動をしている人が生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験をどのように生かしているかは、「自分の人生がより豊かになっている」が最も多く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立っている」が多かった。

回答者全体での、生涯学習で学んだことをどのように役立てたいかの意向については、「自分や家族の教養・資質の向上」が4割弱で最も多いものの、次いで「広く地域づくりやまちづくりに関する活動」、「社会福祉活動」、「市民や子どもたちの学習指導や手伝い」がそれぞれ2割以上で、地域づくりや社会福祉活動に生涯学習で学んだことを役立てたいという意向がみられる。

○生涯学習活動をしていない理由は、時間がないことが大きな理由となっている

生涯学習活動をしていない理由は、「仕事や家事で忙しくて時間がない」が最も多く、次いで「余暇に使える自由な時間がない」が多かった。時間がないことが大きな理由となっている。

○スポーツ・レクリエーション活動をしていない人は4割以上

スポーツ・レクリエーション活動状況は、「ほとんど、まったくしていない」が4割以上で最も多くなった。「あまりしていない」を合わせると6割近くになっている。スポーツ・レクリエーション活動では、女性の方が活動をしていない人が多く、年代別では30-40歳代、50-60歳代で活動していない人が多くなっている。

今後したいスポーツは、「水泳」、「ジョギング」、「室内フィットネス・ダンス等」「山や川で行うアウトドアスポーツ」が多く、個人でできるスポーツが中心になっている。

○ボランティア活動への意向を持つ人は約4割

ボランティア活動への意向は、「生かしたことがないが、できれば生かしたい」、「すでに生かしている」をあわせて約4割だった。その内容としては、「自治会の活動」、「団体、サークルの世話役」が多かった。次いで「花や木などの緑を守ったり、育てるボランティア」、「市主催の講座やイベントの企画、実施に協力するボランティア」、「近所の高齢者（または障害者）の困っている人へのボランティア」と続き、多様なボランティア活動への参加意向が存在している。

ボランティア活動を盛んにするために必要な取組みとしては、「ボランティア活動に関する情報提供を普及させる」が最も多かった。次いで「学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」、「ボランティア活動の窓口となるボランティアセンタ

一の整備・充実を図る」と続いている。

○「まちの安全や住みやすさ」が地域の課題

地域にどのような課題があるかについて、「まちの安全や住みやすさ」が最も多かった。次いで「要介護のお年寄りの生活支援」、「住民同士の助け合いや地域交流」、「子どものしつけや青少年健全育成」と続いている。

「まちの安全や住みやすさ」「要介護のお年寄りの生活支援」については、年代が下がるほど大きくなる傾向が見られる。「子どものしつけや青少年健全育成」は30-40歳代で最も大きい。「住民同士の助け合いや地域交流」は50-60歳代で大きくなっている。

○生涯学習への支援としては、情報提供や活動に関する相談支援へのニーズが大きい

生涯学習への支援について、「学習に関する情報提供」が最も多く、次いで「場所・設備などの支援」が多かった。さらに「活動に関する相談支援」、「講師・指導者の派遣」、「新しい仲間づくりに対する支援」と続いている。生涯学習活動について「今後においてしたいと思う」の回答者では、「新しい仲間づくりに対する支援」「活動に関する相談支援」「場所・設備などの支援」「講師・指導者の派遣」の割合が大きくなっている。

ボランティア活動を盛んにするための取組みと同様に、情報提供や活動に関する相談支援へのニーズが大きいといえる。また、生涯学習活動にこれから取り組みたいと思っている人には、仲間づくりや相談支援へのニーズが大きいといえる。

○生涯学習の情報源として行政からの情報提供の役割は大きい

生涯学習の情報源は、「県や市の広報誌」が6割強で最も多かった。次いで「知人、友人、同僚、家族」、「新聞や雑誌」、「インターネット・携帯電話」と続いている。「今後においてしたいと思う」の回答者では、「県や市の広報誌」の割合が大きくなっていることから、行政からの情報提供の役割は大きいといえる。また、新聞・雑誌など従来からの情報源と合わせて、10-20歳代、30-40歳代ではインターネット・携帯電話も情報源として利用されているが、50歳代以上ではまだ利用の割合は低い。

○今後市が力を入れるべきことは、「気軽に参加できるような講座や教室」「市民のニーズや満足度の把握と反映」「生涯学習に関する情報を得やすくすること」

市が行っている生涯学習の取組みについて、今後の重要度が高い取組みとして、「中核的な公共施設の整備・充実」「生涯学習に対する情報提供」「体育施設の整備・充実」「スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実」「身近なところでの学習機会の充実」「ボランティア育成や活動の支援」があげられている。

今後、市民の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、市として力を入れるべきことは、「すべての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす」が最も多く、次いで「市民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」「情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする」が多かった。生涯学習活動について「今後においてしたいと

思う」回答者では、「情報の一元化などの生涯学習に関する情報を得やすくする」「生涯学習について、いろいろ相談に応じる窓口を充実する」「生涯学習を支援する地域の人材を育成する」の割合が大きくなっている。

3 生涯学習団体アンケート調査の結果

(1) アンケート対象者の特性

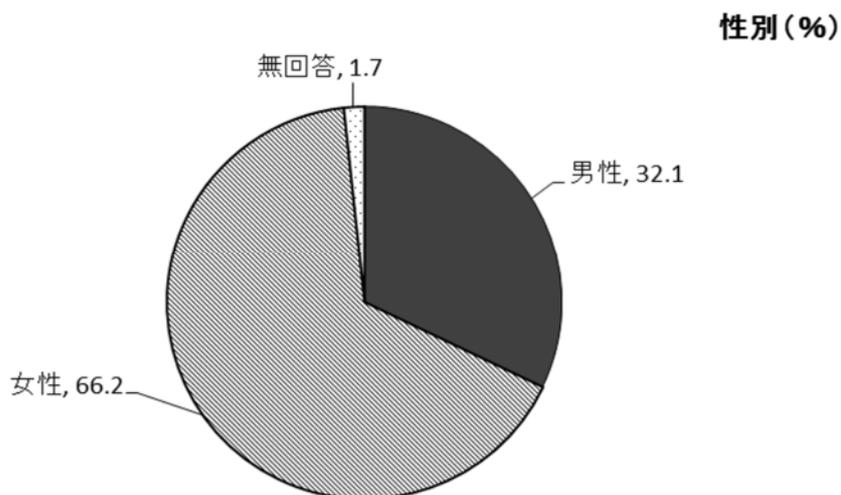
アンケート回答者の性別、居住小学校区、年代は次の通りだった。

1) 性別

回答者の性別は、男性 32.1%、女性 66.2%で女性が多かった。

問1 あなたの性別についてお答えください。

問1	回答数	%
男性	114	32.1
女性	235	66.2
無回答	6	1.7
計	355	100.0

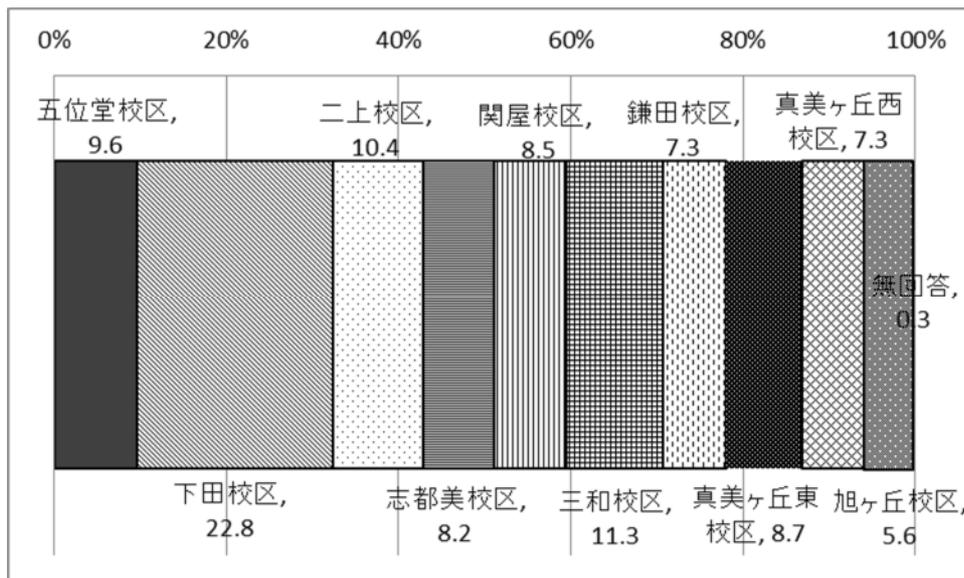


2) 居住小学校区

回答者の居住小学校区は、下田校区 (22.8%) が多く、次いで三和校区 (11.3%)、二上校区 (10.4%) となった。

問2 あなたのお住まいの校区についてお答えください。 (いずれか1つに○を)

問2	回答数	%
五位堂校区	34	9.6
下田校区	81	22.8
二上校区	37	10.4
志都美校区	29	8.2
関屋校区	30	8.5
三和校区	40	11.3
鎌田校区	26	7.3
真美ヶ丘東校区	31	8.7
真美ヶ丘西校区	26	7.3
旭ヶ丘校区	20	5.6
無回答	1	0.3
計	355	100.0

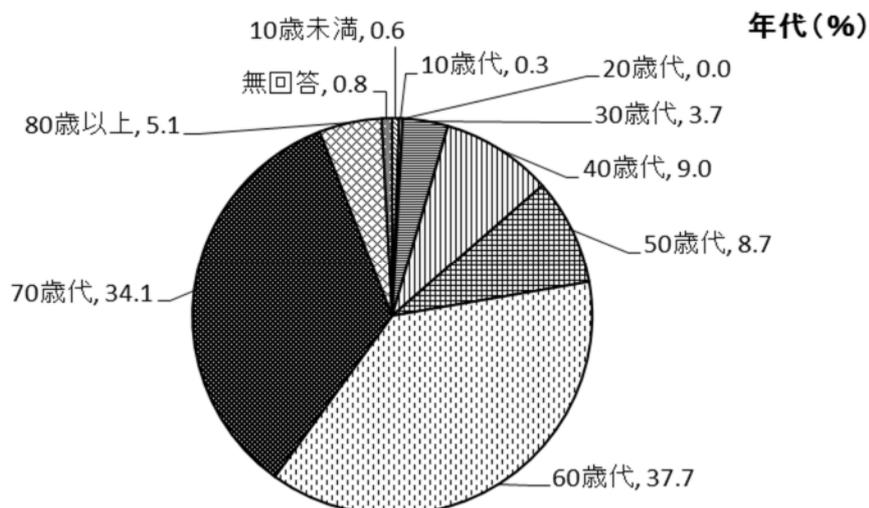


3) 年齢

回答者の年齢は、60歳代（37.7%）が最も多く、次いで70歳代（34.1%）となり、60歳代、70歳代で7割以上を占めた。

問3 あなたの年齢についてお答えください。（いずれか1つに○を）

問3	回答数	%
10歳未満	2	0.6
10歳代	1	0.3
20歳代	0	0.0
30歳代	13	3.7
40歳代	32	9.0
50歳代	31	8.7
60歳代	134	37.7
70歳代	121	34.1
80歳以上	18	5.1
無回答	3	0.8
計	355	100.0



(2) 参加している生涯学習活動

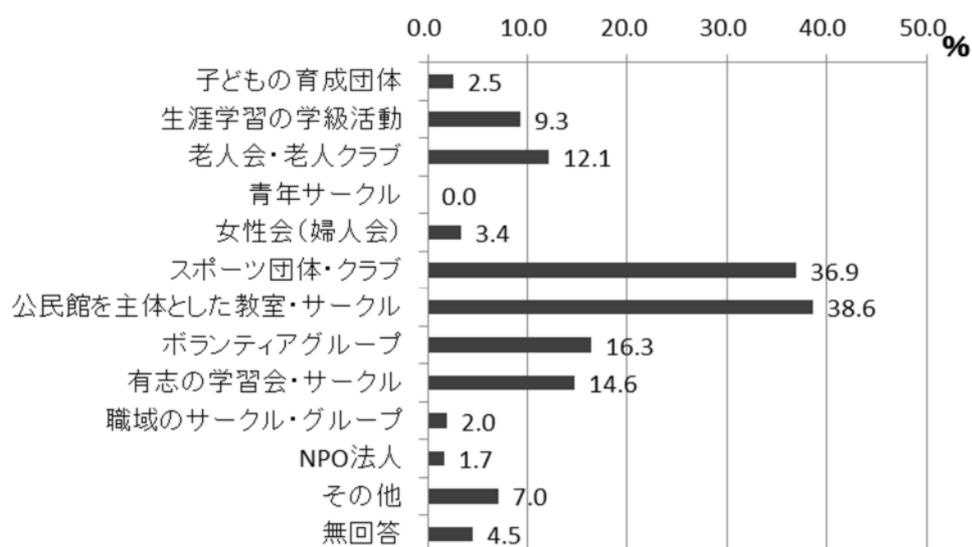
アンケート回答者が参加している生涯学習活動は次の通りだった。

1) 生涯学習団体

回答者が参加している団体は、「公民館を主体とした教室・サークル」(38.6%)、「スポーツ団体・クラブ」(36.9%)が多かった。次いで「ボランティアグループ」「有志の学習会・サークル」と多様な団体の参加者から回答が寄せられている。

問4 あなたは、どのような団体・サークル・クラブに加入されていますか。(あてはまるものすべてに○を)

問4(MA)	回答数	%
子どもの育成団体	9	2.5
生涯学習の学級活動	33	9.3
老人会・老人クラブ	43	12.1
青年サークル	0	0.0
女性会(婦人会)	12	3.4
スポーツ団体・クラブ	131	36.9
公民館を主体とした教室・サークル	137	38.6
ボランティアグループ	58	16.3
有志の学習会・サークル	52	14.6
職域のサークル・グループ	7	2.0
NPO 法人	6	1.7
その他	25	7.0
無回答	16	4.5
全体	355	-

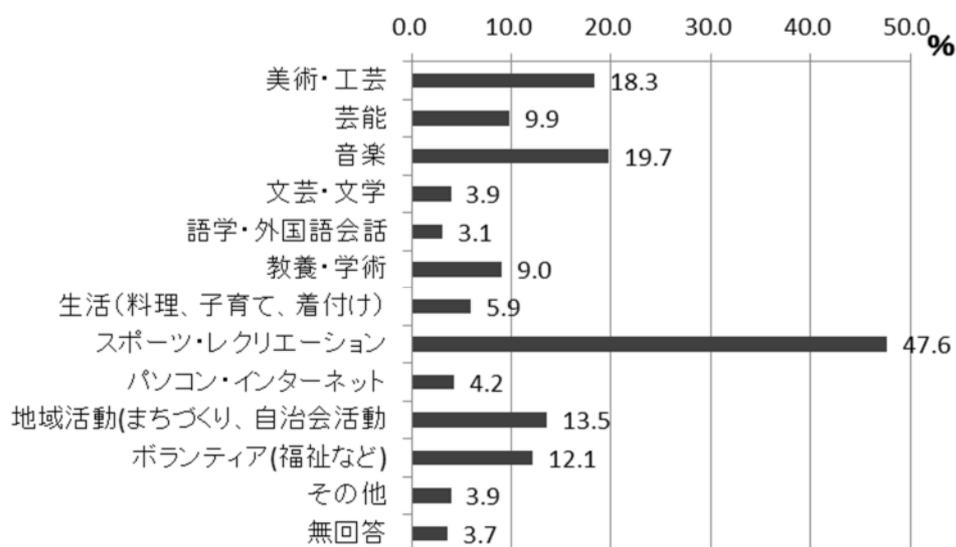


2) 生涯学習活動分野

回答者が参加している生涯学習活動の分野は、「スポーツ・レクリエーション」(47.6%)が最も多く、次いで「音楽」(19.7%)、「美術・工芸」(18.3%)が多かった。「地域活動(まちづくり、自治会活動)」「ボランティア(福祉など)」と多様な活動分野の参加者から回答が寄せられている。

問5 あなたは、どのような分野の活動を行っていますか。(あてはまるものすべてに○を)

問5(MA)	回答数	%
美術・工芸	65	18.3
芸能	35	9.9
音楽	70	19.7
文芸・文学	14	3.9
語学・外国語会話	11	3.1
教養・学術	32	9.0
生活(料理、子育て、着付け)	21	5.9
スポーツ・レクリエーション	169	47.6
パソコン・インターネット	15	4.2
地域活動(まちづくり、自治会活動)	48	13.5
ボランティア(福祉など)	43	12.1
その他	14	3.9
無回答	13	3.7
全体	355	-



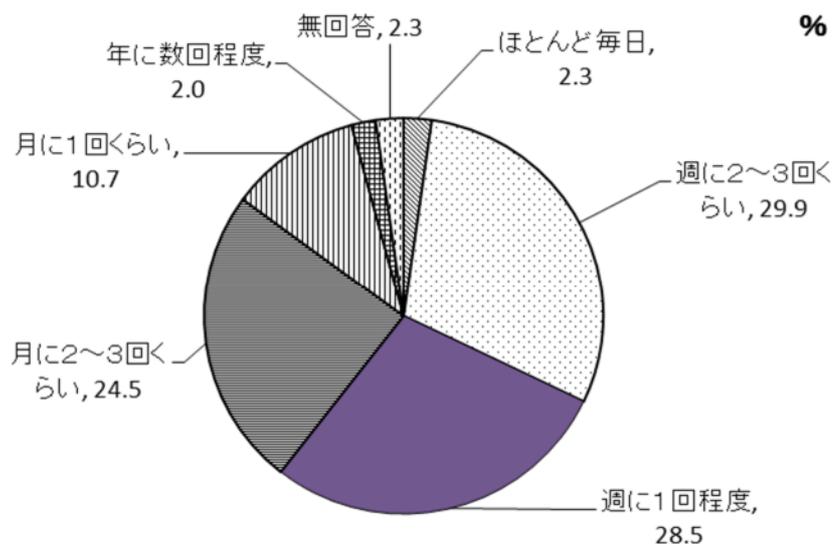
(3) 生涯学習活動の状況等

1) 生涯学習活動の回数

行っている生涯学習に関する活動の回数をたずねたところ、「週に2～3回くらい」(29.9%)、「週に1回程度」(28.5%)、「月に2～3回くらい」(24.5%)が多かった。一般市民アンケートと比較しても、活発な活動状況が見て取れる。

問6 あなたは、どの程度で生涯学習活動を行っていますか。(いずれか1つに○を)

問6	回答数	%	一般市民%
ほとんど毎日	8	2.3	10.1
週に2～3回くらい	106	29.9	19.1
週に1回程度	101	28.5	20.8
月に2～3回くらい	87	24.5	18.8
月に1回くらい	38	10.7	10.8
年に数回程度	7	2.0	11.8
無回答	8	2.3	8.7
計	355	100.0	100.0



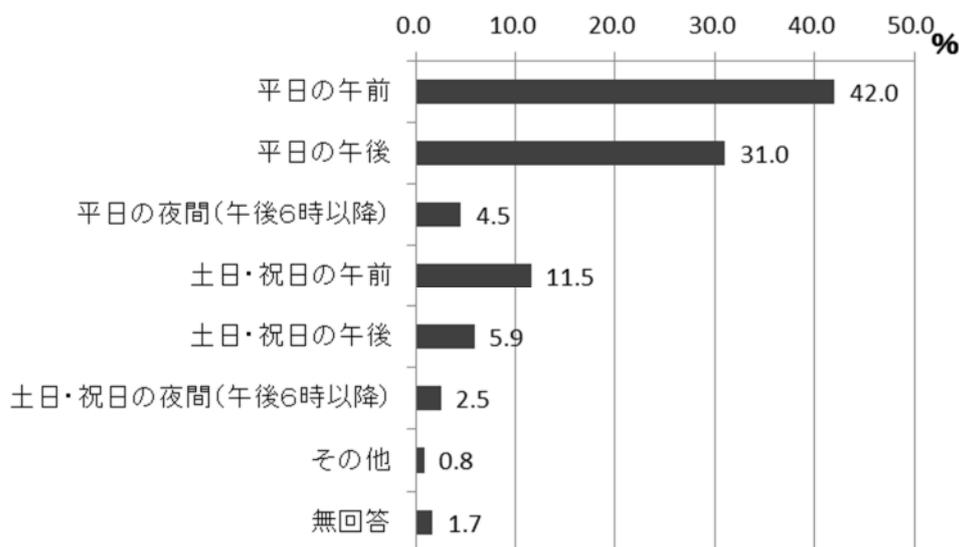
2) 主な活動の時間帯

生涯学習の主な活動の時間帯をたずねたところ、「平日の午前」(42.0%)、「平日の午後」(31.0%)が多く7割以上を占めた。次いで「土日・祝日の午前」(11.5%)となった。

一般市民アンケートでは、生涯学習活動がしやすい時間帯をたずねているが、「平日の午前」(22.9%)、「平日の午後」(17.2%)、「土日・祝日の午前」(16.7%)、「土日・祝日の午後」(13.6%)と順位は同様だが、その比率の差異は団体アンケートほど大きくはない。

問7 あなたの主な活動の時間帯はいつですか。(いずれか1つに○を)

問7	回答数	%	一般市民(活動しやすい時間帯)%
平日の午前	149	42.0	22.9
平日の午後	110	31.0	17.2
平日の夜間(午後6時以降)	16	4.5	8.0
土日・祝日の午前	41	11.5	16.7
土日・祝日の午後	21	5.9	13.6
土日・祝日の夜間(午後6時以降)	9	2.5	4.9
その他	3	0.8	8.0
無回答	6	1.7	8.8
計	355	100.0	100.0

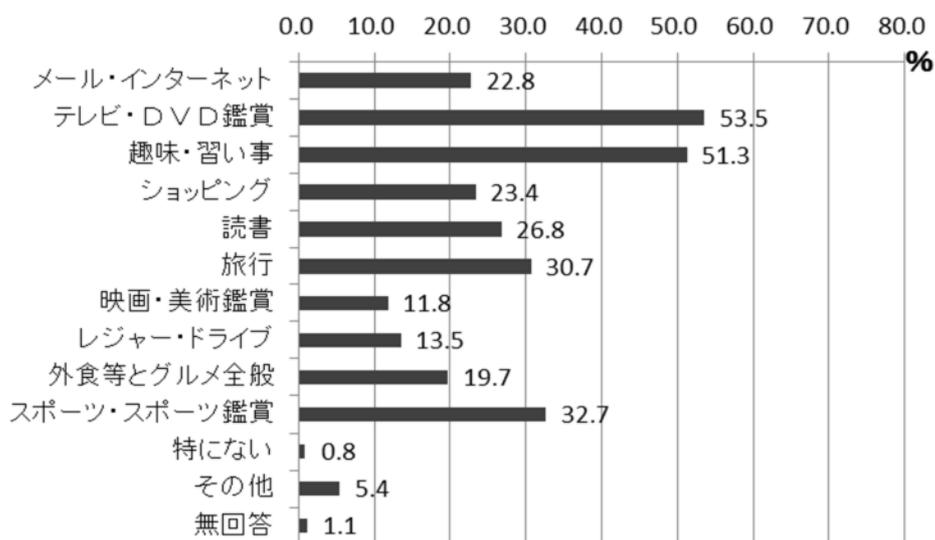


3) 余暇時間の過ごし方

余暇時間の過ごし方についてたずねたところ、「テレビ・DVD鑑賞」(53.5%)、「趣味・習い事」(51.3%)が多く、次いで「スポーツ・スポーツ鑑賞」(32.7%)、「旅行」(30.7%)となった。余暇時間の多くで、生涯学習・スポーツに取り組まれていることがわかる。

問8 あなたの余暇時間の過ごし方は、主にどれですか(あてはまるものすべてに○を)

問8(MA)	回答数	%
メール・インターネット	81	22.8
テレビ・DVD鑑賞	190	53.5
趣味・習い事	182	51.3
ショッピング	83	23.4
読書	95	26.8
旅行	109	30.7
映画・美術鑑賞	42	11.8
レジャー・ドライブ	48	13.5
外食等とグルメ全般	70	19.7
スポーツ・スポーツ鑑賞	116	32.7
特にない	3	0.8
その他	19	5.4
無回答	4	1.1
全体	355	-



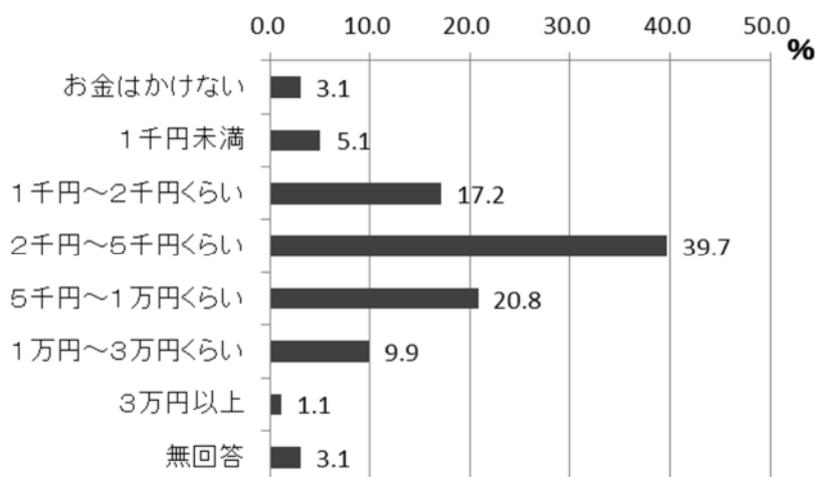
4) 生涯学習にかかる経費

生涯学習にかかる経費（1ヶ月単位）についてたずねたところ、「2千円～5千円くらい」（39.7%）が最も多く、次いで「5千円～1万円くらい」（20.8%）、「1千円～2千円くらい」（17.2%）となった。

一般市民アンケートでは、生涯学習にかかる経費（1ヶ月単位）は、どのくらいまでならいいかをたずねている。「2千円～5千円くらい」（26.8%）が最も多いが、続いて「1千円～2千円くらい」（23.0%）、「お金はかけない」（18.8%）となっている。

問14 あなたが、1ヶ月当たり、生涯学習にかかる経費についてお伺いします。（いずれか1つに○を）

問14	回答数	%	一般市民(かけてもいい経費)%
お金はかけない	11	3.1	18.8
1千円未満	18	5.1	5.7
1千円～2千円くらい	61	17.2	23.0
2千円～5千円くらい	141	39.7	26.8
5千円～1万円くらい	74	20.8	14.2
1万円～3万円くらい	35	9.9	4.4
3万円以上	4	1.1	0.3
無回答	11	3.1	6.7
全体	355	100.0	100.0



(4) 生涯学習の情報

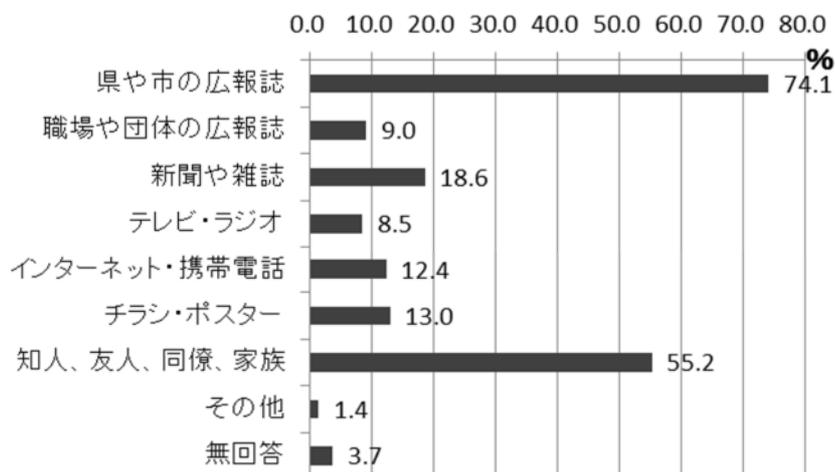
生涯学習の情報をどこから得ているかをたずねたところ、「県や市の広報誌」(74.1%)が最も多かった。次いで「知人、友人、同僚、家族」(55.2%)が多く、これは一般市民アンケート(26.6%)と比べて高くなっている。さらに「新聞や雑誌」(18.6%)と続いている。

「インターネット・携帯電話」(12.4%)は一般市民アンケート(20.9%)と比べて低かった。

一般市民アンケートと同様に、行政からの情報提供の役割は大きいといえる。また、団体参加者ということから「知人、友人、同僚、家族」からの情報が大きくなっていると考えられる。

問9 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○を)

問9(MA)	回答数	%	一般市民%
県や市の広報誌	263	74.1	63.4
職場や団体の広報誌	32	9.0	7.4
新聞や雑誌	66	18.6	20.8
テレビ・ラジオ	30	8.5	9.3
インターネット・携帯電話	44	12.4	20.9
チラシ・ポスター	46	13.0	11.4
知人、友人、同僚、家族	196	55.2	26.6
その他	5	1.4	3.9
無回答	13	3.7	7.5
全体	355	-	-

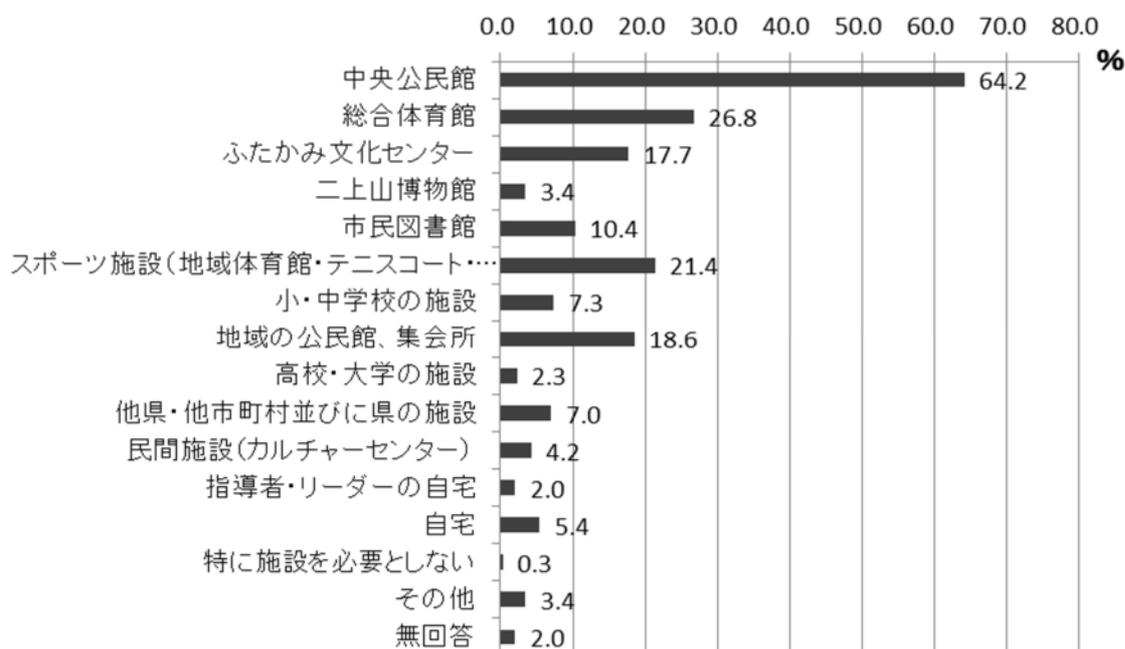


(5) 生涯学習の活動場所

主な生涯学習の活動場所をたずねたところ、「中央公民館」(64.2%)が最も多かった。次いで「総合体育館」(26.8%)、「スポーツ施設(地域体育館・テニスコート・グラウンド)」(21.4%)、「地域の公民館、集会所」(18.6%)、「ふたかみ文化センター」(17.7%)と続いている。

問10 あなたの主な生涯学習の活動場所は、どこですか。(あてはまるものすべてに○を)

問10(MA)	回答数	%
中央公民館	228	64.2
総合体育館	95	26.8
ふたかみ文化センター	63	17.7
二上山博物館	12	3.4
市民図書館	37	10.4
スポーツ施設(地域体育館・テニスコート・グラウンド)	76	21.4
小・中学校の施設	26	7.3
地域の公民館、集会所	66	18.6
高校・大学の施設	8	2.3
他県・他市町村並びに県の施設	25	7.0
民間施設(カルチャーセンター)	15	4.2
指導者・リーダーの自宅	7	2.0
自宅	19	5.4
特に施設を必要としない	1	0.3
その他	12	3.4
無回答	7	2.0
全体	355	-



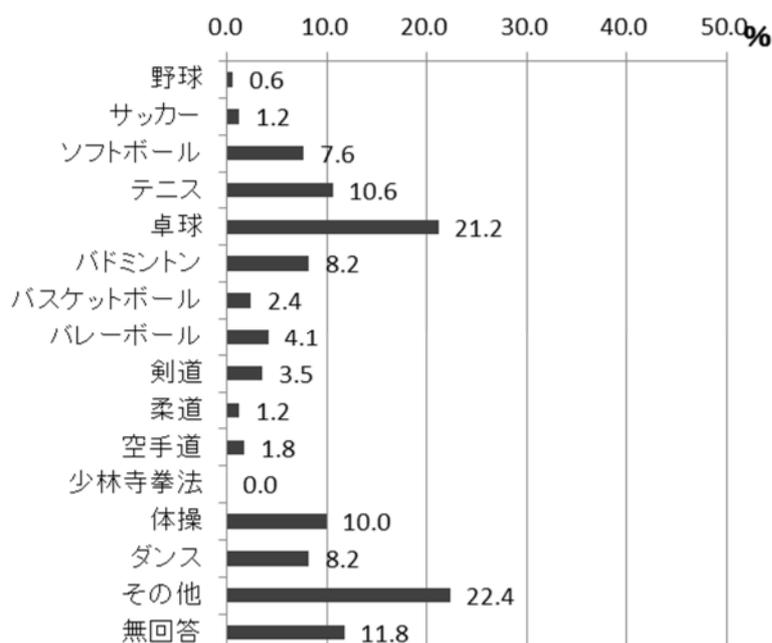
(6) スポーツの実施状況

1) スポーツの内容

総合体育館、スポーツ施設（地域体育館・テニスコート・グラウンド）、小・中学校の施設を活動場所としている人に、現在しているスポーツをたずねたところ、その他以外では、「卓球」(21.2%)が最も多く、次いで「テニス」(10.6%)、「体操」(10.0%)となった。

問10-1 問10で2.6.7と答えた方のみお答えください。どのような、スポーツをしていますか。(あてはまるものすべてに○を)

問10-1(MA)	回答数	%
野球	1	0.6
サッカー	2	1.2
ソフトボール	13	7.6
テニス	18	10.6
卓球	36	21.2
バドミントン	14	8.2
バスケットボール	4	2.4
バレーボール	7	4.1
剣道	6	3.5
柔道	2	1.2
空手道	3	1.8
少林寺拳法	0	0.0
体操	17	10.0
ダンス	14	8.2
その他	38	22.4
無回答	20	11.8
回答対象数	170	-



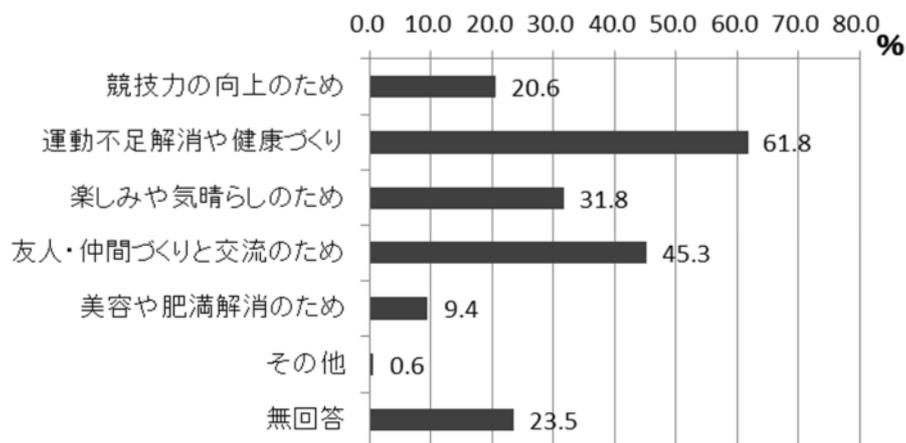
2) スポーツをする理由

スポーツ施設を活動場所としている回答者にスポーツをする理由をたずねたところ、「運動不足解消や健康づくり」(61.8%)が最も多かった。次いで「友人・仲間づくりと交流のため」(45.3%)、「楽しみや気晴らしのため」(31.8%)と続いている。

問10-2 問10で2.6.7と答えた方のみお答えください。

スポーツをする理由をあげてください (あてはまるものすべてに○を)

問10-2(MA)	回答数	%
競技力の向上のため	35	20.6
運動不足解消や健康づくり	105	61.8
楽しみや気晴らしのため	54	31.8
友人・仲間づくりと交流のため	77	45.3
美容や肥満解消のため	16	9.4
その他	1	0.6
無回答	40	23.5
回答対象数	170	-



(7) 生涯学習への意向

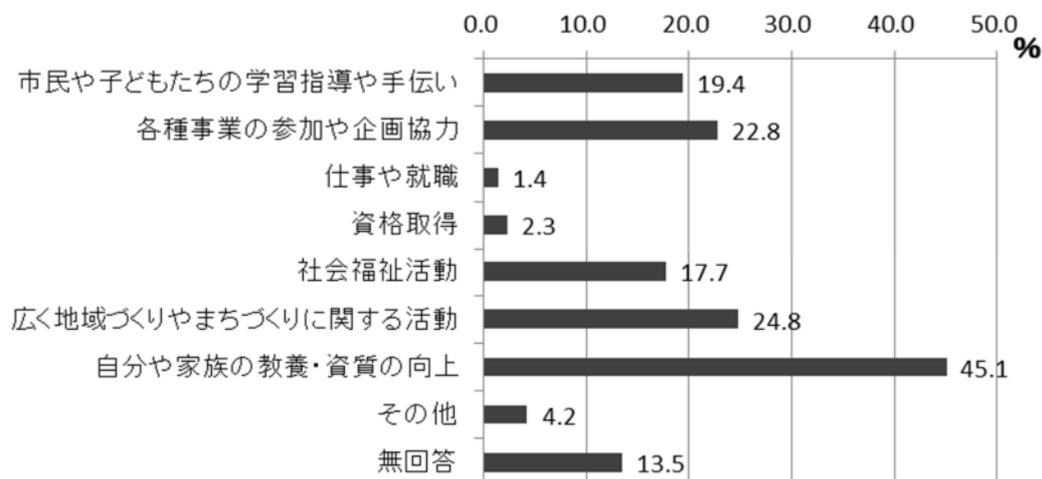
1) 生涯学習の活用

生涯学習で学んだことをどのように役立てたいと思うかとたずねたところ、「自分や家族の教養・資質の向上」(45.1%)が最も多かった。次いで「広く地域づくりやまちづくりに関する活動」(24.8%)、「各種事業(講座、展示会、イベントなど)の参加や企画協力」(22.8%)と続いている。

一般市民アンケートと比較すると、「各種事業(講座、展示会、イベントなど)の参加や企画協力」の割合が大きく、「仕事や就職」「資格取得」の割合が小さくなっている。

問11 あなたは、生涯学習で学んだことをどのように役立てたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問11(MA)	回答数	%	一般市民%
市民や子どもたちの学習指導や手伝い	69	19.4	20.9
各種事業(講座、展示会、イベントなど)の参加や企画協力	81	22.8	14.2
仕事や就職	5	1.4	20.4
資格取得	8	2.3	14.7
社会福祉活動	63	17.7	22.5
広く地域づくりやまちづくりに関する活動	88	24.8	25.0
自分や家族の教養・資質の向上	160	45.1	39.5
その他	15	4.2	1.8
無回答	48	13.5	12.9
全体	355	-	-

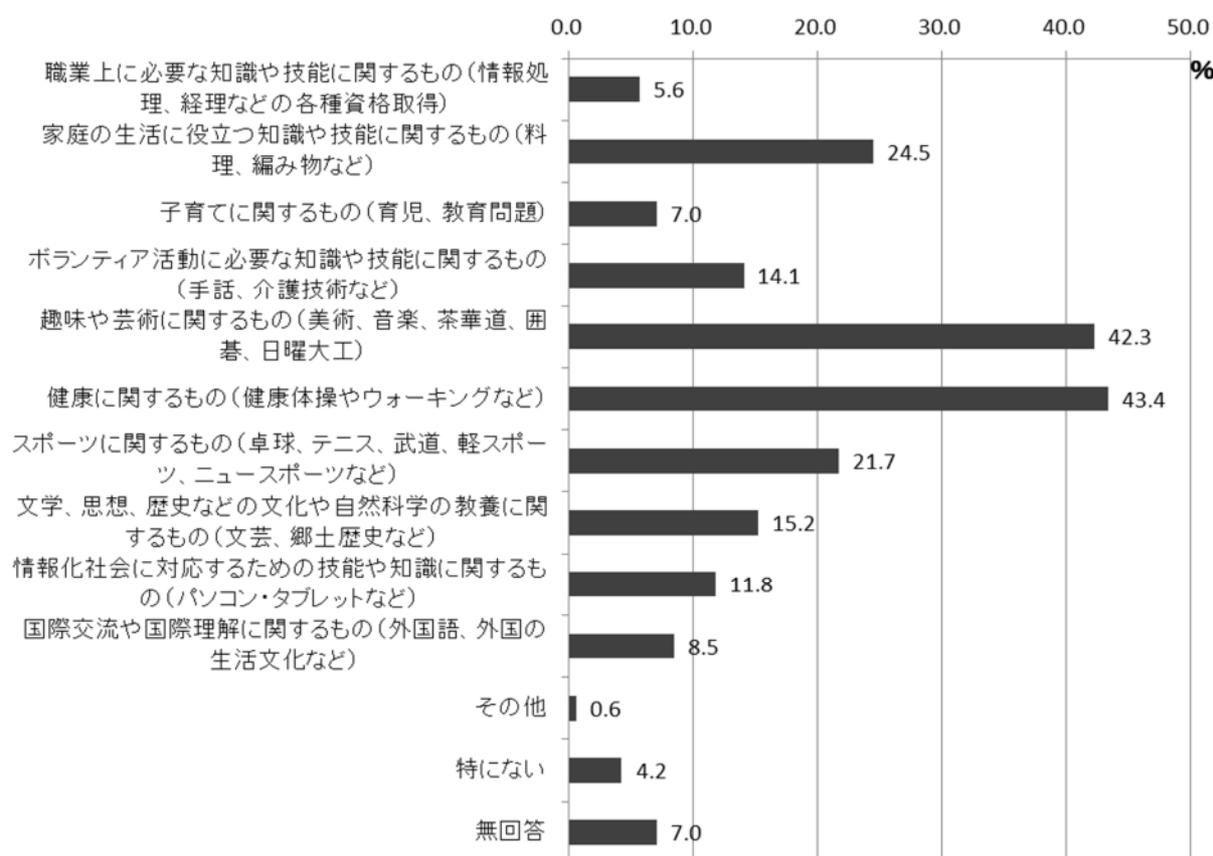


2) 今後学びたいこと

今後どのようなことを学びたいと思うかとたずねたところ、「健康に関するもの（健康体操やウォーキングなど）」(43.4%)が最も多く、次いで「趣味や芸術に関するもの（美術、音楽、茶華道、囲碁、日曜大工）」(42.3%)が多かった。「家庭の生活に役立つ知識や技能に関するもの（料理、編み物など）」(24.5%)、「スポーツに関するもの（卓球、テニス、武道、軽スポーツ、ニュースポーツなど）」(21.7%)と続いている。健康に関する生涯学習のニーズが高いことがわかる。

問12 あなたは、今後どのようなことを学びたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問12(MA)	回答数	%
職業上に必要な知識や技能に関するもの(情報処理、経理などの各種資格取得)	20	5.6
家庭の生活に役立つ知識や技能に関するもの(料理、編み物など)	87	24.5
子育てに関するもの(育児、教育問題)	25	7.0
ボランティア活動に必要な知識や技能に関するもの(手話、介護技術など)	50	14.1
趣味や芸術に関するもの(美術、音楽、茶華道、囲碁、日曜大工)	150	42.3
健康に関するもの(健康体操やウォーキングなど)	154	43.4
スポーツに関するもの(卓球、テニス、武道、軽スポーツ、ニュースポーツなど)	77	21.7
文学、思想、歴史などの文化や自然科学の教養に関するもの(文芸、郷土歴史など)	54	15.2
情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの(パソコン・タブレットなど)	42	11.8
国際交流や国際理解に関するもの(外国語、外国の生活文化など)	30	8.5
その他	2	0.6
特にない	15	4.2
無回答	25	7.0
全体	355	-

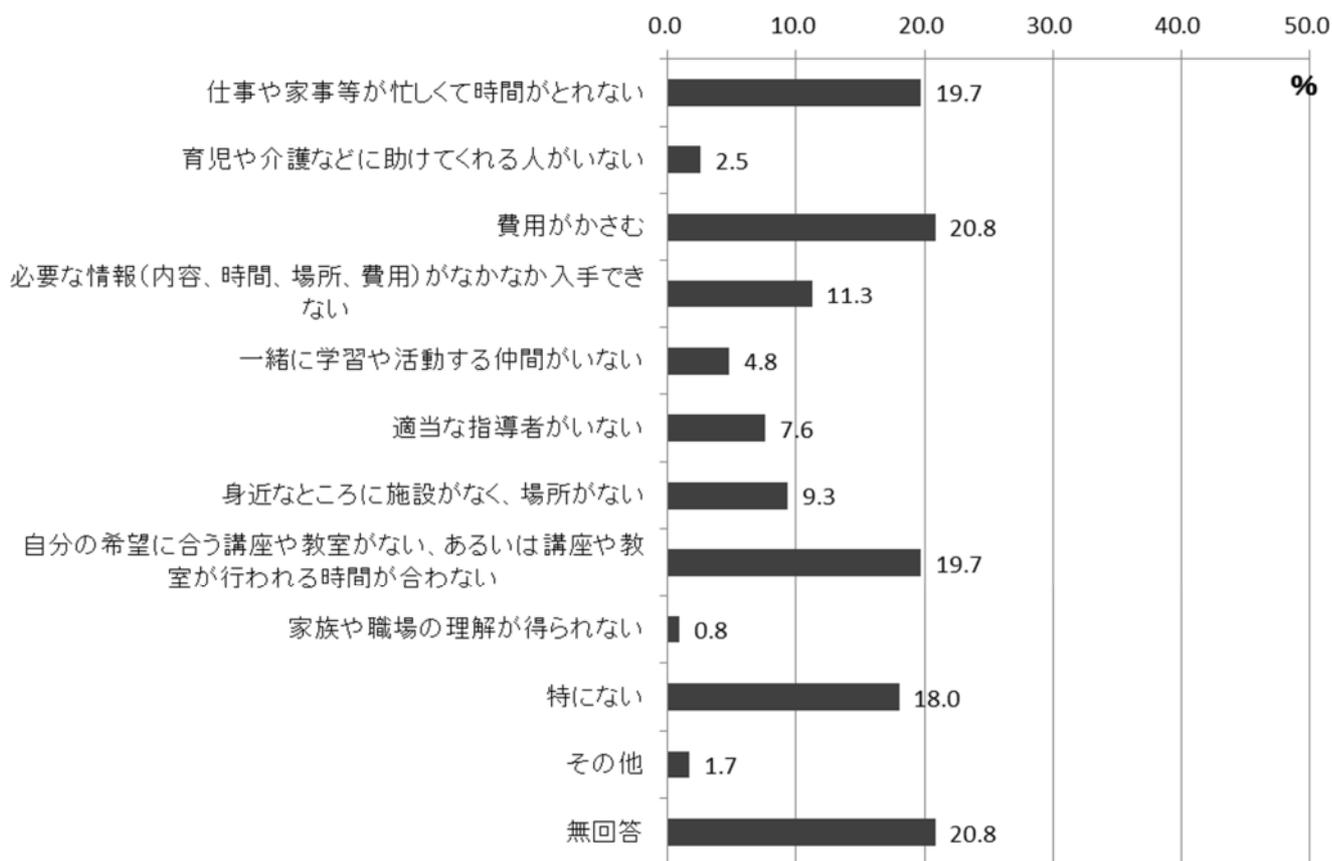


(8) 生涯学習を行うときに妨げになること

生涯学習を行うときに、どのようなことが妨げになっているかをたずねたところ、「費用がかさむ」(20.8%)が最も多かった。次いで「仕事や家事等が忙しくて時間がとれない」(19.7%)、「自分の希望に合う講座や教室がない、あるいは講座や教室が行われる時間が合わない」(19.7%)と続いている。

問13 あなたが、生涯学習を行うときに、どのようなことが妨げになっていますか。(あてはまるものすべてに○を)

問13(MA)	回答数	%
仕事や家事等が忙しくて時間がとれない	70	19.7
育児や介護などに助けてくれる人がいない	9	2.5
費用がかさむ	74	20.8
必要な情報(内容、時間、場所、費用)がなかなか入手できない	40	11.3
一緒に学習や活動する仲間がいない	17	4.8
適当な指導者がいない	27	7.6
身近なところに施設がなく、場所がない	33	9.3
自分の希望に合う講座や教室がない、あるいは講座や教室が行われる時間が合わない	70	19.7
家族や職場の理解が得られない	3	0.8
特にない	64	18.0
その他	6	1.7
無回答	74	20.8
全体	355	-



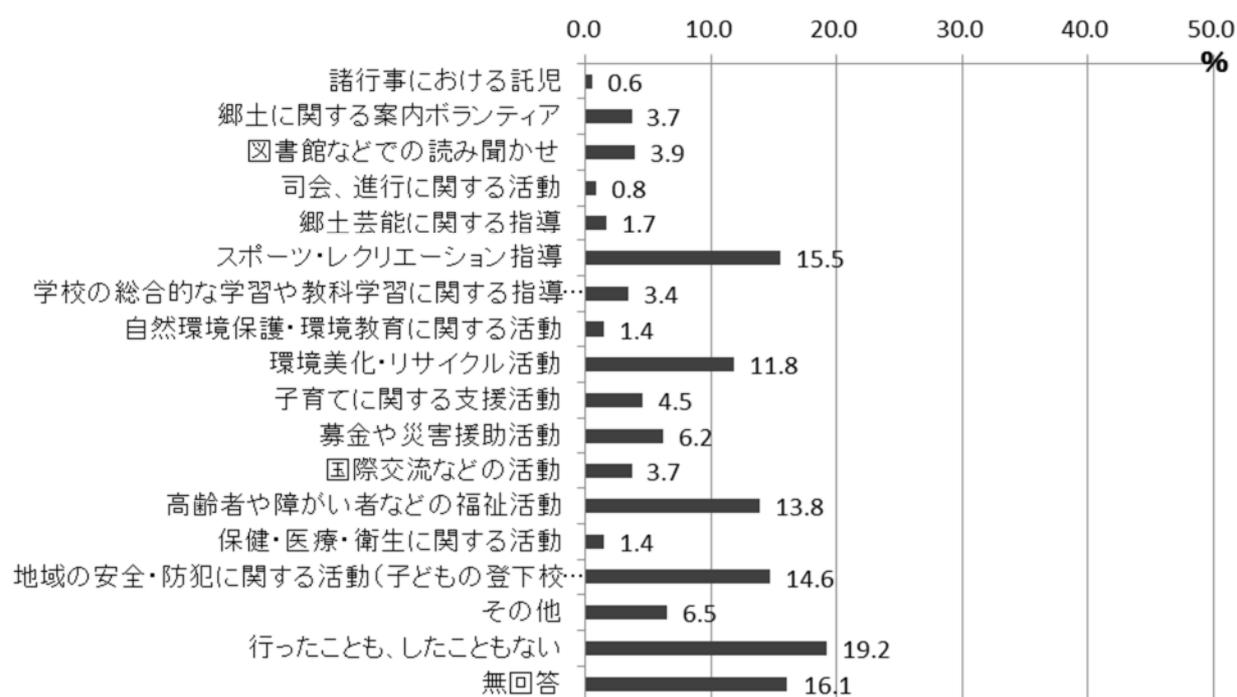
(9) ボランティア活動

1) ボランティア活動状況

どのようなボランティア活動を行っているかとたずねたところ、「行ったことも、したこともない」(19.2%)が最も多かった。次いで「スポーツ・レクリエーション指導」(15.5%)、「地域の安全・防犯に関する活動(子どもの登下校時の見守り活動)」(14.6%)、「高齢者や障がい者などの福祉活動」(13.8%)、「環境美化・リサイクル活動」(11.8%)と続いている。

問15 あなたは、どのようなボランティア活動を行っていますか。(有償ボランティアも含む)(あてはまるものすべてに○を)

問15(MA)	回答数	%
諸行事における託児	2	0.6
郷土に関する案内ボランティア	13	3.7
図書館などでの読み聞かせ	14	3.9
司会、進行に関する活動	3	0.8
郷土芸能に関する指導	6	1.7
スポーツ・レクリエーション指導	55	15.5
学校の総合的な学習や教科学習に関する指導助言	12	3.4
自然環境保護・環境教育に関する活動	5	1.4
環境美化・リサイクル活動	42	11.8
子育てに関する支援活動	16	4.5
募金や災害援助活動	22	6.2
国際交流などの活動	13	3.7
高齢者や障がい者などの福祉活動	49	13.8
保健・医療・衛生に関する活動	5	1.4
地域の安全・防犯に関する活動(子どもの登下校時の見守り活動)	52	14.6
その他	23	6.5
行ったことも、したこともない	68	19.2
無回答	57	16.1
全体	355	-



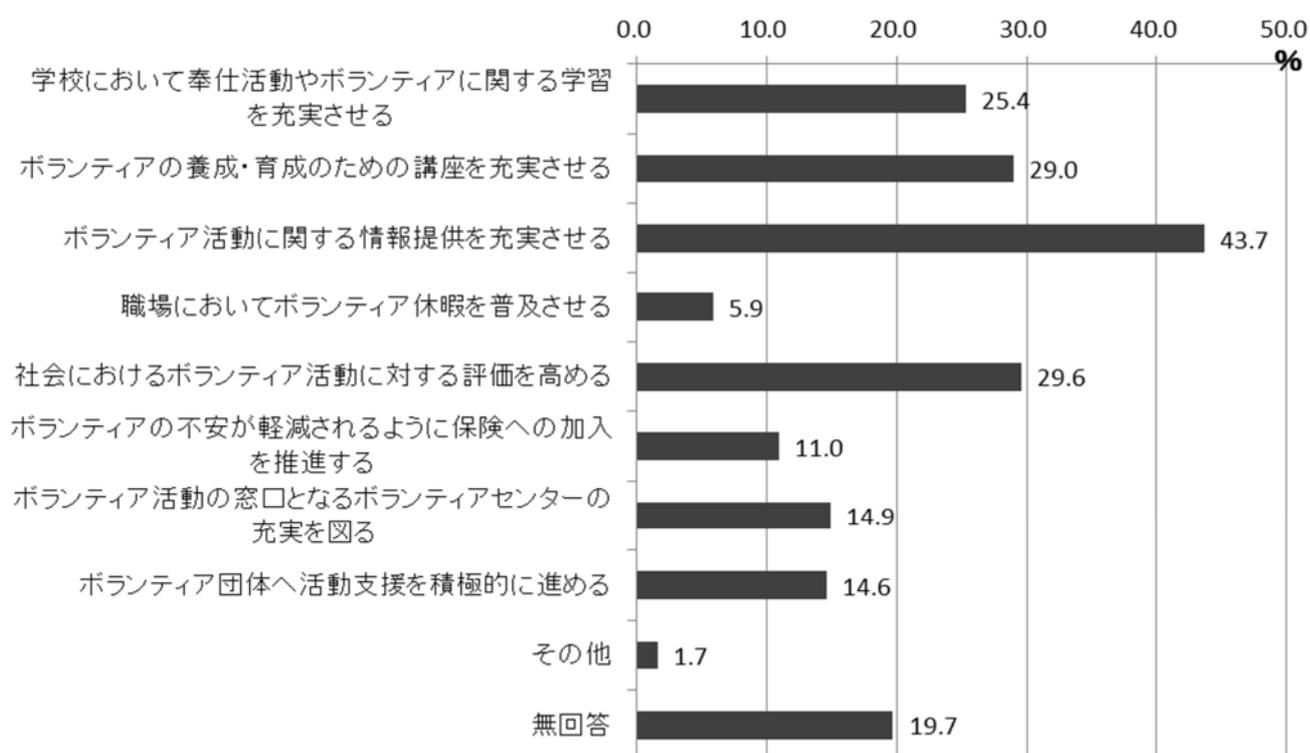
2) ボランティア活動を盛んにするための取組み

ボランティア活動をもっと盛んにするためには、どのような取組みが必要だと思いかをたずねたところ、「ボランティア活動に関する情報提供を充実させる」(43.7%)が最も多かった。次いで「社会におけるボランティア活動に対する評価を高める」(29.6%)、「ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる」(29.0%)、「学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」(25.4%)と続いている。

一般市民アンケートとほぼ同様の傾向が見られるが、「ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターの充実を図る」「ボランティア団体へ活動支援を積極的に進める」の割合が小さくなっている、

問16 ボランティア活動をもっと盛んにするためには、どのような取組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○を)

問16(MA)	回答数	%	一般市民%
学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる	90	25.4	33.5
ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる	103	29.0	23.4
ボランティア活動に関する情報提供を充実させる	155	43.7	48.2
職場においてボランティア休暇を普及させる	21	5.9	17.5
社会におけるボランティア活動に対する評価を高める	105	29.6	25.5
ボランティアの不安が軽減されるように保険への加入を推進する	39	11.0	11.1
ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターの充実を図る	53	14.9	33.3
ボランティア団体へ活動支援を積極的に進める	52	14.6	21.7
その他	6	1.7	1.3
無回答	70	19.7	11.1
全体	355	-	-



(10) 市の生涯学習施設の満足度と今後の利用意向

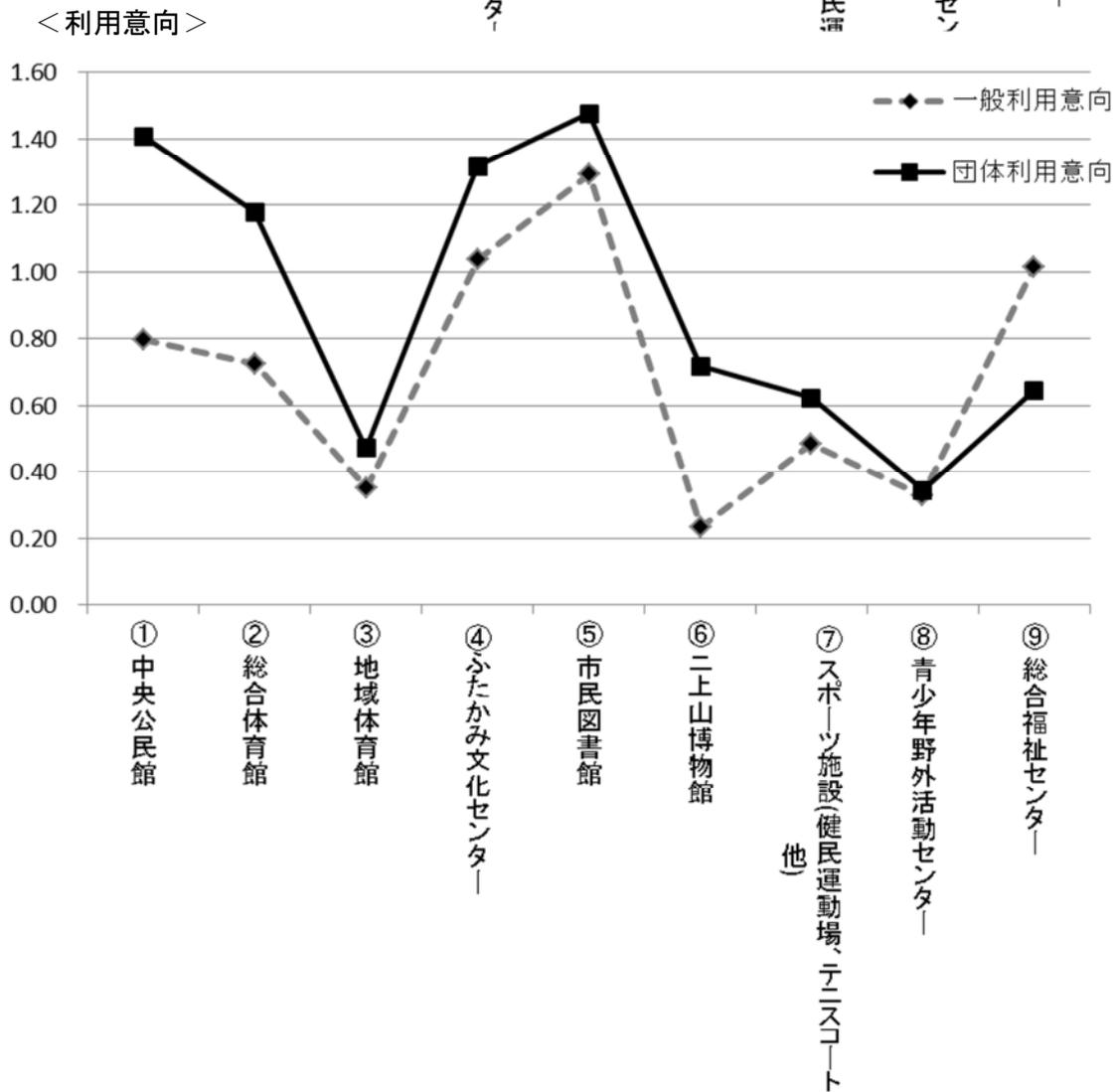
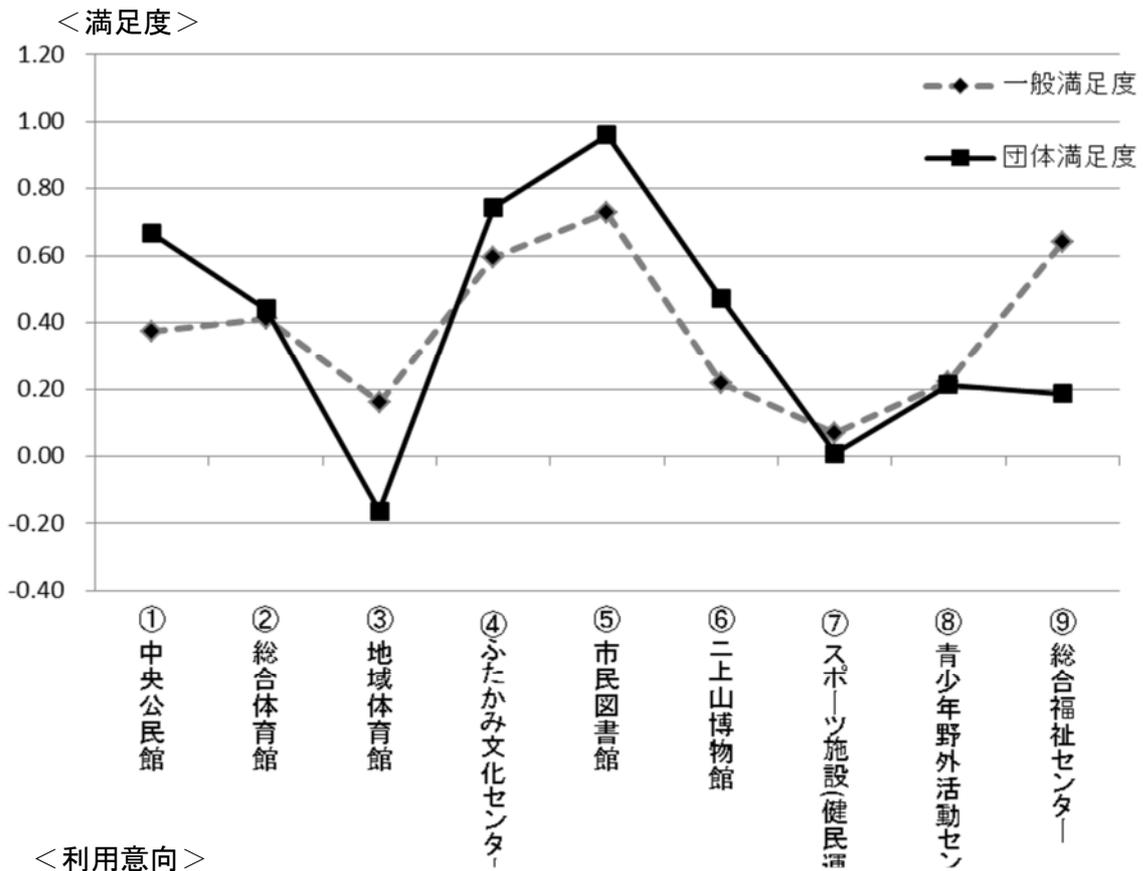
香芝市の生涯学習施設について、満足度と今後の利用意向をたずねた結果を下記の通りスコア化してその傾向を見た。

問17 満足度	スコア	今後の利用意向	スコア
1 満足	2	1 ぜひ利用したい	2
2 まあまあ満足	1	2 出来れば利用したい	1
3 どちらともいえない	0	3 あまり利用したくない	-2
4 やや不満	-1	4 わからない	-
5 不満	-2	0 無回答	-
6 わからない	-		
0 無回答	-		

地域体育館と総合福祉センターの満足度は、一般市民アンケートの満足度より低くなっている。今後の利用意向は、総合福祉センター以外は、概ね一般市民アンケートより高くなっている。

問17 下記の施設についての満足度と、今後の利用意向についてのお答えください。(~ の各項目の満足度と利用意向についてそれぞれ、1つに○をつけてください)

平均スコア	団体満足度	一般市民満足度	団体利用意向	一般市民利用意向
①中央公民館	0.67	0.37	1.41	0.80
②総合体育館	0.44	0.41	1.18	0.72
③地域体育館	-0.16	0.16	0.47	0.35
④ふたかみ文化センター	0.75	0.59	1.32	1.04
⑤市民図書館	0.96	0.73	1.48	1.29
⑥二上山博物館	0.47	0.22	0.72	0.23
⑦スポーツ施設(健民運動場、テニスコート他)	0.01	0.07	0.62	0.48
⑧青少年野外活動センター	0.21	0.22	0.34	0.33
⑨総合福祉センター	0.19	0.64	0.65	1.02



(11) 市の生涯学習への取組み

香芝市が行っている生涯学習の取組みについて、今後の重要度をたずねた。「重要」の回答率(%)が高いのは、「体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)」「中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)」「講座、講演会などの種類や数の充実」「身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)」「スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実」「芸術・文化活動の機会の充実」であった。

問18 あなたは、香芝市が行っている生涯学習の取り組みは、今後どのくらい重要であると考えますか。

	1 重要	2 え ば 重 要 2 ど ち ら か と い	3 ど ち ら と も い	4 あ ま り 重 要 で は な い	5 重 要 で な い	0 無 回 答
①講座、講演会などの種類や数の充実	31.3	34.6	15.2	1.4	1.1	16.3
②身近なところでの学習機会の充実	26.8	39.7	12.4	2.0	0.6	18.6
③身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	29.9	36.6	12.7	3.1	0.8	16.9
④中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	35.8	34.1	11.3	1.7	0.3	16.9
⑤体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	35.8	24.8	12.1	0.8	0.6	25.9
⑥芸術・文化活動の機会の充実	27.6	29.3	14.9	1.7	0.6	25.9
⑦スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	28.7	29.0	14.4	1.1	0.6	26.2
⑧家庭教育の向上につながる学習機会の提供	20.6	29.3	18.3	2.0	0.8	29.0
⑨指導者・リーダーの養成	22.0	32.4	16.9	0.8	1.1	26.8
⑩各種団体・グループ活動支援や交流	19.2	29.3	20.0	2.0	0.8	28.7
⑪地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	16.9	32.7	18.0	2.0	0.3	30.1
⑫ボランティア育成や活動の支援	20.8	34.6	15.8	1.7	0.6	26.5
⑬学校における生涯学習活動に対する指導と推進	19.4	26.2	22.5	2.5	1.1	28.2
⑭大学との連携と公開講座の推進	14.4	25.4	26.8	4.8	1.4	27.3
⑮市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	18.0	31.0	19.7	2.5	0.8	27.9
⑯学んだことを発表する機会	12.7	25.9	30.4	3.1	1.1	26.8
⑰生涯学習に対する情報提供	20.0	37.7	14.1	2.0	0.6	25.6
⑱生涯学習に関する相談体制の充実	13.0	29.3	25.1	3.9	0.6	28.2
⑲職業の能力を身につける学習機会の提供	14.1	26.8	25.6	4.2	0.8	28.5
⑳NPO等の活動支援	11.0	20.3	33.5	4.5	2.3	28.5

*20%以上の値に網掛け

香芝市が行っている生涯学習の取組みの重要度をたずねた結果を、下記の通りスコア化してその傾向を見た。

	スコア
1 重要	2
2 どちらかといえば重要	1
3 どちらともいえない	0
4 あまり重要ではない	-1
5 重要でない	-2
0 無回答	-

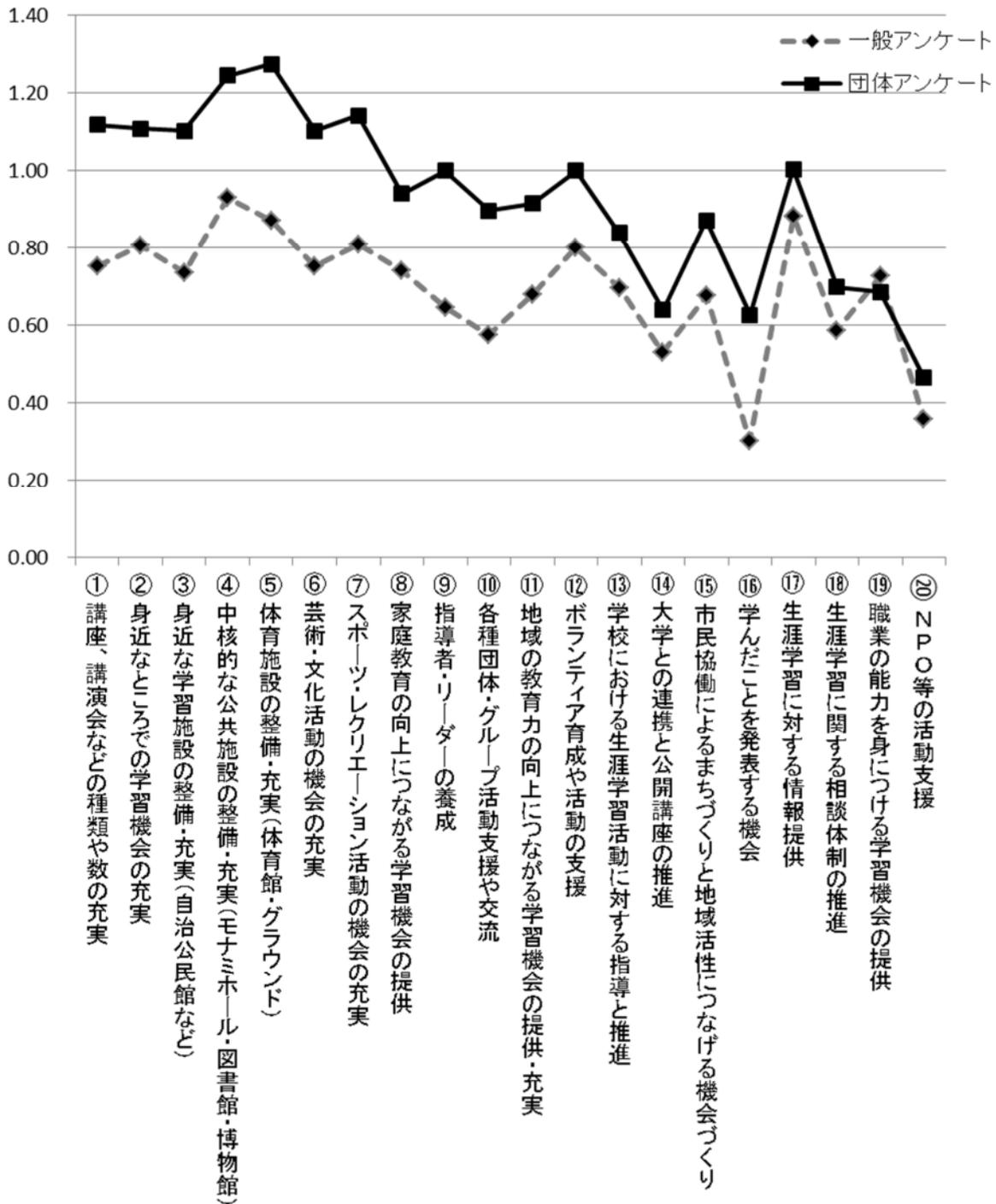
平均スコアの上位5項目は、次の通りだった。

生涯学習の取組みの重要度	平均スコア
⑤ 体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	1.27
④ 中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	1.24
⑦ スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	1.14
① 講座、講演会などの種類や数の充実	1.12
② 身近なところでの学習機会の充実	1.11

「職業の能力を身につける学習機会の提供」以外の項目で、概ね一般市民アンケートの平均スコアを上回った。特に、体育施設や中核的な公共施設の整備・充実が高くなっている。

問18 重要度平均スコア	団体	一般市民
① 講座、講演会などの種類や数の充実	1.12	0.75
② 身近なところでの学習機会の充実	1.11	0.81
③ 身近な学習施設の整備・充実(自治公民館など)	1.10	0.74
④ 中核的な公共施設の整備・充実(モナミホール・図書館・博物館)	1.24	0.93
⑤ 体育施設の整備・充実(体育館・グラウンド)	1.27	0.87
⑥ 芸術・文化活動の機会の充実	1.10	0.75
⑦ スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実	1.14	0.81
⑧ 家庭教育の向上につながる学習機会の提供	0.94	0.74
⑨ 指導者・リーダーの養成	1.00	0.64
⑩ 各種団体・グループ活動支援や交流	0.90	0.57
⑪ 地域の教育力の向上につながる学習機会の提供・充実	0.92	0.68
⑫ ボランティア育成や活動の支援	1.00	0.80
⑬ 学校における生涯学習活動に対する指導と推進	0.84	0.70
⑭ 大学との連携と公開講座の推進	0.64	0.53
⑮ 市民協働によるまちづくりと地域活性につなげる機会づくり	0.87	0.68
⑯ 学んだことを発表する機会	0.63	0.30
⑰ 生涯学習に対する情報提供	1.00	0.88
⑱ 生涯学習に関する相談体制の推進	0.70	0.59
⑲ 職業の能力を身につける学習機会の提供	0.69	0.73
⑳ NPO等の活動支援	0.46	0.36

<重要度>



(12) 生涯学習団体アンケート調査の結果のまとめ

○生涯学習の情報源として行政からの情報提供の役割は大きい

生涯学習の情報源は、「県や市の広報誌」が7割以上で最も多かった。次いで「知人、友人、同僚、家族」が5割以上と多く、これは一般市民アンケートと比べて高くなっている。一般市民アンケートで2割あった「インターネット・携帯電話」は1割強だった。これは回答者が60歳代、70歳代で7割以上を占めていることが影響していると考えられる。

一般市民アンケートと同様に、行政からの情報提供の役割は大きいといえる。また、団体参加者ということから「知人、友人、同僚、家族」からの情報が大きくなっていると考えられる

○生涯学習は、自分や家族の教養・資質の向上に役立っている

生涯学習で学んだことをどのように役立てたかは、「自分や家族の教養・資質の向上」が最も多かった。次いで「広く地域づくりやまちづくりに関する活動」、「各種事業(講座、展示会、イベントなど)の参加や企画協力」と続いている。

今後学びたいことでは、「健康に関するもの(健康体操やウォーキングなど)」が最も多く、次いで「趣味や芸術に関するもの(美術、音楽、茶華道、囲碁、日曜大工)」が多かった。健康に関する生涯学習のニーズが高いことがわかる。

○ボランティア活動に関する情報提供を普及させることが必要

ボランティア活動を盛んにするために必要な取組みとしては、「ボランティア活動に関する情報提供を普及させる」が最も多かった。次いで「ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる」「社会におけるボランティア活動に対する評価を高める」「学校において奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」と続いている

○今後の重要度が高い取組みは、「体育施設や中核的な公共施設の整備・充実」「講座、講演会などの充実」「スポーツ・レクリエーション活動や芸術・文化活動の機会の充実」

市が行っている生涯学習の取組みについて、今後の重要度が高い取組みとして、「体育施設の整備・充実」「中核的な公共施設の整備・充実」「スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実」「講座、講演会などの種類や数の充実」「身近な学習施設の整備・充実」があげられている。

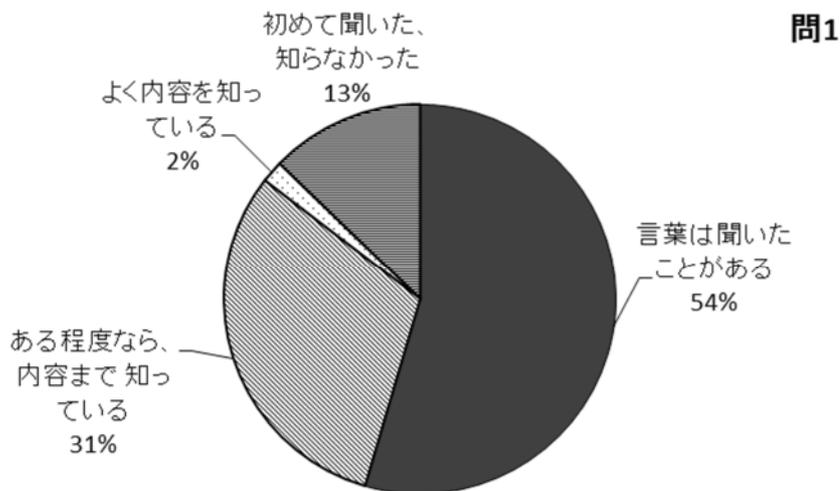
4 事業所アンケート調査の結果

(1) 生涯学習の認知度

「生涯学習」という言葉の認知度をたずねたところ、「言葉は聞いたことがある」(55%)が最も多かった。「ある程度なら、内容まで知っている」(31%)、「よく内容を知っている」(2%)を合わせて33%であり、前回平成11年調査と同様の認知度だった。

問1 これまで、「生涯学習」という言葉を耳にしたり、内容を聞いたことがありますか。(いずれか1つに○を)

	回答数	%	H11 調査%
言葉は聞いたことがある	30	55	55
ある程度なら、内容まで知っている	17	31	26
よく内容を知っている	1	2	8
初めて聞いた、知らなかった	7	13	9
無回答	0	0	1
計	55	100	99



(2) アンケート対象事業所の特性

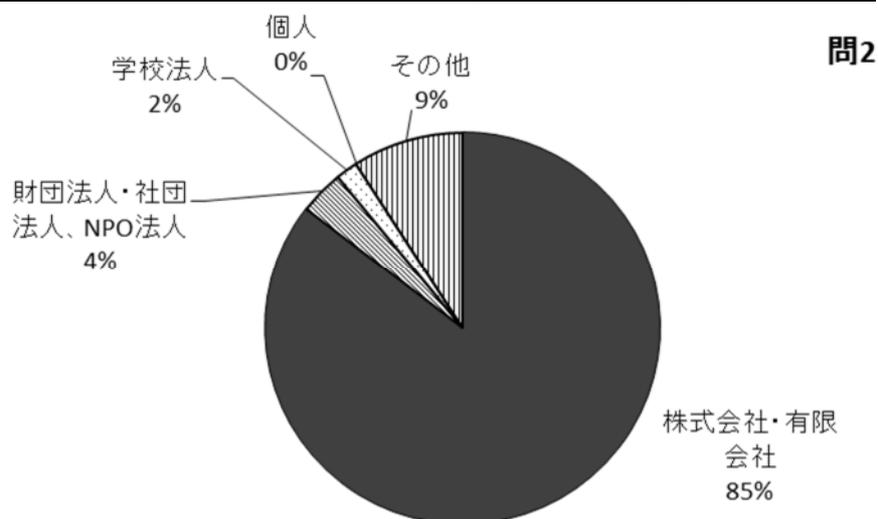
アンケートに回答いただいた事業所の事業形態、従業員数、従業員の雇用形態は次の通りだった。

1) 事業形態

事業形態は、「株式会社・有限会社」(85%)が多数を占めていた。

問2 貴社の事業形態をお答えください。(いずれか1つに○を)

問2	回答数	%
株式会社・有限会社	47	85
財団法人・社団法人、NPO 法人	2	4
学校法人	1	2
個人	0	0
その他	5	9
計	55	100



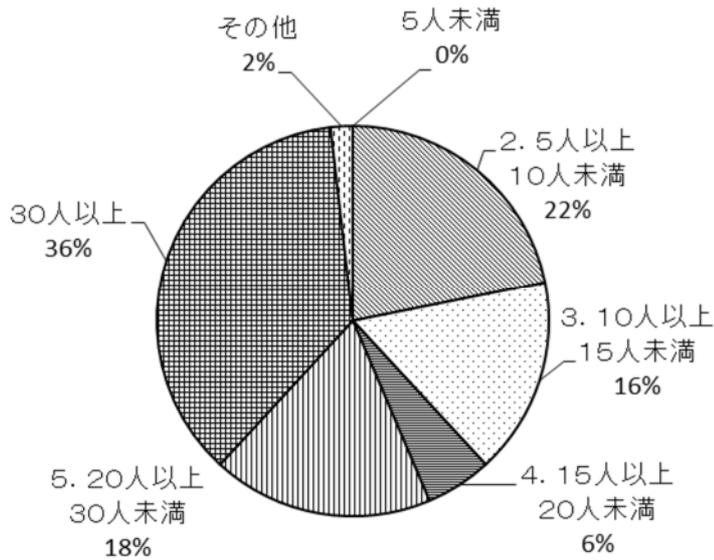
2) 従業員数

従業員数は、30人未満の事業所が6割を占めていた。

問3 貴社の従業員数をお答えください。(いずれか1つに○を)

問3	回答数	%
5人未満	0	0
5人以上10人未満	12	22
10人以上15人未満	9	16
15人以上20人未満	3	5
20人以上30人未満	10	18
30人以上	20	36
その他	1	2
計	55	100

問3



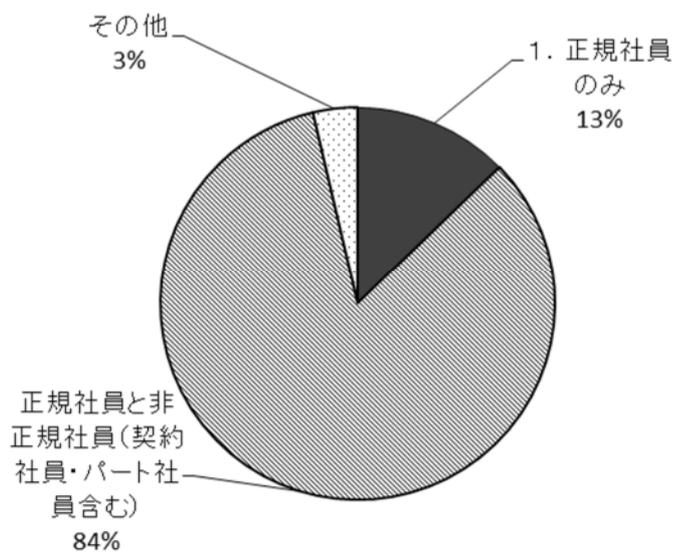
3) 雇用形態

従業員の雇用形態は、「正規社員と非正規社員」が8割以上を占めていた。

問4 貴社の従業員の雇用形態をお答えください。(いずれか1つに○を)

問4	回答数	%
正規社員のみ	7	13
正規社員と非正規社員(契約社員・パート社員含む)	46	84
その他	2	4
計	55	100

問4



(3) 休日・休暇制度

事業所の週休制度、有給休暇制度、連続休暇、生涯学習の支援につながる休暇制度・勤務形態の状況は次の通りだった。

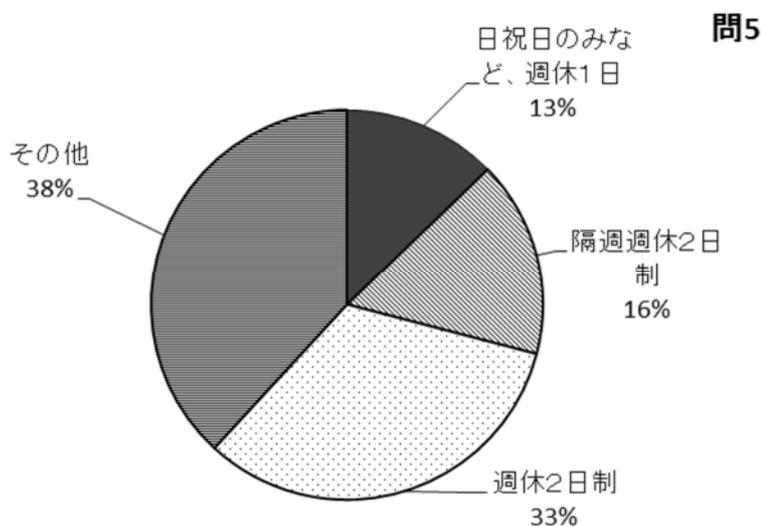
1) 週休制度

週休制度は、「週休2日制」は33%で、前回平成11年調査と同様の状況だった。

問5 貴社における週休制度をお答えください。(いずれかに1つに○を)

問5	回答数	%	H11 調査%
日祝日のみなど、週休1日	7	13	25
隔週週休2日制	9	16	33
週休2日制	18	33	33
その他	21	38	8
無回答	0	0	1
計	55	100	100

「その他」内訳	回答数	%
変形労働時間制	6	11
自社カレンダー	5	9
4週8休	2	4
その他	8	15



2) 有給休暇制度

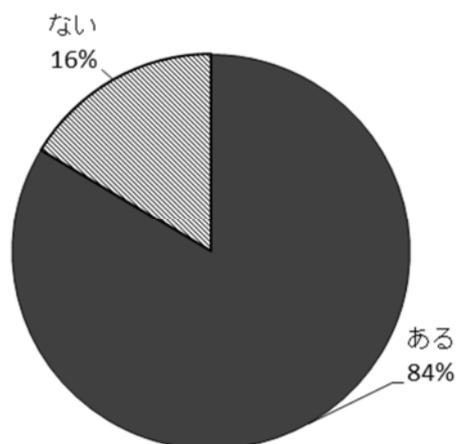
①年間有給休暇制度の有無

有給休暇制度は、「ある」は84%で、前回平成11年調査より増加した。

問6 貴社には、有給休暇制度はありますか。

問6①	回答数	%	H11 調査%
ある	46	84	70
ない	9	16	30
無回答	0	0	1
計	55	100	101

問6①



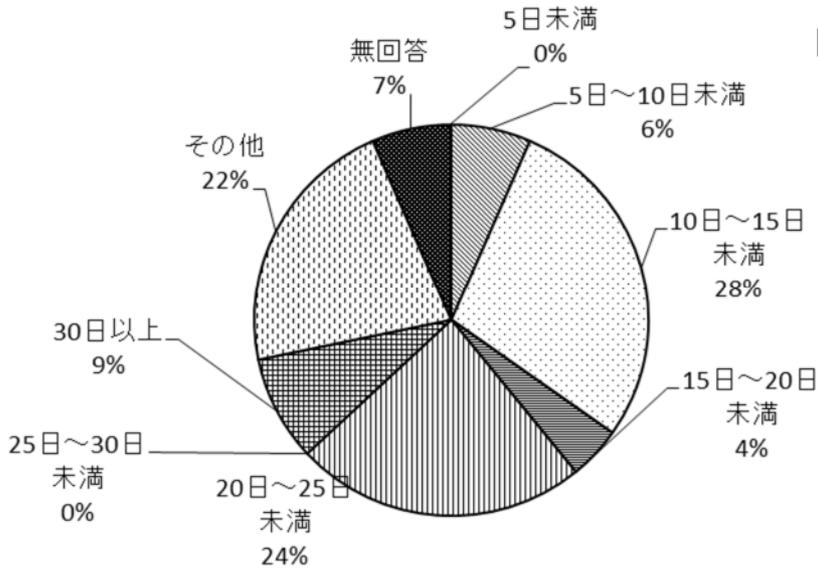
②年間有給休暇日数

年間有給休暇日数は、「10日～15日未満」(28%)、「20日～25日未満」(24%)が多かった。

問6 年間有給休暇日数(あるとお答え頂いた事業所)

問6②	回答数	%
5日未満	0	0
5日～10日未満	3	7
10日～15日未満	13	28
15日～20日未満	2	4
20日～25日未満	11	24
25日～30日未満	0	0
30日以上	4	9
その他	10	22
無回答	3	7
制度有り事業所計	46	100

問6②

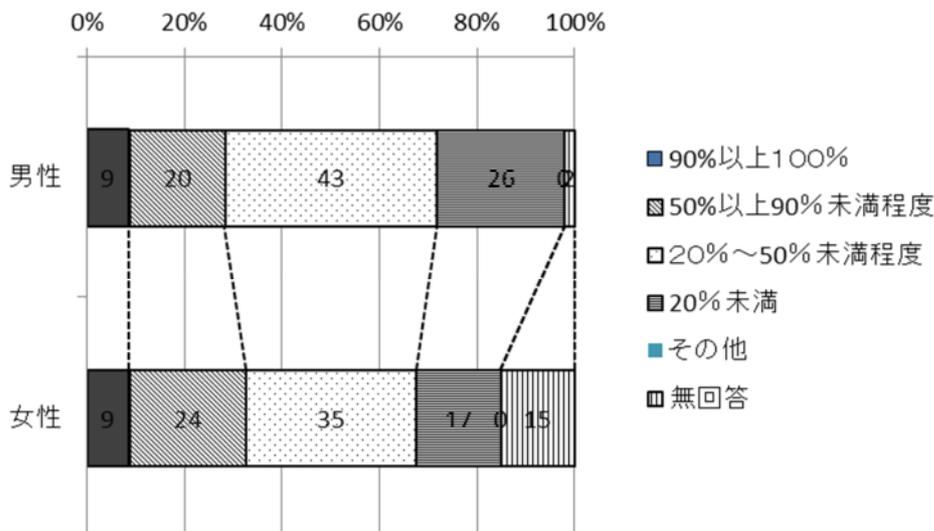


③有給休暇消化率

有給休暇の消化率は、「90%以上 100%」は男女とも 9%、「50%以上 90%未満程度」はやや女性が高く 24%、男性は 20%だった。50%以上消化しているのは男性で 29%、女性で 33%にとどまっている。

有給休暇は、どの程度消化されていますか。また、男性・女性別で取得可能日数に対する消化率の全従業員の平均値でお答えください。(正解な数値でなくても結構です)(いずれか1つに○を)

問6③	男性:回答数	%	女性:回答数	%
90%以上100%	4	9	4	9
50%以上 90%未満程度	9	20	11	24
20%～50%未満程度	20	43	16	35
20%未満	12	26	8	17
その他	0	0	0	0
無回答	1	2	7	15
制度有り事業所計	46	100	46	100

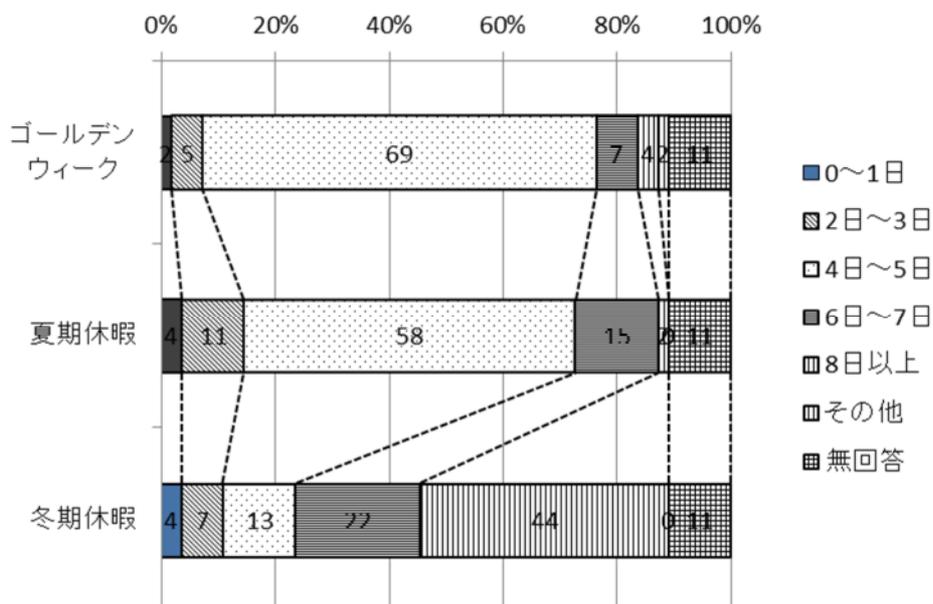


3) 連続休暇

前年（平成25年度）の連続休暇の日数をたずねたところ、ゴールデンウィークは「4日～5日」（69%）が、夏期休暇は「4日～5日」（58%）が、冬期休暇は比較的長く「8日以上」（44%）が多かった。前回平成11年調査と比べると、日数が長い回答の割合がやや多くなっている

問7 貴社の連続休暇について、昨年（平成25年度）の実績（従業員平均）は何日だったかお答えください。

	ゴールデンウィーク			夏期休暇			冬期休暇		
	回答数	%	H11調%	回答数	%	H11調%	回答数	%	H11調%
0～1日	1	2	9	2	4	8	2	4	8
2日～3日	3	5	16	6	11	16	4	7	6
4日～5日	38	69	51	32	58	43	7	13	18
6日～7日	4	7	12	8	15	12	12	22	35
8日以上	2	4	1	1	2	14	24	44	27
その他	1	2	0	0	0	0	0	0	0
無回答	6	11	12	6	11	7	6	11	7
計	55	100	101	55	100	100	55	100	101



4) 生涯学習の支援につながる休暇制度・勤務形態

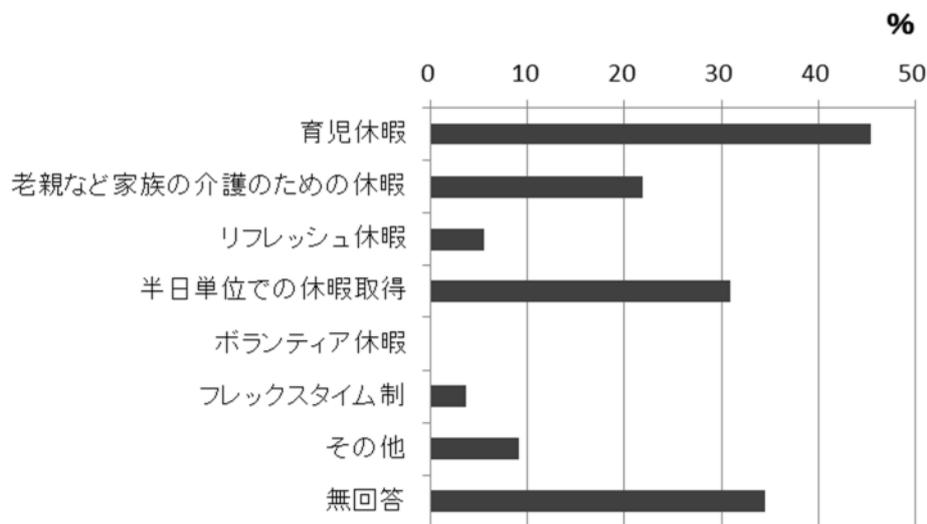
生涯学習の支援にもつながる休暇制度・勤務形態の導入状況について、「育児休暇」制度

を導入している事業所は全体の45%、次いで「半日単位での休暇取得」が31%で、どちらも前回平成11年調査より増えている。「老親など家族の介護のための休暇」は22%で前回調査とほぼ同じだった。

「リフレッシュ休暇」「ボランティア休暇」「フレックスタイム制」を認めている事業所は少なく、前回平成11年調査と状況は変わらない。

問8 下記の休暇制度や勤務形態のうち、貴社で採用しているものはあります。(あてはまるものすべてに○を)

問8(MA)	回答数	%	H11 調査%
育児休暇	25	45	33
老親など家族の介護のための休暇	12	22	21
リフレッシュ休暇	3	5	11
半日単位での休暇取得	17	31	22
ボランティア休暇	0	0	3
フレックスタイム制	2	4	7
その他	5	9	0
無回答	19	35	48
全体	55	-	-

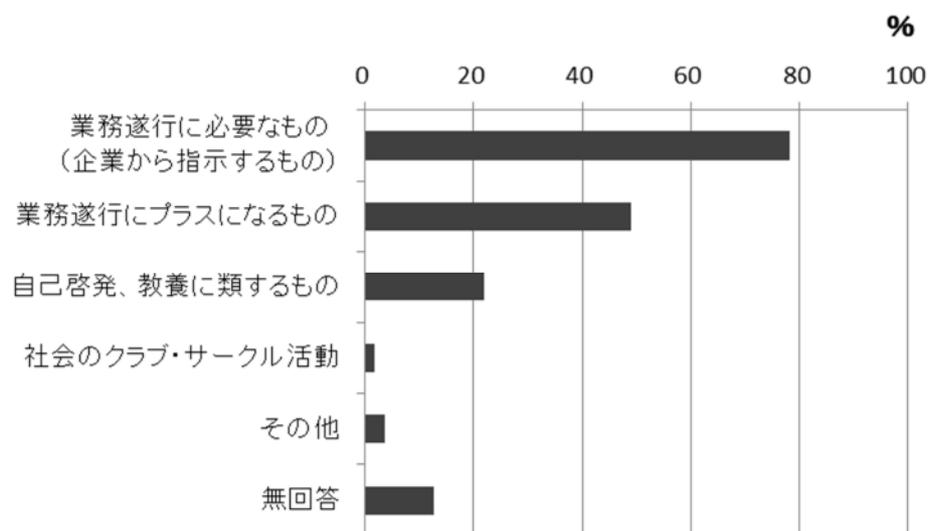


(4) 従業員の資格習得・講座などの参加に対する支援

従業員の資格習得・講座などの参加に対し、金銭的な負担や助成を行なっているかをたずねたところ、「業務遂行に必要なもの」(78%)、「業務遂行にプラスになるもの」(49%)と、業務関連であれば支援を行う事業所は多い。この傾向は前回平成11年調査と変わらない。

問9 以下のような、従業員の資格習得・講座などの参加に対し、貴社では金銭的な負担や助成を行なっているものはありますか。(あてはまるものすべてに○を)

問9(MA)	回答数	%	H11 調査%
業務遂行に必要なもの(企業から指示するもの)	43	78	70
業務遂行にプラスになるもの	27	49	51
自己啓発、教養に類するもの	12	22	20
社会のクラブ・サークル活動	1	2	14
その他	2	4	0
無回答	7	13	20
全体	55	-	-



(5) 従業員の社会貢献活動への参加について

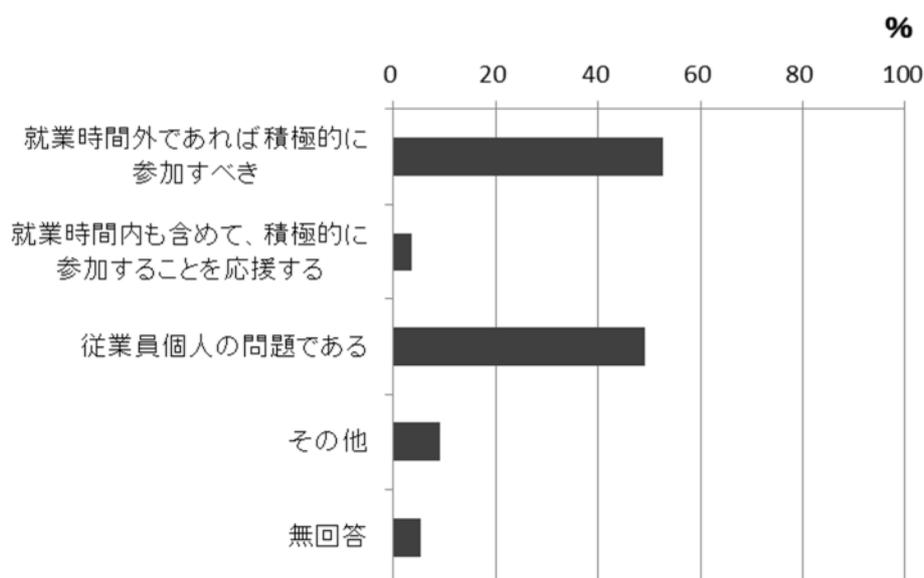
1) 参加に対する企業の姿勢

従業員が社会貢献活動を行う場合に、事業所がどのような姿勢かについてたずねたところ、「就業時間外であれば積極的に参加すべき」が事業所全体の 53%で最も多く、前回調査では最多だった「従業員個人の問題である」は 49%だった。

前回平成 11 年調査より、従業員の社会貢献活動の参加に対する企業の姿勢が、やや積極的になっている傾向が見られる。

問 10 従業員社会貢献活動（ボランティアなど）への参加について、どのようにお考えでしょうか。（あてはまるものすべてに○を）

問10①(MA)	回答数	%	H11 調査%
就業時間外であれば積極的に参加すべき	29	53	39
就業時間内も含めて、積極的に参加することを応援する	2	4	9
従業員個人の問題である	27	49	56
その他	5	9	1
無回答	3	5	2
全体	55	-	-



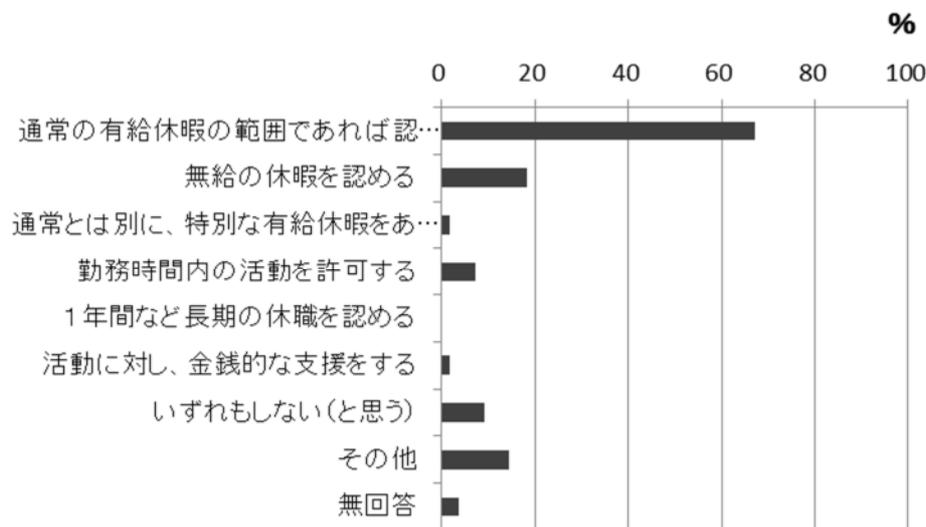
2) 参加申し出があった場合の対応

従業員から社会貢献活動に参加したいと申し出があった場合に、どのような対応をとるかをたずねたところ、「通常の有給休暇の範囲であれば認める」が事業所全体の 67%で最も多かった。

「勤務時間内の活動を許可する」や「活動に対し、金銭的な支援をする」「通常とは別に、特別な有給休暇をあたえる」といった積極的な支援の姿勢で対応する事業所は少数だが、「いづれもしない」の回答は前回調査より少なくなっている。

従業員から、社会貢献活動に参加したい申し出があった場合、貴社ではどのような対応をとられるでしょうか。(あてはまるものすべてに○を)

問10②(MA)	回答数	%	H11 調査%
通常の有給休暇の範囲であれば認める	37	67	60
無給の休暇を認める	10	18	17
通常とは別に、特別な有給休暇をあたえる	1	2	1
勤務時間内の活動を許可する	4	7	4
1年間など長期の休職を認める	0	0	0
活動に対し、金銭的な支援をする	1	2	2
いずれもしない(と思う)	5	9	16
その他	8	15	0
無回答	2	4	4
全体	55	-	-



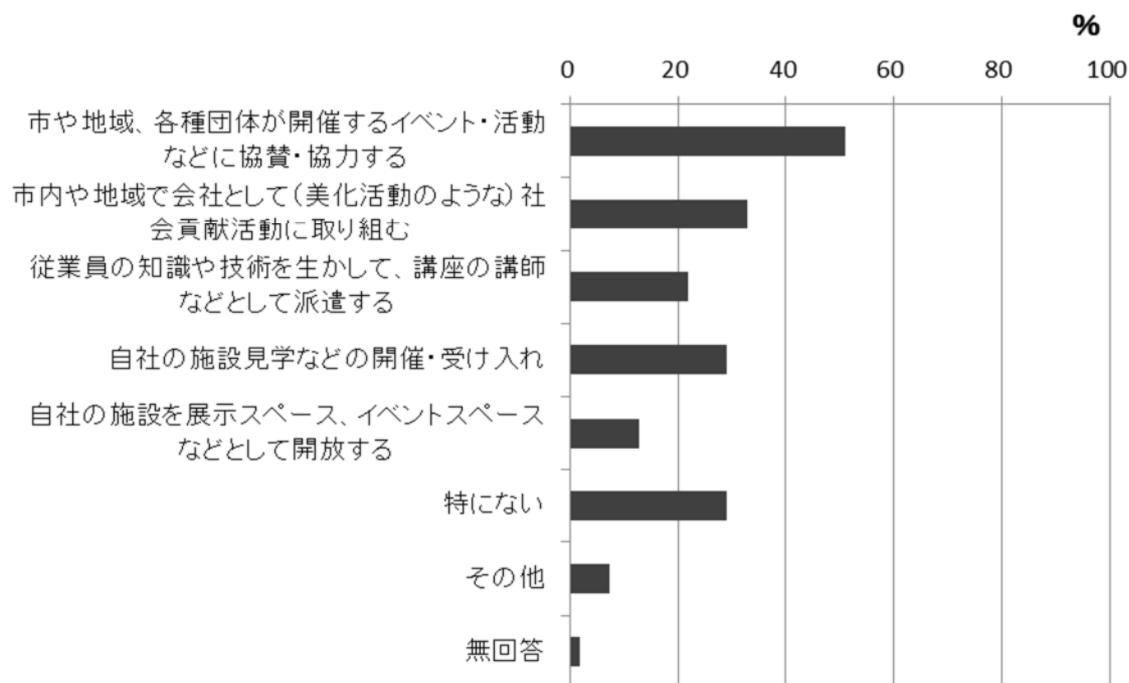
(6) 会社としての社会貢献活動の取り組みについて

会社としての社会貢献活動の取り組みについての意向をたずねたところ、「市や地域、各種団体が開催するイベント・活動などに協賛・協力する」が事業所全体の 51% で多数だった。「市内や地域で会社として(美化活動のような)社会貢献活動に取り組む」(33%)、「自社の施設見学などの開催・受け入れ」(29%) と、会社として社会貢献活動に取り組む意向が高いことがわかる。

「特にない」や無回答の事業所は 3 割ほどで、7 割の事業所で何らかの社会貢献活動への取組み意向を持っていることがわかった。

問 1 1 貴社では、会社としての社会貢献活動の取り組みについて、どのような意向をお持ちでしょうか。(あてはまるものすべてに○を)

問11(MA)	回答数	%
市や地域、各種団体が開催するイベント・活動などに協賛・協力する	28	51
市内や地域で会社として(美化活動のような)社会貢献活動に取り組む	18	33
従業員の知識や技術を生かして、講座の講師などとして派遣する	12	22
自社の施設見学などの開催・受け入れ	16	29
自社の施設を展示スペース、イベントスペースなどとして開放する	7	13
特にない	16	29
その他	4	7
無回答	1	2
全体	55	-



(7) 事業所アンケート調査結果のまとめ

○生涯学習の認知度には大きな変化はみられない

生涯学習の認知度は、「言葉は聞いたことがある」が55%で最も多かった。「ある程度なら、内容まで知っている」、「よく内容を知っている」を合わせて33%であり、前回平成11年調査と同様に、言葉としては知っているが、その内容まで理解しているところはまだそれほど多くはないといえる。

○有給休暇制度、育児休暇制度の導入は進んでいる。連続休暇日数はやや増加している。

週休制度は、「週休2日制」は33%で、前回平成11年調査から導入の進展は見られなかった。

有給休暇制度は、「ある」が84%で、前回平成11年調査より増加した。年間有給休暇日数は、「10日～15日未満」28%、「20日～25日未満」24%だった。有給休暇の消化率では50%以上消化は男性で29%、女性で33%にとどまっている。

前年(平成25年度)の連続休暇の日数は、ゴールデンウィークは「4日～5日」(69%)、夏期休暇は「4日～5日」(58%)、冬期休暇は比較的長く「8日以上」(44%)が多かった。前回平成11年調査と比べると、日数が長い回答の割合がやや多くなっている。

生涯学習の支援にもつながる休暇制度・勤務形態の導入状況について、「育児休暇」制度を導入している事業所は全体の45%、次いで「半日単位での休暇取得」が31%で、どちらも前回平成11年調査より増えている。「リフレッシュ休暇」「ボランティア休暇」「フレックスタイム制」を認めている事業所は少なく、前回平成11年調査と状況は変わらない。

○業務関連であれば従業員の資格習得・講座などの参加に対する支援を行う事業所は多い

従業員の資格習得・講座などの参加に対する、金銭的な負担や助成の実施について、「業務遂行に必要なもの」、「業務遂行にプラスになるもの」と、業務関連であれば支援を行う事業所は多い。この傾向は前回平成11年調査と変わらない。

○従業員の社会貢献活動の参加に対する企業の姿勢は、やや積極的になっている傾向が見られる

従業員の社会貢献活動への参加に対する事業所の姿勢は、「就業時間外であれば積極的に参加すべき」が事業所全体の53%で最も多く、前回調査では最多だった「従業員個人の問題である」は49%だった。前回平成11年調査より、従業員の社会貢献活動の参加に対する企業の姿勢が、やや積極的になっている傾向が見られる。

従業員から社会貢献活動に参加したいと申し出があった場合の対応について、「通常の有給休暇の範囲であれば認める」が事業所全体の67%で最も多かった。「勤務時間内の活

動を許可する」や「活動に対し、金銭的な支援をする」「通常とは別に、特別な有給休暇をあたえる」といった積極的な支援の姿勢で対応する事業所は少数だが、「いずれもしない」の回答は前回調査より少なくなっている。

○会社としての社会貢献活動への取り組み意向は高い

会社としての社会貢献活動の取り組みについて、7割の事業所で何らかの社会貢献活動への取組み意向を持っていることがわかった。「市や地域、各種団体が開催するイベント・活動などに協賛・協力する」が事業所全体の51%、「市内や地域で会社として（美化活動のような）社会貢献活動に取り組む」が33%、「自社の施設見学などの開催・受け入れ」が29%と、会社として社会貢献活動に取り組む意向は高い。

5 自由記述意見の概要

(1) 一般市民アンケート

一般市民アンケートについて、自由記述で寄せられた意見の内容を、項目に分類して整理した。

<生涯学習についての認識・参加意向など>

時間的な余裕があればいろいろ考えてみたいと思います。
生涯学習という言葉あまり聞いたことなかったので興味がありませんでした。あまり広報等もきちんと見ていなかったもので、注意してみようと思います。お年寄りの方は、そのような活動を通して、外に出たり、人との関わりが増えたりして良いのではないかと思います。
子育て真っ最中の自分としては、生涯学習は自分のため、自分の楽しみや役に立つこと、という感じです。もう少しゆとりが出てくると、「学んだことを生かして社会貢献したい」につながるのかと思います。誰もが得意なことを生かして、地域の力になっているという自負が持てる社会は、相互にいい影響があって、生き生きした社会になると考えています。
私は年齢的にできなくなりましたので、意見をできません（わかりません）
自身がボランティアの方を必要とする立場ですので、協力する事はできませんけど、みなさんの気持ちや行動は素晴らしいと思います。ありがとうございます。
過去には婦人学級を通じていろいろ考えましたが、現在は特に無し
自分が今とりくんでいる事や果たしたい事にも役立つような生涯学習であったら良いと思います。
日頃余り生涯学習に参加しませんから良くわかりません。この年になっても働かなくてはならないので生涯学習に参加することはほとんど有りません。
和歌山県より移って来ましたが、現在ケアハウスに入っております。地域がまだわからず、友達もいないので参加しておりません。
生涯学習に係る基礎、基本の考え方は成人迄に植え付けなければ育てられないものとする。
引越しをしてから近所付き合いや自治会のかかわりも少なくなり、生涯教育等な事も参加できなくなっています
各自自分はこういった生き方をしたいか、人に求めるのではなく自分がこう思ってやっていきたいことを追及していけばいいのではないかと。
若いときは俳画、習字などお世話になりましたが、今の私は毎日病院通いで、したくてもできないのです。若い間お世話になりました。ありがとうございます。
10年以上前に中央公民館で開催されている「子育て教室」に参加してました。子供の成長とともに仕事を始め生涯学習に参加する機会が減り、生涯学習について考えることがなくなっていました。現在どういう生涯学習があるのかを見つけやすい機会があればよいと思います。
この地域の出身でないため、知り合いもいないので、地域の活動に参加しづらく参加方法が分からないため、参加しやすい環境、情報提供を充実していただきたいです。もう少し気楽に参加出来る活動があればよいと思います。
健康推進、体力づくりには今後、注意を払いたいと思っています。
退職後では遅いと考えているが、なかなか参加する機会が少ない。今後取り組むように考えている。
今まで考える余裕がなかった。

将来の経済的不安があり、他の事を考えて行動する余裕はありません
したいと思っているが、なかなか機会に恵まれない。時間の問題もあると思うが、もっと年を取る前に始めて死ぬまで続けていくのが理想。何でもいいが、ずっと続けていける何かを探している
資格を持っていても生かす場と生徒がない
今は仕事、子育て、家事で自分の時間が作れない。いつかは生涯学習に取り組みたいと思います。
80才近くなると、人のため、世の中のために働くことがむつかしくなって来ました。私自身は人に迷惑をかけない生き方を考えていますが、生涯学習の内容も年齢相応の事や話題を中心にした学習があればと思います。
出席して学びたい気持、交流を持ちたいと思っても、健康上の理由でかないません。
昔に比べ生涯学習環境は充実してるとされる。要は、生涯学習はその人の生き方、考え方が反映されるので、教育が大切である。小さい時から、生涯学習の大切さ、ボランティア精神の大切さを教育の中で身に着けるようにして欲しい。
何かしたいと思っはいるものの、時間が取れない事が多いです。気軽に参加できることがあれば、良いと思います。
生涯学習の充実が即ボランティアにつなげる、つながるという考え方には少し抵抗感があります。まずは、個の意欲充実、その後に社会への還元へと繋ぐ方策を講じていくほうが良いのでは？
生涯学習に参加したくても、足がなくデマンドの利用も早くから予約しなければならず不便を感じます。
4～5年前に公民館でパッチワークを教わったことがあります。たいへん有意義で心がリフレッシュできた思い出があります。就業していますので、パッチワークを学べなくなりました。土・日に何か学べる機会があれば、又、お願いしたいと思います。
歩行が困難なため学習に行くと言ふ事は思いの他です。デイサービスに行っておりますので、それに関連する事をお聞かせください。
学習に参加したくても交通が…もう車のある～乗合できる人は好い。のれない者は不便で役所の乗合バスのみがたより。年老は考えものです。ダルマとおなじ手も足もでません。私は多種多様で退屈はしないが、体がわるいのでだめです。
日頃あまり注意して生活することがありませんでした。今後、情報を意識してみていきたいと思っています。
自分の家庭の事でいっぱいです
私は今、仕事をしているので、参加したことがありません。でも仕事をやめて、時間ができれば参加したいなと思う事があります。仕事が終わったときには、生活学習に参加して、たくさんの友達、香芝市の知らない面を知っていきたくと思っています。
仕事を退職したあと、生涯学習をきっかけに家にこもらないで、外へ出て気軽によその人と話できるような環境で過ごしたいと思っています。
今まで生涯学習に対する知識や関心があまりなかったため、現状を把握できていないため、適切な意見がありません。今後関心を持って考えていきたいと思っています。
高齢で車に乗らなくなりました。それで、香芝市の学習会等に参加したいと思いますが、足がないので他の町に参加しています。電車に乗って行っています。

私はここに来て2年くらいになるが近所の人も分からない。ボケないように、近くのカラオケだけです。
いつか参加したいので、お願いします。
「生涯学習」とは何か、どんなことをしているのか知らないので、返答ができませんでした。
地域の行事、活動等、高齢になって参加できなくなり残念です。趣味として、長年、手芸、編物、洋裁等で楽しんできましたが、体調不良により思うようにできなくなりました。これからは長い間本棚に眠っていた数々の本を読み返して自分自身の生涯学習としたいと思っています。
引っ越してきて日が浅く、近所には知人もなく、大阪で仕事をしているため、生涯学習、地域での行事の情報もどこで入手できるか現在はわからずです。
個人的には、いろいろ学びたく思い、自分で調べる、また、選んで活動している。生涯学習できる機会は多い方がいいと思うが、選んだり、積極性は個人の問題であると思う。助け合っていく社会は大切だと思う。

<生涯学習(施策)全般について>

「変化」をキーワードにチャレンジしていく
変化は常に必要だと思います。
市で行っている生涯学習のコラボ（楽器＋合唱＋ダンス）など横のつながりもできる仕組み。生涯学習で学んだ事を生かす仕事やボランティア。学習している人の達成感だけで終わらず、市の特性にもつながる構想をしっかりとねる事で、いい方向へと進むサイクルがつけられていくと思います。市民の生きがい＝市のためになる、そういう仕組み作りをしていくといいのではないのでしょうか
地方自治体として効果的に行える活動を優先的に行っていくべきだと思います。例えば、市の管理する施設の有効な活用や、大学の教授を迎えた講演会といったところ。逆に職員による生涯学習の教育や相談窓口は、機能しないことも多いと思います。
平均寿命が延びた今、多くの方が充実した老後を過ごせるよう、また社会に役立てるよう、生涯学習を積極的に行い「香芝市民は皆、老若男女、生き生きとしているなあ」という印象を持ってもらえたら素晴らしいことだと思います。その為のサポートを今後もよろしく願いいたします。
生涯学習についてもっと、市民との窓口を広げて気軽に話し合える場所と人を見て欲しい。自己中心主義になり過ぎている様な気がする。
教育委員会という枠をはずして、もっと大きな観点から取り組んでほしい→法改正が無理ならば、条例や内規で対応できることがある。「香芝市ならではの」という取りくみ、全国のモデルになるような斬新な企画立案を是非考えて実施していただきたい
高齢者のレクリエーションは充実した地域と感じているが、若年層には地域との接点を感じる機会がなく、大阪に出るためのベッドタウンという感覚がある。若い世代からお年寄りまでが地域との接点を持てる街づくりが大切だと思慮します。
限られた財源の中で、「生涯学習」に多くの費用をかけることはむずかしい。香芝市は転入者が多いことから、自治会に入らない人が多くなっている。この転入者に対して、地域活動に積極的に参加していただく、あるいはさせる方法を考えるべきだろう。
生涯学習、そのもの自体があいまいで、中途半端でありあまり必要性（市として）が見られない。それよりもっと防災であったり市民と行政との連携であったり、お年寄り、子供たちの住みやすい環境、香芝市の設備はバラバラでまとまりがない。

益々我々高齢者の寿命が延びる中、元気で生活が楽しめる様に尽力お願い致します。

別に問題はありません。今後も市民のために努力して行ってください。

香芝市は素晴らしい。今のままでもよいと思う。

<生涯学習機会の充実について>

<p>香芝市中央公民館の生涯学習制度によって、今後益々会員相互のコミュニケーションを図り、より結束力を高め生涯学習を通じ地域社会に貢献していただきたいと考えます。しかし、現状の教育、文化サークル、団体の指導者並びに会員が10年以上長期間継続されている現状では、新しい指導者、新会員が育成されないのではないのでしょうか。年齢制限、継続制限等、改善しより活性化により新しい参加者、若年者の参加者の増強を計る事がのぞましいと考えます。</p>
<p>現在ふたかみ文化センターで活動して居りますが、市民の人が少なくなっている。市民へのPRが少ないように思う。</p>
<p>個人で習うとすれば月謝がとても高いので、年金者でも習える様な出費で教えてくれるよう、たとえば私は韓国語が習いたいです。</p>
<p>大阪から引っ越してきて古代の歴史などが身近に感じられるようになってきました。香芝には二上山博物館もありますが、一度しか入った事がありませんでした。このアンケートを機にまた行ってみようと思いました。広報とかの講座の案内も気にするようにします。（子供が小さい時はふれあいフェスタや公民館まつりで行く事もあったけど、大きくなってからはほとんど行く事もなくなりました）香芝市にはもっと講座とかいろいろ種類や回数や参加人数を増やしてその事をアピールして欲しいです。個人的には書道をしてみたいと思っています。</p>
<p>生涯学習の目的は、人々がそれを通じて健康（体力的にも精神的にも）を長く維持していく事だろうと思います。香芝市は広報などで色々な学習を広く伝えていると思います。私の同世代の方々が家に閉じこもっている方はほとんどありません。介護、仕事、孫の世話などで活動できない人が多くおられるだろうと思います。女性は特に忙しい。その点、退職された男性の中には、何かをしたいと思う意思の方々があちこちにおられるのではと思います。下田地区で公民館で体操をする集まりが始まっています。私は時間の都合で出席できませんが、親睦を深めるためにも賛成です。</p>
<p>目標を持つことができないと、仮に取り組んでも中途半端になると思います。そして私なら、誰かのために役立つ何かをしたいとも思います。今、私は子育ての真っ最中です。そこにつながる何かいろいろしてほしい。お年寄りとの交流を経て学ぶべき事はたくさんあり、また反対に生きがいを与えることもできるのではないのでしょうか。行政がおんどをとって、異世代の交流をメインとした取り組みをしていただきたいと思います。勉強だけじゃない世の中の表と裏を知りつくした先輩に「後世に伝える何か」を考えていただきたいです。</p>
<p>若い世代（30代～40代）の学習を増やしていただきたい。</p>
<p>地域の伝統芸能などを子供達に積極的に伝え、行事に参加してもらいもっと社会性や礼儀を学ぶ機会を増やす事が大切だと思います。</p>
<p>大人もいろいろな資格が取れるように、安い授業料でパソコンや英会話、教えてもらえればいいのではないかと思います。</p>
<p>文化教養に関する講座を希望します</p>
<p>定員人数を増やしてほしい。人口の割に講座の種類が少ない。小さい子供の託児所を設けてほしい。</p>
<p>講座なども色々活動して下さってますが、もう少し数が多い方がいいかと思います。気持ちはあってもその時に行動につながる様、実際につながる機会を増やしてほしいです。</p>
<p>香芝市が募集する生涯学習に魅力的なものがない。参加対象が狭いためだと思われる。</p>
<p>年に数回ある外部から招いての講演活動を年に1回 or 2年に1回でいいので、社会的知名度の高い方に来て頂き、有料でもいいので、抽選になるぐらいのイベントに変えてはいけないものか？</p>

<p>洋画、邦画（昭和 30 年代くらいから）作品のアンケートを取り、上演していく、小さい組織を作り市民の夢を聞きアンケートに答えられるならスバラシイと思う。文化的レベルの高い映画を上映していく（人気があるものを先行アンケートを募る）</p>
<p>少子高齢化であと 20～30 年頃には人口減。若い香芝市でも、小、幼稚園児はいずれ少なくなる。高齢者が施設に入れなく自宅で健康生活を楽しめる、誰もが参加できるシニアのクラブ学習を考えて欲しい。例えば鍬を持って楽しめる地域の菜園作りと学習等を JA と協力して。</p>
<p>高齢化し、自分の時間が増えて来ると第 2 の人生の意味が増して来ます。それにどう個々人が対応するかという問題ですので、香芝市として大学へ入りなおす際の高齢者に対する補助金とかを考えて頂きたいです。</p>
<p>講座などに参加したくても、時間が合いません（仕事などの点で）もっと時間帯の幅をもっといただけたらいいなと思います。</p>
<p>やりたいことがあっても平日の教室ばかりでなかなかやりたいことをできない。働く人の学習を増すならば平日でも 19 時からというのが増えればいいと思う。</p>
<p>市の講座やサークルは仕事をしていると参加しにくいものばかりです。子どもがいるなどすると、地域とのかかわりもあるとは思いますが、自宅では寝るだけになってしまう私は、年々、地域の人とのかかわりが減っているように思います。もう少し、仕事をしているものが交流できる講座やスポーツがあればと思います。</p>
<p>普段、平日に仕事をしている人でも、もっと充実した取り組みができるようになれば良いと思う。会社員にとっては、何かするには限られた所からの情報しか得られないし、出来る時間が少ないので、その中でも夜間に出来るようなものが有れば…</p>
<p>働いている者は参加したくても参加できない講座が多くて日頃から不満に思っています。ひとり住まいで地域ともっと結びつきたいと、考えてもその機会がほとんどないです</p>
<p>生涯学習という言葉自体が固く難しい言葉のように思います。勉強するということで 50 歳を過ぎた私には、少し身近に感じられない言葉のように思います。もっと誰もが気軽に市の行事に参加できるようなやさしい言葉で入って行かれたら……。お年寄りの方にも参加していただける学習など増やしていただけたらと思います。</p>
<p>生涯学習に参加しやすい工夫をしてほしい。参加しにくい。初めての人数限定とか、2 人一組で申し込みとか…</p>
<p>仲の良い人だけでなく、他の人々も気軽に参加できる企画をしてほしい。</p>
<p>一部の地区の人たちは盛んに活動しておられますが、人との交流の中で他の地区から来た人を受け入れない風土が奈良全体にあるので、入りにくいので、そういうのを改善して行ってほしい。</p>
<p>歩いて行ける範囲に教室を開いてほしい</p>
<p>視聴障害の方へ広報誌等の録音をし、送らせて頂いてますが、聞いて下さる方が減っています。市がもう少し積極的に聞いて下さる方を増やして下さったらと存じます。活動に不自由な方でも行事等のイベント参加したり、見学したりできる項目もあります。参加する事によって閉じこもりをなくせるのではと思います。</p>
<p>我々高齢者の中には多くの障害の為に外に出掛けられない人、足の不自由な人、ま又、目の不自由な多くの方々がおられると思います。自宅や施設で毎日を夢もなく送っておられる方々の事を考えて企画しては…と提案致します。障害のある方々の体調の希望に添える企画があったら…と思います。</p>
<p>健常者だけでなく、障がい者の方にも、もっと気軽に参加できることを充実してほしいです。</p>

<p>学校の生涯学習に通っております。短大のパソコン教室に通ったこともあります。ただ、生涯学習を自分のものにするだけでなく例えその学習の1回でも地域の活動に参加したり、（お花を植える、祭りに参加、手伝い、準備をする）地域に絡めて実施していけばいいと思います。ex. パソコン教室ならちらし制作する事</p>
<p>市民講座・体育館でのスポーツ活動で、託児が充実すると参加しやすいのですが。以前、子育て講座で託児をお願いしたのですが、ボランティアスタッフの方がほんとうに良く子供を見てくださって、子供も充実した時間をすごすことができ、とても良かったです。</p>
<p>趣味の講座に参加して、講師に対して不満があった。人選に配慮してほしい。</p>
<p>無料で参加できる講座があり、大変ありがたいのですが、暇つぶし目的、意欲のないお年寄りが申込みをされている現状はいかがなものかと思えます。抽選に外れたりすると、とても悔しく思います。専門性が高そうな講座に関しては、有料にするなどの工夫が欲しいです。それと時間帯も夜間開講も希望します。</p>
<p>老人会で又は市主催でグランドゴルフ大会（ゲートボール他）等で市長さんはよく出席されていますが、議長杯の大会にはほとんど出られず（議長）、多忙とは思いますが、少しの時間でも参加してはと。</p>

<子育て・子どもの教育について>

<p>「香芝はお金のない市町村やな」と皆が口にしている。住みよい町として私は大阪から移ってきたのだが、他と比べると子育てに関しては補助も少ない。素敵な町だけに、そのあたりも頑張っていたきたい。</p>
<p>今の子供達の遊びは主にゲームであると思えます。近所にボール遊びなどができる場所、安全な場所が無いため外で遊ぶことが少なくなっていると思えます。気軽に安全に遊べる場所が必要だと思えます。PTA活動は必要な事と不必要な事があると思えます。子供、親にとって何が必要なのか考え直すべきだと思えます。何か少しでも変える事はすごくたいへんだと思えますがよろしく願います。</p>
<p>子どもが安心して遊べる公園があればと思えます。下田校区には公園が少なく、体を動かす場所があまりにも少なく思えます。ゲームをする子供が増え、体力の減少やコミュニケーション低下にもつながるので、元気に遊べる場所があれば願います。また、子供たちが地域の方とふれあえる機会を増やし知恵や技術をおしえていただきたいなと思えます。</p>
<p>親子が楽しめるものはすごく少ないと感じます。特に香芝市は2年保育なので3歳児が暑い時期、寒い時期室内でお友達と遊べる機会があればいいのに、と感じました。おうちの公園などは走ったりできないので、体育館などで伸びのび遊べたり体操できるイベントが平日あれば嬉しいです。あと、他の市では子供の検診で足をみてもらえると聞きました。最近の子は足が変形していると言います。子育てをしていると、子供の身体の成長、食事、しつけなど気になる事が多いです。たくさん講座があればいいなと思えます。</p>
<p>親と子のコミュニケーションや地域での協力体制をつくり。日頃から連絡とか、近所の顔ぶれなどを知る機会があれば良いと思えます。小さな力が大きくなると思えます。親子での食事づくりなどをして、食育に力を貸したいと常々思っています。以前他の地域で、親子料理教室を開いたことがあります。材料費と場所、助人がいれば、すぐできると思えます。</p>
<p>子どもたちがもっと学習できるように、総合福祉センターや他の場所を利用して、いろいろな講座を無料で受けられるようにしたらいいと思えます。</p>

香芝市へ他県から来られた方は、出産などとても不安です。自治会館、集会所など開放してほしい。大阪などではたくさん開放しているし、他県から来られたママに対して、交流を持つ場を作っている（限定で）。子育てママ用の広報を1冊つくって毎月配ってほしい。校区の小学校や幼保の情報、未就園児の情報が少なすぎる。知り合いや小学校に子どもがいないと幼保の情報がない。
香芝市が広報で小学生等、学生向けの講座を企画されている。その企画を学校の先生が話をすすめることが、押しつけにあたるとして、案内することが無いように聞いている。それよりもっと積極的に先生が案内できる環境を整えることが必要であるとする。骨のある教育方針を！！教育と個人情報に改革を求める。
小中学校の社会科教育、日本の歴史に関する子どもたちの知識不足が最も気になる所です。正しい日本の歴史教育を知ってもらい、もっと自国日本を子どもたちに好きになってほしいと思う。香芝市として市をあげて子どもの教育に取り組んでいただきたいと思う。

<情報提供・相談体制について>

情報や機会を提供しても、本人のやる気次第だと思いますので、いざやろうとした時に支援や相談にのってもらえる、気軽に利用できる窓口があるといいと思います。
もっと情報を提供してほしい
生涯学習についてほとんどわからないので、もっと分かりやすく説明して欲しい。
市の情報が広報「かしば」以外に入っていない。市が市民と協働するという意思が伝わっていない
情報をもっと大々的に発信してほしい。
実際にどのような活動をされていて、どのような成果を出しているのかわからないので、何とも言えない。情報が入ってきていない。どんな人が活動しているのか気になる。
高齢者にとっては情報を得る機会が若い人たちと違って極度にすくないので、情報提供の手段や方法に工夫が必要かと思われる
生涯学習や市の情報をもっと市報以外にも積極的に提供してほしい。ホームページの充実も余地があると思う。
香芝市の広報は各家庭に配布されているのでしょうか？冊子を手に入れるところから自分でやろうと思うとなかなか手が出ない
同じグループ同じ人達ばかりでなく、はじめての人達が参加しやすい様にいろんな情報を回覧板で回すとか、広報の中で折り込みにするとか。
「生涯学習」というと、みんなむずかしく受け止めがちであるので、生涯学習活動をしている人の事例紹介を広報誌で試みるのはどうだろう。
市からの情報をどうやったら市民の大多数へ発信できるのかが重要。スマホ、パソコン等から1日1回見たくなるようなホームページを作るなど時世に合った方法を考え、情報の共有できる体制を整える。
手軽に情報を得られるように香芝市のアプリを作ってそこにいろんな情報や問い合わせができるようにしてほしい。香芝市が今後どうなるのか、ずっと不安です。安心して生活していけるのか、私たち市民の声は届いているのか。私は、大阪まで行っているような生涯学習をしています。香芝市にはないみたいです。
ホームページの充実をできればお願いします。

市政と市民との意識の温度差を改善してほしい。目玉イベントや予算内限りの助成金などホームページを見れば得する等の工夫があれば良いと思う。情報を発信する側の少しのアイデアが市民との意思疎通の大きなカギになると思います。

<ボランティア活動等について>

香芝市民は積極的に公民館などで自主活動されている方が多く元気だと思います。ボランティアを支援する仕組みは、わかりやすく利用しやすくしていくとよいと思います。ボランティアをしている実績を認め、大切に団体を育てていく方向へ、市としてもより使いやすい、公共施設を開放してほしい。個人でもできることをもちよれる場を登録をしてみてもどうか。これからも住みやすく元気な笑顔がいっぱいの香芝市でありますように。

香芝市に農業で困っている人など様々な形で困っている人がたくさんおられると思います。その人たちをボランティアで助けてあげられるような仕組みづくり、その仲介的な役割をしていただければと思います。今までのボランティアは、団体で大規模なものが多かったが、もっと隅々の人達まで手が届くボランティアが求められているのではないかと思います。

私はボランティア活動に興味があるので地域活動の中でボランティアの部分を強化してもらって活動に参加しやすくなるのではないかなと思います。

私は香芝市に越してから20年近くなりますが、地域学習にかかわる機会がありませんでした。自分が保持しているキャリアや知識を地元におかえしできるといいなあと考えています。例えば、リーダー育成バンクなど人材確保とその場の提供など環境の整備を市職員と市民が協力しながらできるしくみなどの作成、実践、又早期教育とともに、熟年教育の充実！等、互いの良さを生かせる企画、運営、充実へと考え、取り組めばなどなどいろいろなアイディア場の提供、発展（学習展開）を望みます。

私は福祉に関する仕事をしており、その中でご老人たちが普段自宅で困っておられることを聞いた時、仕事として解決できる時と、単なるボランティアとして解決する時に分かれます。つまりボランティア等をするんだというのではなく、何か困っておられる方から相談等があった時に全力で自分のできることをやる、結果的に仕事であったり、ボランティアであったりということです。

60歳代くらいで、まだまだ元気な方をボランティアとして活躍できる場を増やしてほしい。全くのボランティアもいいが、少しでも有償でできないものか。老後の生活に不安を感じるので安心して暮らせるまちづくりをしてほしい。

<施設整備・充実・運営について>

施設の充実に期待しています。

あまり使う機会がない施設や設備はなくした方がよいと思います。

近隣市町村には立派な運動公園があるが、香芝市にはないので、整備してほしい

グラウンドなど学校をもっと地域に開放してもらいたいです。

地域に学校をもっと開放していただきたい。

神戸市のように児童館がたくさん有ればよいと思います。東大阪市のドリーム21のような場所があればよいと思います。

スポーツ施設を増やして欲しい。図書館で勉強できる様にするか、勉強できる施設を作って欲しい。本やインターネットが使える勉強できるスペースが欲しいです。

公民館が新しくきれいになるといいですね。もっと明るい雰囲気施設の施設になればさらに認知度、集客率上がると思います。

他の市町村には、60人から100人位の人が入ってダンスパーティーをする場所がありますが、香芝市にはないと思います。毎年5月には香芝市総合体育館でアマチュアのダンス競技会が開かれているに残念です。

<p>子供、大人を含めスポーツができる施設が少ない。特にボールを使用して遊べる公園が無い。市民が自由に使えるジム等の運動施設が有ればいいと思います。</p>
<p>学校のトイレがくさくてきたなくて、学校でトイレに行けない子が多いと聞きました。早急にトイレを近代化してほしいと切に願います。</p>
<p>体育館に冷房設備をぜひお願いいたします。夏は暑くても仕方なく利用していますが、樫原市の体育館は夏でも快適にスポーツが楽しめますので。</p>
<p>市民図書館の夏季の冷房温度が高く設定され過ぎている。節電の為のという大義は解るが、現在の温度は暑過ぎる。ゆっくり読書ができない。</p>
<p>市民図書館の開館時間が短いです。閉館するのが早いと思っています。大学から帰ってきて、本を近くで借りようと思っても、閉まっていることがあります。あと勉強用の机を増やしてもらいたいです。少なくとも4~5人がすわったら、大きな机しかあいていないことが多いです。集中することができなくなってしまいます。図書館をもっと学生たちにとってオープンな場所にしてほしいと思います。</p>
<p>子供とよく図書館を利用しています。とても良い施設だと思いますし、子供向けのイベントも多く満足しています。ただあまりにも暑すぎます。文化センターの1階は涼しいのですが、多くの人が利用している図書館が暑いのはとても残念です。</p>
<p>公民館の利用者が多い為、会場を増やして欲しい。ふたかみ文化センターは高いため、利用しにくい。福祉センターの利用にも交通の便が少ないためにうまく利用できないので、公共バスの充実を特にお願いします。自治地区の公民館はその区の人達しか利用できないという決まりもあるようですが、空いていれば他地区の人にも利用できるようにしていただければ活性化にもつながるのでは。</p>
<p>文化センターの駐車が狭く、役所迄、行くのがおっくうになります。図書館内は寝てる人が多く、利用者は間に合わなく、ゆっくりと本を探せない！</p>
<p>図書館があまりにも貧相。このあたりで一番よくない。場所をかえてもっと使いやすいものをつくってほしい</p>
<p>人とのつながりで、食は大切なところだと思います。福祉センターでは飲食禁止ですが、少しお茶をしながらお話しできる時間があれば、活動も良い方向に行く事も多いと思います。きまりを守る、管理する事も大変だと思いますが、柔軟な対応をお願いします。</p>
<p>中央公民館、総合体育館は職員の対応が悪いと思います。笑顔で気持ち良く利用したいと思します。</p>
<p>今年の8月高齢者講座の教室、早めに冷やしていただいて、本当にありがとうございました。</p>
<p>中学生や高校生は受験勉強が家でできない、気分を変えてやりたいと思って図書館に行きたいと思ってるが、図書館は(香芝の)勉強するところではないと注意される様です。大人は本を読まずに寝て過ごしている人が多いのに。もっと若い人の声を聞いて、香芝の町はいい町、住みやすいと思ってもらえるようにしてあげて欲しい</p>
<p>体育館やグラウンドの利用についてスポーツ少年団を優先し、利用時間を長くしてほしい。2時間ごとの予約など現実的でない。葛城市のような充実した施設が欲しい。人口とニーズにまったく見合っていない。もっともっと力を入れてハードを作してほしい。これからの人(子供、若い人)の事を最優先で考えないと市の発展は望めない</p>
<p>モナミホールや二上山博物館のような良い施設があるのに、なかなか生かせていないように思う。コンサートや展覧会をもっと広く、数も多くして、芸術の町を目指してみてもいいのではないかと思う。町のいたるところにオブジェなどをつくるというのも面白いかも。</p>

活動の中心である中央公民館、体育館等に通りやすいように、公共バスをもっと増便してほしい。駅まで歩き、電車を利用して、下田駅からまた歩いていくのは大変。

<アンケートについて>

設問がページをまたいでいて回答しにくい。書式の改善を希望します。

「香芝市生涯学習推進基本計画」の内容を理解し、このアンケートに回答したかったのですが、計画内容を同封いただきたかったですし、今の時代なら URL を記入する、QR コードを付けるなど、現在の社会状況にマッチした方法をとられるべきかと思います。「生涯学習について考えてます！」のアピールアンケートなのか「アンケート」が必要な状態にある生涯学習環境なのかをハッキリさせ、アピールする必要あると思います。アンケート結果についても課内のデータとせず、公開すべきです。

外国のひとにとって、とても難しいアンケートでした。もっと易しい言葉を使ってほしいです。

このアンケートに関して、2年連続でアンケート用紙が送られてきました。さらに同一世帯としては3年連続で送られてきました。“無作為”に抽出とのことですが、偶然とはいえ、少し偏っているようにも思いました。アンケート方法について工夫が必要（例えばアンケート事態を毎年ではなく3年に1回程度に留める）かもしれないと思います。

問 17, 18, 19 は香芝市の生涯学習に行っていないので答えが分からない

もともと生涯学習にとは何？理解している前提のアンケートなので答え難い。

生涯学習推進基本計画は市役所の方々が想定しているほど認識されていないと思う。概要もわからない者へアンケートを実施して有効な結果が得られるのかが不満である。

費用をかけてアンケート記入を求めているわけなので、どこかで必ずアンケート結果を出していただけることを願います。

<その他市政全般について>

高齢化が進んでいると感じる。大阪までの利便性もよく、強みだと思うので、活かしつつ、若い世帯が住みやすいような環境と、住宅の提供が継続的にあればいいと思う。道路が雑草やコンクリート割れによって通行しにくく、見通しも悪くなっていると感じる。整備してもらえたらと思う。

家ばかり増えて緑が失われて、緑の並木道のような散歩道があればと思います。大きな木々の枝を切らないで、手入れをしてほしいと思います。みどりや花の町作りをしてほしいです。歩道の段差をなくしてほしい。高齢者にはとてもきげんです。段差のない町作りをお願いします。

安心して歩ける道を整備してほしい。

道路をもっと広くキレイにしてほしい。歩道を早く作ってほしい。JR 香芝駅を新しくキレイにしてほしい

交通量が増えた為に非常に危険な場所が多すぎる。事故の危険がありすぎる。

障がい者も家に閉じこもるのを回避できる様な交通面も改善してほしいと思います。その点、デマンド交通は良いと思いました。

市の施設全般に言えますが、何ができるところなのか、よく知りません。香芝の産業が無いので仕事が少ないのではと思います。大阪のベッドタウン化してます。それなら住民が増えるようにさまざまな優遇があればいいと思います。

この地に移り 26 年の歳月は、香芝市となり、日に人口も増しこうして市になっていくのかと実感させられました。美しい大和の自然を保ちつつ、若々しく充実した市になる事を願っております。
病院不足、買物不便
香芝市民病院がないのが不便に思います。
市民病院の建設を依頼します（大きい病院）
不安
健常者に合わせて設計された社会システムの中で他人の助けを借りずに健常者は生活できています。今後障がい者に対して依存先の数を増やして障がい者の自立を支援することが必要だと思います。
老後の生活が不安で、シルバーの仕事を考えていただきたい。
生涯学習も大切なことだと思いますが、障がい者雇用や就職等、もっと積極的に市が受け入れるべきです。
政務活動費について香芝市はどうなっているのか、関心のあるところです。自治会費も不思議に感じております。何に使用されているのか見えない。明確にしてと切に望むことです。
投票率をあげる試みを考えて下さい。
生活保護の制度を見直してほしい。
香芝市の生活保護世帯の数、その増加傾向は目にあまるものがある。まずは自己の親族は自己が遠方におろうとも自己が責任を取る姿勢が必要。
市役所及び福祉センターの職員の 3 時のラジオ体操、時間内はどうかと思います。

(2) 生涯学習団体アンケート

生涯学習団体アンケートについて、自由記述で寄せられた意見の内容を、項目に分類して整理した。

<生涯学習についての認識・参加意向など>

今、人生百年の時代に入り、健康に過ごすことが最重要である。時代の変化が早い。これからは「心(精神的な健康)」の問題が日本語の学習と同じくらい最重要課題になる。
何か年をとっても続けているものがあればいいのにと日頃より思っています。でも何が自分にあるのか、どのような活動なのかわからないことがいっぱいです。今は体操を続けていますが、体を使うだけじゃない、頭を使った何かをしてみたいと思っています。
以前公民館での生涯学級に参加していましたが、曜日が変わったので参加できなくなりました。また自分に合うプログラムがあれば参加したいと思います。

<生涯学習(施策)全般について>

税金を投入し地方公共団体主導で生涯学習を築いていくのではなく、民間主導で目的を達成できる刺激を与えていく方が、成功率が高まると思います。
関心のある人とない人がはっきり分かれているように思う。目標、楽しみは生きがいになるので、できるだけ前向きに大勢が参加できると良いのですが、その中から交流ができ、和ができ、理解しあえる仲間ができると良いですね。それがひいては健康で生きられることにつながっていくので、大いに活動を盛んにできるのを期待します。
大学で心に残った授業…環境が悪いと人は悪くなる。香芝市の環境が悪いとは思いませんが、向上の余地はまだあると思います。
香芝市における取り組みについて概して良好な態勢と感じている。
より一層の施設・設備の充実と、物的支援、人的支援の充実が必要である。また、それぞれの部門において市内交流、市外交流、教育機関(大学等)との交流により、より高度で豊かな生き方や知識を習得することができるのでは。
生涯学習の推進には2つの側面がある。1つは高齢者、婦人層を中心に進む現状の質的、量的な充実、深化と裾野の拡大。今1つは、老若男女を問わず、関心を持たない層へのアプローチ、動機づけと底辺の拡大である。“市民一人ひとりが生涯にわたって学習”を標榜とするなら、10年後、20年後の将来を見据えて、今、新しい層の開拓、獲得に取り組まなければならない。そのためには、場の提供(施設設備、機会、プログラムの充実等)以上に、“無関心層の意識と行動モチベーション”を高めていく具体的で強力な対応、対策が急がれる。物理的な制約は多いが、とりわけ成年男女と青年層である。
超高齢化、少子化社会での日本の今後のあり方について、どうあるべきか少々危ういものを感じる。この社会でお互い充実した生活を送るためには、日々研鑽が大事で、地域コミュニティとの交流を盛んにするため、今後ますます生涯学習が必要になると思う。
公民館活動を通じて、少しは生涯学習ということを考えてきた一人として、もっと生涯学習への取り組みや活動の内容、現況をもっと広く一般にアピール方策を検討しないと、底辺の広がりが期待できないのでは。

<生涯学習機会の充実について>

<p>広報などで色々な行事、健康の案内を見ますが、なかなか参加することができません。今後興味のあることがあれば積極的に参加できたらいいと考えています。伝統行事などの復活や後世につないでいける芸術的なものがあれば参加したいです。</p>
<p>今後、香芝市において高齢化による認知症や一人暮らしの世帯が増えてくると思われます。その方々を孤立させない町ぐるみでの見守りや、まず認知症にさせないこと。香芝市には認知症患者が少ないと誇れるような予防面での大きな取り組みを、他府県の先んじている行政に学び、実施してほしい。音楽や運動を取り入れながらの脳トレのような、楽しみながら集えるようなサークルを作ってほしい。新しい有効な取り組みをまず行政が学び、市民へと広めていただきたいと思えます。</p>
<p>香芝市は、公民館等に於けるカルチャー部門の機会が多く、他の市町村と比べ充実しており、大変素晴らしいと思います。若い人も多いのでますます拡大してその様な部門を促進して頂ければ有難いと思います。予算の面もありますが、幼年、青年、老人ともっともっと住みやすい市にして頂きたいと思えます。</p>
<p>香芝市は子どもの数も多く、複数人の子育てをしている家庭が多いように感じられます。その中で兄弟一緒に受け入れられない講座などが多く、上の子がやりたいと思った時に下の子を預けたりできない環境にあっては、せっかくの意欲もつんでしまわなければならない、かわいそうなことが多々あります。、どんな環境の子でも（もちろん大人でも）公平に学習できるシステム作りにもう少し力を入れていただけたらと思えます。</p>
<p>総合福祉センターで行っている健康体操の日数が少なくなり、また、内容も単調なため、参加者も減少している。数年前の充実した教室に戻して欲しい。</p>
<p>子どもの絵画教室は結局、一度も当選できずに終わりました。人気のある講座はもっと人数を増やしてほしいです。科学教室は二年間、内容が同じで途中で行かなくなり、とても申し訳なく思っております。内容の見直しも必要かと思いました。文化教室の種類がもう少し充実してほしいです。受講料を上げてみると、充実したものも開講できるように思います。</p>
<p>私の老人会ですが、色々な催しを紹介しますが積極的でないと思えます。指導者が直接来て宣伝してもらった方が良いでしょう。</p>
<p>香芝市の生涯学習の取り組みは熱心な方だと思えます。家庭教育学級などもその一つですが、学習の機会を設けてくださるのはありがたいです。</p>
<p>他の地区よりもスポーツに関して行っているスポーツの偏りを感じる。スポーツ少年団は野球、サッカー、バレーボール、ソフトボールが主流、もっと他のスポーツを体験させてやりたい。</p>
<p>ゲートボールもっと見直して欲しい。【理由】老人から若者まで交流がはかれる。男も女も差別がない。頭を使うからボケ防止に役立つ。香芝市の市民全体の活性化、地域づくり、福祉活動にうまく利用できる気がする。”ゲートボールの香芝市”の推進で香芝市全体を元気にできる。</p>

<情報提供・相談窓口について>

<p>香芝市広報には、大きな催しは事後報告が写真入りで大きく掲載されていますが、事前行事報告も昨年の行事の写真入りで大きく記載してもらえないでしょうか。一度も参加していない人にとっては、その催しがどのようなのか（わかり）、参加者は増えるように思う。今までも事後報告の写真を見て“行ってみたかった”思ったことが、私も多くありました。</p>
<p>公民館活動の情報があまりない。福祉センターの講習会等の情報がない。</p>
<p>芸能関係の指導者の窓口を作ってほしい。</p>

<ボランティア活動等について>

ボランティア活動の際にも必要最小限の金銭的支援をお願いしたい。現状では持ち出しが多くて困っています。
各学校などに関わるボランティアについて、あまりにも内容がアバウトな提示でとまどう。事前の打ち合わせもなく、ぶっつけ本番、行き当たりばったりのことが多い。子供たちのためなのか、教師の指導上の不備を補うためなのか。利益も得ることなく、逆に食事代（飲食費、交通費）など自前で、唯一子供との関わりを楽しみするボランティアではある。先々の教師の対応に日々落胆する。ボランティア意味すら見失うこともある。ボランティア＝手伝い、と思われている。ボランティアを受ける側もその定義をきちんと理解してほしい。
ボランティア活動の支援をしてほしいです。日本は資格等にお金がかかります。
王寺町、葛城市、大和高田市、広陵町などの香芝市周辺の市町村は、市町村がボーイスカウト活動をよく理解して、全面的な支援を実施されているが、残念ながら香芝市にはそれがない。他の団体と同じ扱い。ボーイスカウトは100年前から続く青少年の教育団体であるということを、まったく理解いただいていない。
ボランティア団体の一本化

<施設整備・充実・運営について>

各施設の充実、いろんな道具、器具などの充実が足りない。
学習施設の充実をお願いします。とくに時期的に複数の団体が重なる時は場所取りが大変なので。
公民館の施設拡充、充実
体育施設の充実、メンテナンス
<ul style="list-style-type: none">・ 体育館、スポーツ施設等、1カ所に集めるのではなく、分散しての施設が良いと思う。・ 野球等面積が必要なものは学校等と協議し（協力を得て）、借用できれば良い。・ 体育（運動）施設の充実。
<ul style="list-style-type: none">・ 健民グラウンドの充実（設備、駐車場が狭い）。・ 総合体育館の設備の充実（老朽化が目立つ、種類の拡大、トレーニングルーム）。
体育館の老朽化、利用者が多く、なかなか利用できない。市役所、福祉センター、ふたかみ文化センターの会議室利用の拡大を。
ふたかみ文化センターは施設としては良いのですが、駐車場をもう少しなんとかしてほしいです。
駐車場が少ない所が多く、香芝の土地柄、車の心配を常にしなければいけないのがネックです。
公民館活動の中で、コーラス団体が増える中、音楽室（ピアノ有の部屋）が1つしかないのは、団体においては活動しにくい。他の市や町へピアノの有る教室を借りなければならない。たとえば福祉センターの中にも音楽室を設けてほしい。

<p>生涯学習の取り組みについてはこれまでも十分やってもらっていると認識しながら一層の充実を図っていただきたく、すべて「重要」といたしました。優先順位があると承知しております。私は公民館でコーラスのグループに所属して、活動しておりますが、現在ピアノがある3件は利用されるグループが競合しており、他の市町村へ移動して施設を利用するなどの現状です。他市町村は住民でないグループの受け入れを難しくしており、練習場の確保にたいへん困っております。改善策としては、本市施設内にピアノを置いていただける場所をふやしていただきたいと願っています。ピアノにはメンテナンスがかかり、防音などの配慮もあると思いますのが、なにとぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>公民館、体育館、地域体育館を利用しています。どこの施設もトイレがいや。運動靴のままでも使用したいのと、広くゆったり美しくを希望します。石鹸液もシャブシャブに薄めずたっぷり使いたい。広くきれいなトイレはきれいに使用します。</p>
<p>中央公民館の洋式トイレの水が流れない。トイレの水が流れやすいようにしてほしい。</p>
<p>トイレを洋式にして欲しい。</p>
<p>中央公園の4階のトイレを充実して欲しい。</p>
<p>青少年野外活動センターにお手洗いを作って欲しいです。</p>
<p>①総合体育館の便所を洋式にして欲しい。②総合体育館の高齢化に伴い、冷暖房設備が欲しい。</p>
<p>中央体育館内にある体づくりの設備（筋トレ用器具）が古いので新しいものに更新して欲しい。</p>
<p>老人会から月1回文化センター2F大広間でカラオケを楽しませていただいておりますが、テレビが古くなって画面が見えにくいので、新しいテレビに変えてもらいたい。ぜひよろしくお願いいたします。</p>
<p>入門講座・・・クラブ等に入部したいと思っている人にとって始めようとするきっかけになるので、公民館、体育館とともに活動する場所（広さ、時間）に余裕がなさすぎ。時間の変更、フロア使用の変更が不可能。体育館、メイン、サブともにフロアを分割、横で活動しているクラブの音、声、他が気になり集中できづらい。使用料金も高い。 公民館・・・冷暖房使用時、猛暑、寒中時においても常時同温度？暑くて汗が流れ、寒さで手が動かない時も-もっと余裕を、臨機応変に。 このままではとても公共施設とは思えない、施設の整備充実をお願いします（他県と比較して）。</p>
<p>夏暑いのにクーラーのききが悪く、汗をかきかきしています。冬は暖房のききも悪く、少し寒さを感じながらしています。</p>
<p>体育館内冷暖房してほしい（使用料出してでもどうにかしてほしい）。</p>
<p>あと一つでもナイター施設のあるグラウンドにしてほしい。</p>
<p>今私は広陵町の町営パークゴルフ場によく行っています。お年寄りでも結構賑わっています。高齢者にはグラウンドゴルフと同様に危険度が少なく身体にも無理のないスポーツだと思います。香芝市でも市営のパークゴルフ場を作って、老人をはじめ市民の健康増進とレクリエーションの場として運営されてはいかがでしょうか。</p>
<p>香芝市はグラウンドゴルフ場とか、老人（60歳以上）のスポーツをするところがなく、他の市町村へ行かなければならない。他の市町村に行けば同市の方は200円、他の町の方は600～800円と高く、入場料金がいます。グラウンドゴルフ場を作ってください。</p>

人口 8 万人近い香芝市の公共施設は満足しているとはいえないと思う。高齢化社会で高齢者が増えていっているのに、公共のスポーツ公園のようなところが少ないと思います。他市町村では高齢者が気楽に楽しめるパークゴルフやグラウンドゴルフの場所があちこちに作られています。高塚地区公園内のグラウンドの周囲にもっとベンチとか休憩用の屋根付き小屋を設置してほしいです。そしてもっと気軽にグラウンドを老人が使用できるようになればよいと思います。
グラウンドゴルフを通して、皆と仲良く親睦を図って楽しんでいます。高山台のグラウンドにトイレが一か所しかなく、大変不便に思っています。老人会の人たちが多数利用させてもらっていますので、もう一か所作っていただけませんか。
体育館利用の抽選の時、市内の人と市外の方は順番こそ違っても同じボックスのくじを引きます。市内の人がくじを引き、手続き終了後、施設が空いていれば使ってもらえばいいのではないのでしょうか？いつも不審に思っています。
現在のグラウンド等体育施設の管理方針が非常に常識はずれで、市民感情を無視している。
もっとグラウンドが使用できるようにしてもらいたい。2 時間ではとてもじゃないが練習量が少なすぎる。全国に向けての練習においては、優先順位をつけ使用できるなどもう少し配慮をしていただきたい。
【中央公民館の使用についてのお願いと要望】数年前から何故かわからないのですが、教室の鍵が 1 時からの使用に 5 分前からしかもらえないのです。職員のお昼休みなののでしょうか。住民のサービス向上に反するのではないのでしょうか。準備の都合上 30 分前には開けていただきたいと思えます。以前は鍵はかかかっていなかった。用心が悪いのでしょうか。毎週の教室があるのですが、月 4 回が取りにくくなっています。なんとかならないのでしょうか。
使用日申込時、受付窓口もう少し素早くやってほしい。使用時間 5 分前鍵受付早くしてほしい。使用料高すぎる。
公民館に関して、日ごろ活動のお世話になっております。3 日間水墨画の展示にお貸し頂きありがとうございました。
図書館を年末時に開いてほしい。
生涯学習について交通の便をもっと考えて欲しい。公共バスの運行時間と乗降場所等年を重ねるにつれ、不便さを感じる。
公民館、体育館の使用料負担を少なくしてほしい。色々参加したいのですが、足の便がない。公共バスの時間帯が合わない。
モナミホール、ふたみホール等、利用料金をもう少し低くできなかつと思う。
全施設の使用が有料となっているが、無料開放すべき。

<アンケートについて>

本アンケートは対象者が限定されているが故に、前段では有効としても、後段部分への考察にはやや難がある。
--

<市政全般について>

人口が増せば家々が立ち並び、自然の景色年々変わり少し残念です。香芝に引っ越し早 33 年目です。大阪で生まれ育ったのですが近鉄の二上駅に来たらホッとする思いです。まだまだ豊かな香芝になったらと願います。
市内巡回のバスを止めないでぜひ続けて欲しい。

(3) 事業所アンケート

事業所アンケートについて、自由記述で寄せられた意見の内容は次の通りだった。

各種団体の活動に協力してほしい。生涯学習のアンケートには、内容が就業形態に依りすぎていると思う。
行政と民間事業所との接点が不明確では？例えば商工会等の活動が見えてこない。
子どもさんや高齢者の方への交通安全や地域貢献を、市の皆さんとともに活動していきたいと思っておりますので、今後ともご協力のほどお願いいたします。
現役以降の生き方の中で考えます。時間といかに向かい合うか、短期的にまた、できる範囲で積極的に取り組んでいきたいと思います。香芝市の発展また地域の活性化等に。
大切な活動であると思われる。